



平成 30 年度
「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」
報 告 書

目次

【 I 調査のあらまし 】

ページ

1	調査の目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査の概要.....	1
4	説明事項.....	1

【 II 調査結果の概要 】

問 1	年齢.....	3
問 2	性別.....	3
問 3	居住地.....	3
問 4	職業.....	3
問 5	体の状況.....	3
問 6	健康状態.....	4
問 7	健康を意識した運動・スポーツへの心がけ.....	6
問 8	適度な運動・スポーツの必要性.....	8
問 9	日ごろ運動不足を感じているか.....	10
問 10	日ごろ体力の衰えを感じているか.....	12
問 11	①主に行っている運動・スポーツ.....	14
	②運動・スポーツを行う理由.....	16
問 12	スポーツ実施率.....	18
問 13	運動・スポーツをしなかった理由.....	23
問 14	小学校就学前の子どもの1日の運動・スポーツ時間.....	26
問 15	①小学生以上高校生以下の子ども 1 週間の運動・スポーツ日数.....	26
	②小学生以上高校生以下の子どもの 1 日の運動・スポーツ時間.....	27
問 16	この一年間に参加したスポーツ行事・教室.....	28
問 17	運動・スポーツをするときに利用する施設・場所.....	30
問 18	誰と運動やスポーツを行っているか.....	32
問 19	クラブや同好会に入った動機.....	34
問 20	工夫して行っている実践例.....	36
問 21	スポーツに関するボランティア活動の実施.....	38
問 22	ボランティア活動を行うきっかけ・動機.....	40
問 23	スポーツ障害、けが防止策.....	42
問 24	①直接観戦したスポーツ.....	44
	②直接観戦したいスポーツ.....	46
	③テレビで観戦したスポーツ.....	48

④テレビで観戦したいスポーツ	50
問 25 自分の今後の運動・スポーツ活動に対する考え方	52
問 26 参加したい運動・スポーツ行事	54
問 27 今後行ってみたい運動・スポーツ(上位 20 種目).....	56
問 28 充実してほしい運動・スポーツ情報	58
問 29 公共スポーツ施設に望むこと	60
問 30 民間スポーツ施設に望むこと	62
問 31 運動・スポーツの普及・振興で力を入れるべきこと	64
問 32 スポーツクラブに望む形態.....	66
問 33 期待する指導者像	68
問 34 地域におけるスポーツ振興への期待	70
問 35 ①「総合型地域スポーツクラブ」の認知度	72
②「総合型地域スポーツクラブ」に期待する取組	74
③「総合型地域スポーツクラブ」に期待する役割	76
問 36 ①子どものスポーツや外遊びの環境の変化.....	78
②子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった要因	80
問 37 2020 東京オリンピックの関心度	82
問 38 2020 東京パラリンピックの関心度.....	82
問 39 東京オリンピック・パラリンピック以外の日本で開催される国際大会への関心度	84
問 40 東京オリンピック・パラリンピックへの鳥取県の選手・コーチの出場.....	86
問 41 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の認知度	88
問 42 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西への興味.....	90

I 調査のあらまし

1 調査の目的

本県では、平成26年3月に「鳥取県スポーツ推進計画」を策定し、「すべての県民が豊かなスポーツ文化を享受できる鳥取県」の実現に向けて、各種のスポーツ振興に関する施策に取り組んでいる。

今回の調査は、県民の運動・スポーツに関する活動の実態を総合的に把握し、本県スポーツ行政の推進に向けて活用することを目的とする。

2 調査項目

- ① 健康に関する意識
- ② 運動やスポーツの活動状況
- ③ 今後の取組・要望等

3 調査の概要

- (1) 調査対象 鳥取県内に在住の20歳以上の者 1,500名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3) 調査時期 平成30年7月～8月
- (4) 調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。なお、調査票の提出は無記名とした。
回答期限は、平成30年8月21日(火)とした。
- (5) 調査実施機関 株式会社情報サービス鳥取に本調査を委託した。
- (6) 回収率 41.7% (625/1,500)

4 説明事項

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、集計対象総数より各設問毎の無回答を除いた数値を母数(N又はnとして表示)として百分率(%)を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

(2) 「無回答」の取り扱いについて

以下については、「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合

例:「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など

(3) 調査項目の「合計」の不一致について

クロス集計※の「合計」と単純集計の「合計」は一致しない。これは、クロス集計には、性別、年齢などが記載されていないものは含めていないためである。

※クロス集計...性別、年齢や他の質問項目をかけ合わせてデータの分析や集計を行うことにより、相互の関係を明らかにするための集計方法

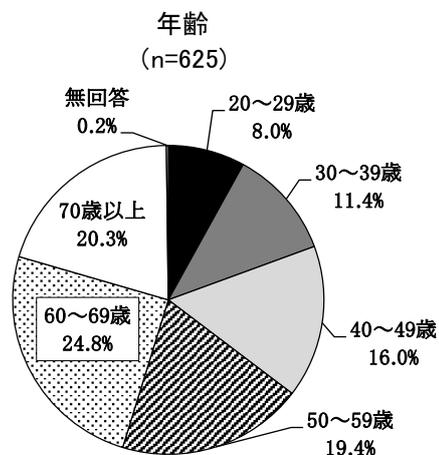
(参考) 市町村別の配布枚数と回収状況

全配布枚数 1,500 枚は、20 歳以上の人口比率を用いて、市町村別に按分した。

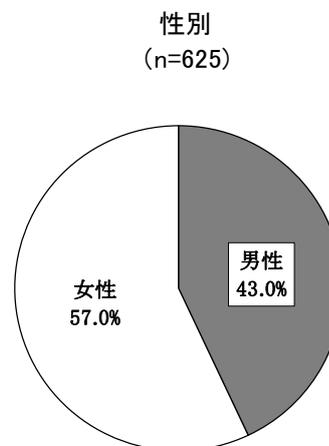
No.	市町村	配布枚数			回答枚数	回収率 (%)
		男性	女性	合計		
1	鳥取市	241	263	504	199	39.5
2	米子市	180	207	387	164	42.8
3	倉吉市	59	69	128	60	46.9
4	境港市	42	48	90	37	33.3
5	岩美町	14	17	31	7	22.6
6	若桜町	4	5	9	2	22.2
7	智頭町	9	10	19	10	52.6
8	八頭町	21	23	44	22	50.0
9	三朝町	8	9	17	7	41.2
10	湯梨浜町	20	23	43	16	21.9
11	琴浦町	21	24	45	13	28.9
12	北栄町	18	21	39	20	51.3
13	日吉津村	4	5	9	3	33.3
14	大山町	21	23	44	20	45.5
15	南部町	14	16	30	10	33.3
16	伯耆町	14	16	30	18	60.0
17	日南町	6	7	13	8	61.5
18	日野町	4	5	9	3	33.3
19	江府町	4	5	9	4	44.4
	無回答	-	-	-	2	-
	全体	704	796	1,500	625	41.7

II 調査結果の概要

問1. 年齢



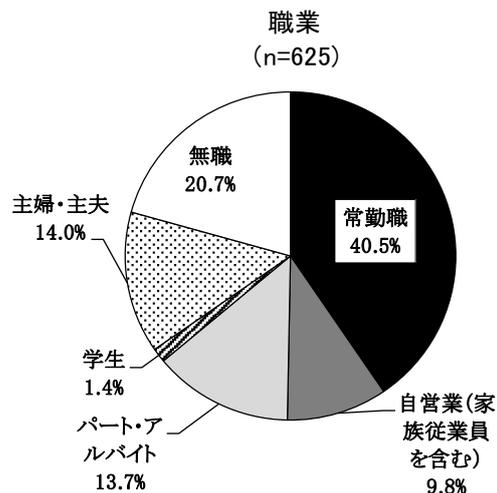
問2. 性別



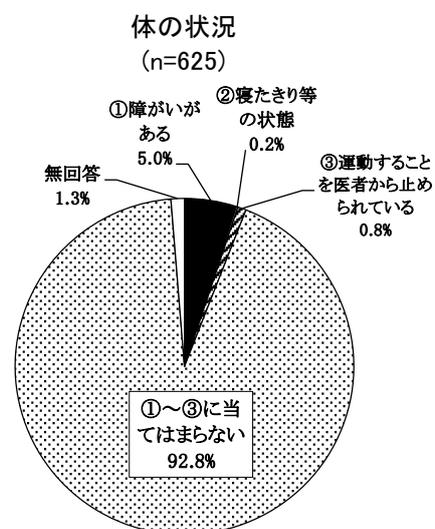
問3. 居住地

No.	居住地	回答者数
1	鳥取市	199
2	米子市	164
3	倉吉市	60
4	境港市	37
5	岩美町	7
6	若桜町	2
7	智頭町	10
8	八頭町	22
9	三朝町	7
10	湯梨浜町	16
11	琴浦町	13
12	北栄町	20
13	日吉津村	3
14	大山町	20
15	南部町	10
16	伯耆町	18
17	日南町	8
18	日野町	3
19	江府町	4
	無回答	2
	全体	625

問4. 職業



問5. 体の状況



< 健康に関する意識 >

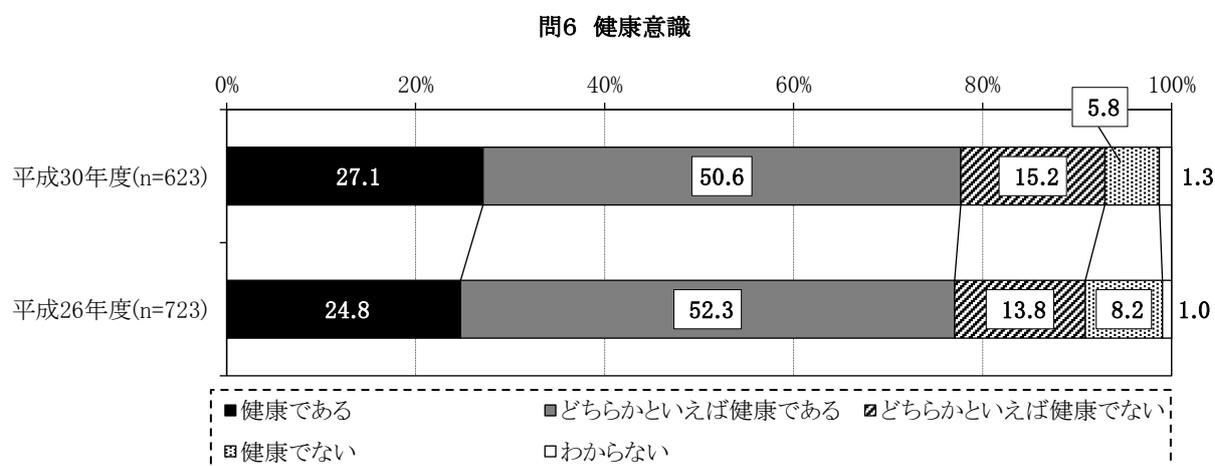
問6. あなたは、このところ健康だと思いますか。(1つだけ〇印)

【結果概要】自分は健康だと「思う」人は77.7%

「健康である」が27.1%、「どちらかといえば健康である」が50.6%と、約8割(合計77.7%)の人が自分は「健康である」と感じている。

一方、「健康ではない」が5.8%、「どちらかといえば健康ではない」が15.2%と、約2割(合計21.0%)の人が「健康ではない」と認識している。

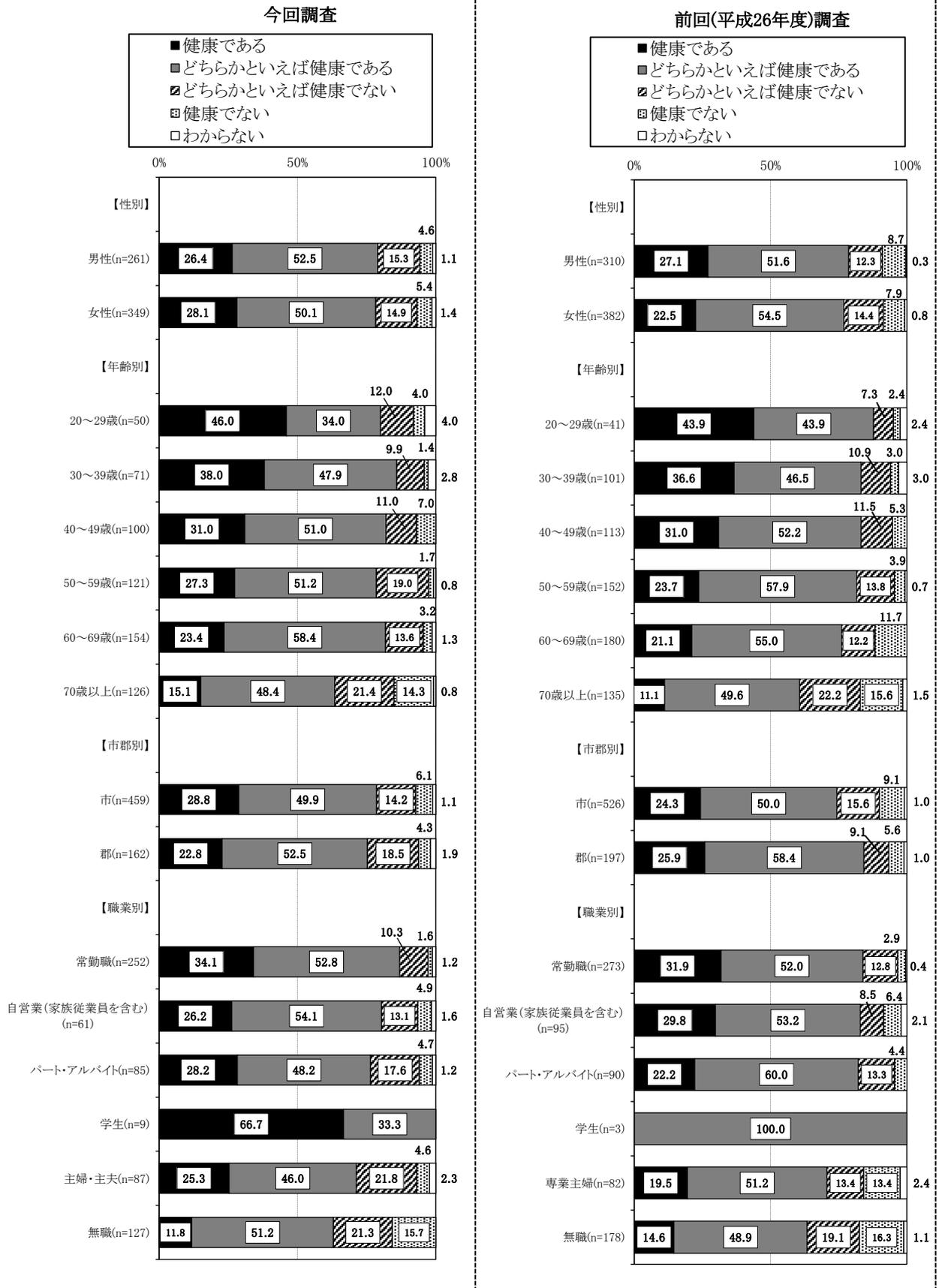
前回調査と比較すると、わずかに「健康である」と答える人の増加がみられるが、ほぼ同様な割合となっている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、いずれも8割近くが「健康である」と答えている。(前回調査同様)
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「健康である」が減っている。(前回調査同様)
- 市郡別で見ると、前回調査では『郡部』の「健康である」が多かったが、今回調査では『市部』の「健康である」が多くなり、逆転している。
- 職業別で見ると、前回調査と比較して『自営業』『パート・アルバイト』『無職』で「健康でない」が多くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

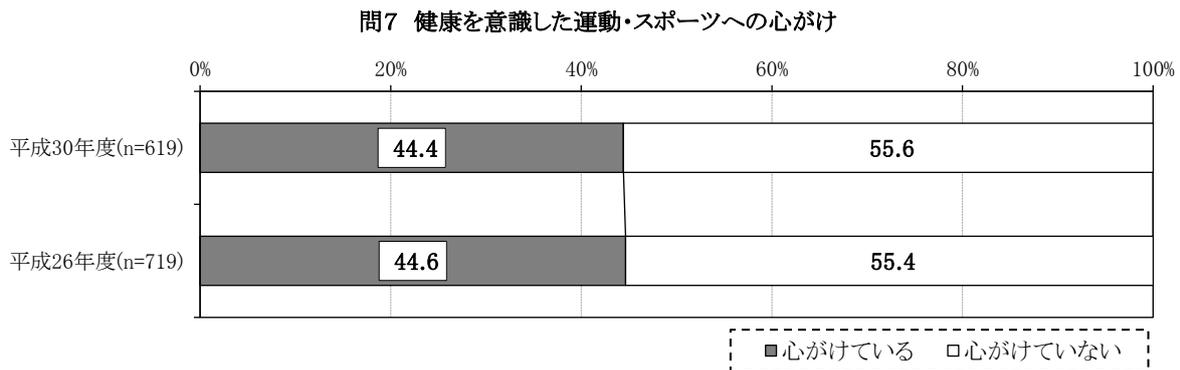
問7. あなたは、普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう心がけていますか。

(1つだけ○印)

【結果概要】健康を意識した運動やスポーツを「心がけている」人は44.4%

普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう「心がけている」が44.4%、これに対し「心がけていない」が55.6%と、心がけていない人が11.2ポイント上回っている。

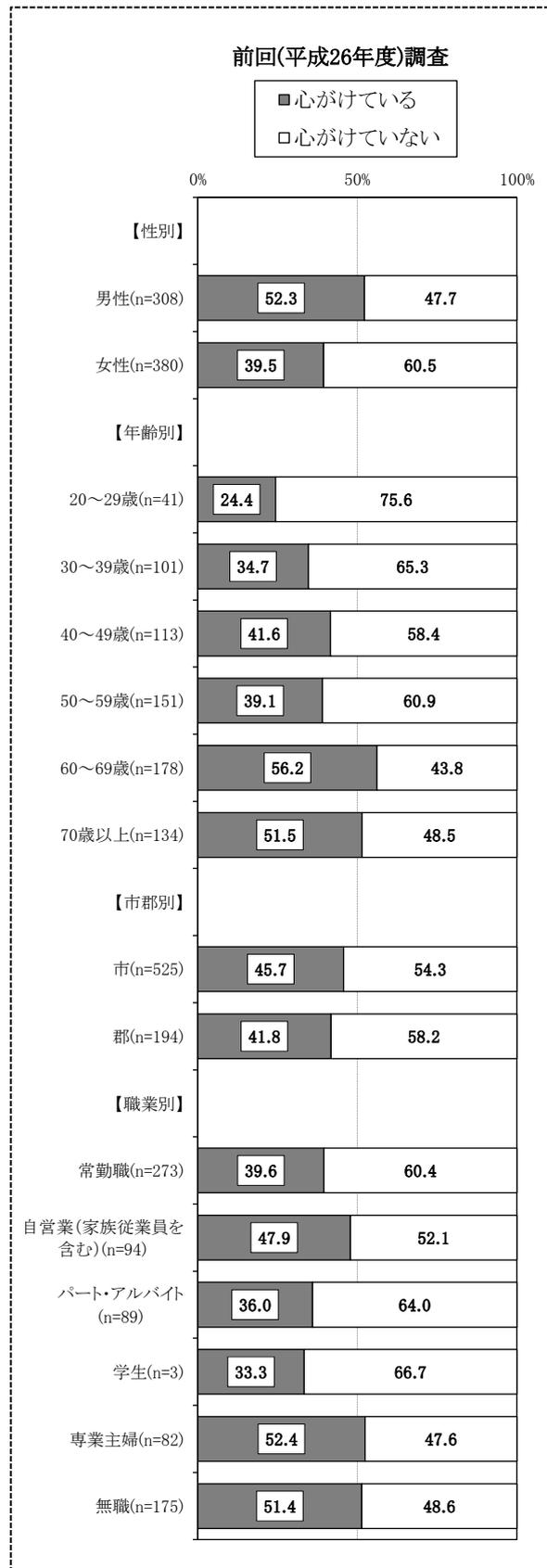
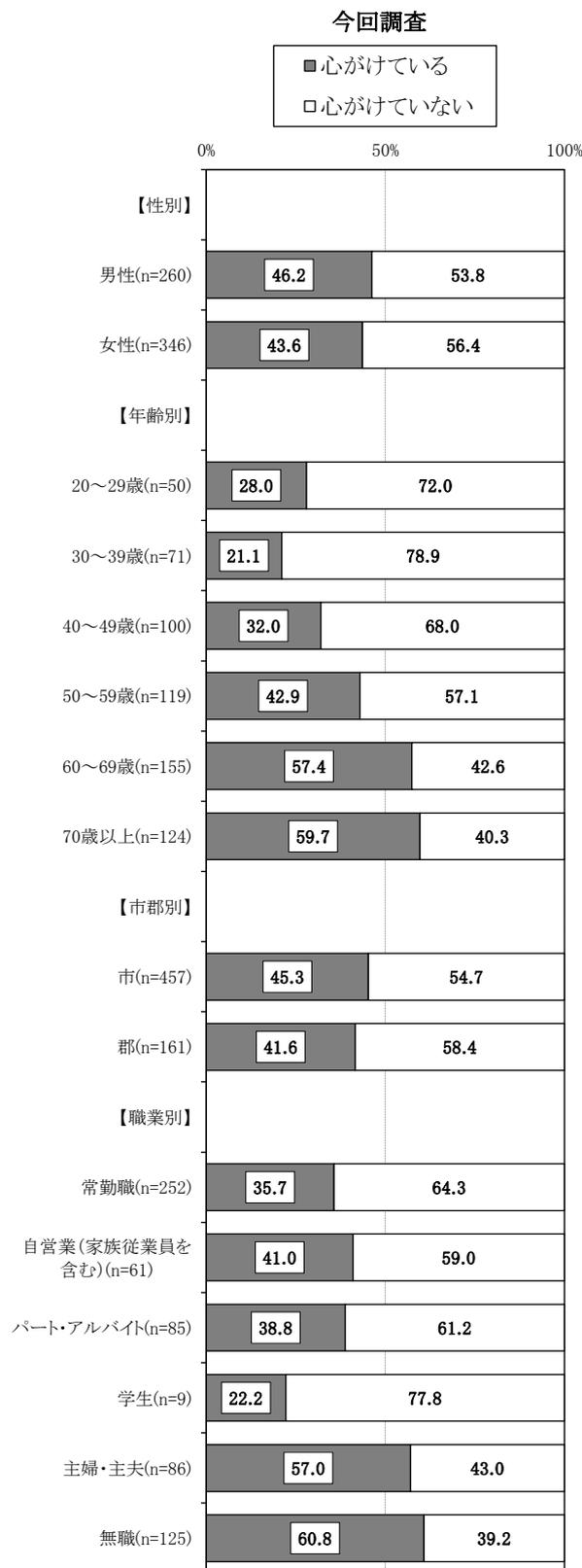
前回調査と比較すると、今回調査結果とほとんど差異はなく、同様の結果となっている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、前回調査と比較して、『男性』の「心がけている」割合が少し減少しているのに対し、『女性』の「心がけている」割合は少し増加している。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「心がけている」が増加しているが、30歳代は20歳代より「心がけていない」が多い。前回調査と比較すると、『30～39歳』『40～49歳』の層では運動やスポーツを「心がけていない」が増加している。
- 職業別で見ると、前回調査と比較すると『常勤職』『自営業』『学生』において「心がけていない」が増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

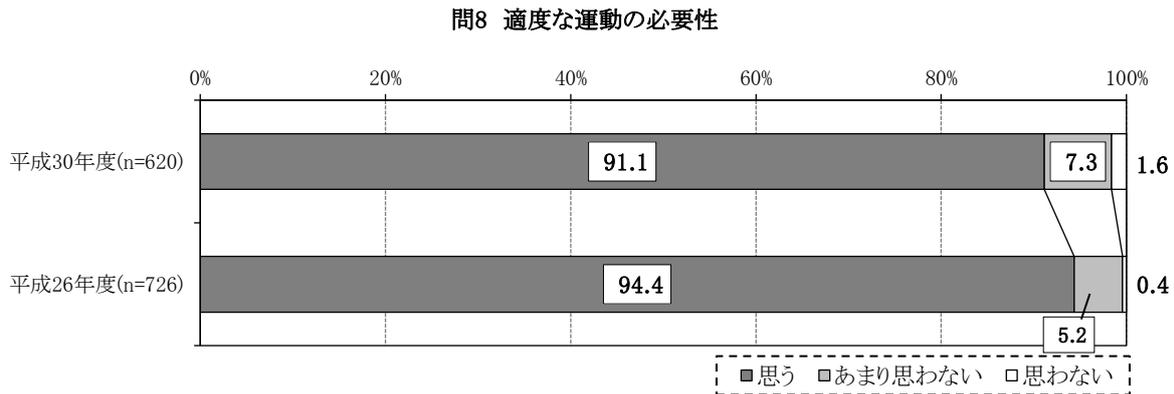
問8. あなたは、健康であるためには、適度な運動やスポーツが必要だと思いますか。

(1つだけ○印)

【結果概要】91.1%の人が健康には適度な運動やスポーツが「必要だ」と感じている

健康のために適度な運動やスポーツが必要だと思うか聞いたところ、91.1%の人が「(運動やスポーツは必要だと)思う」と答えている。

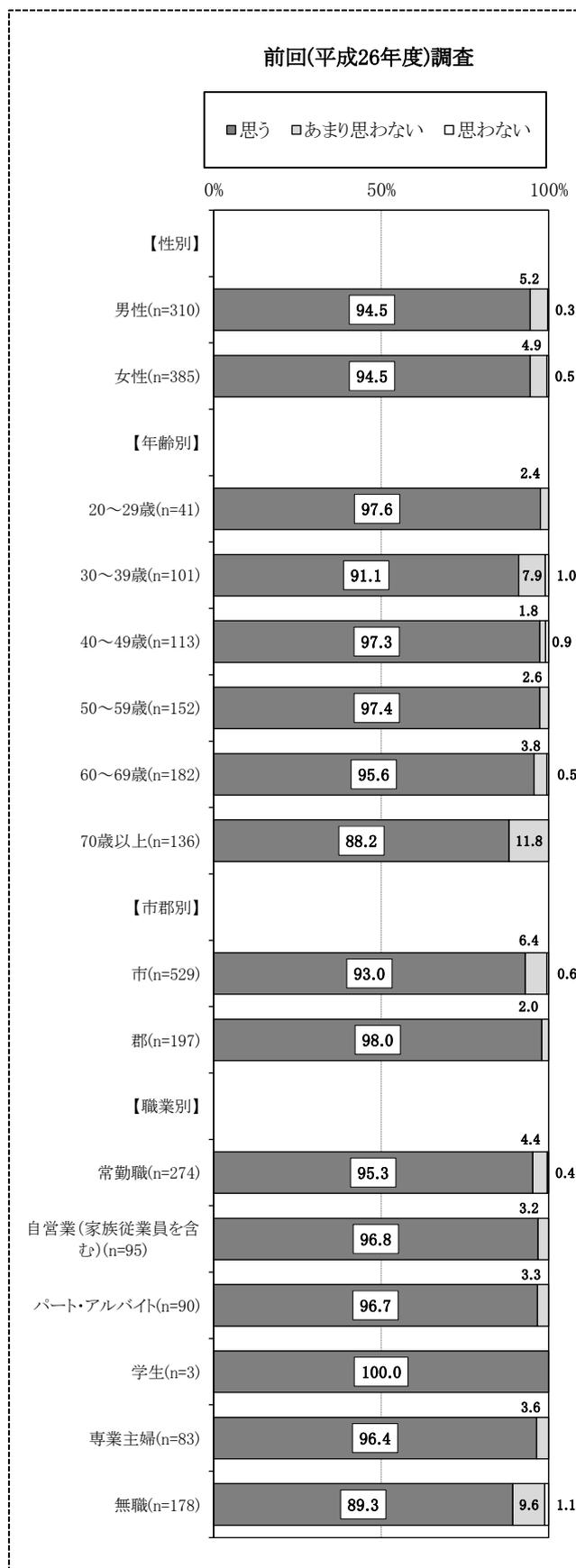
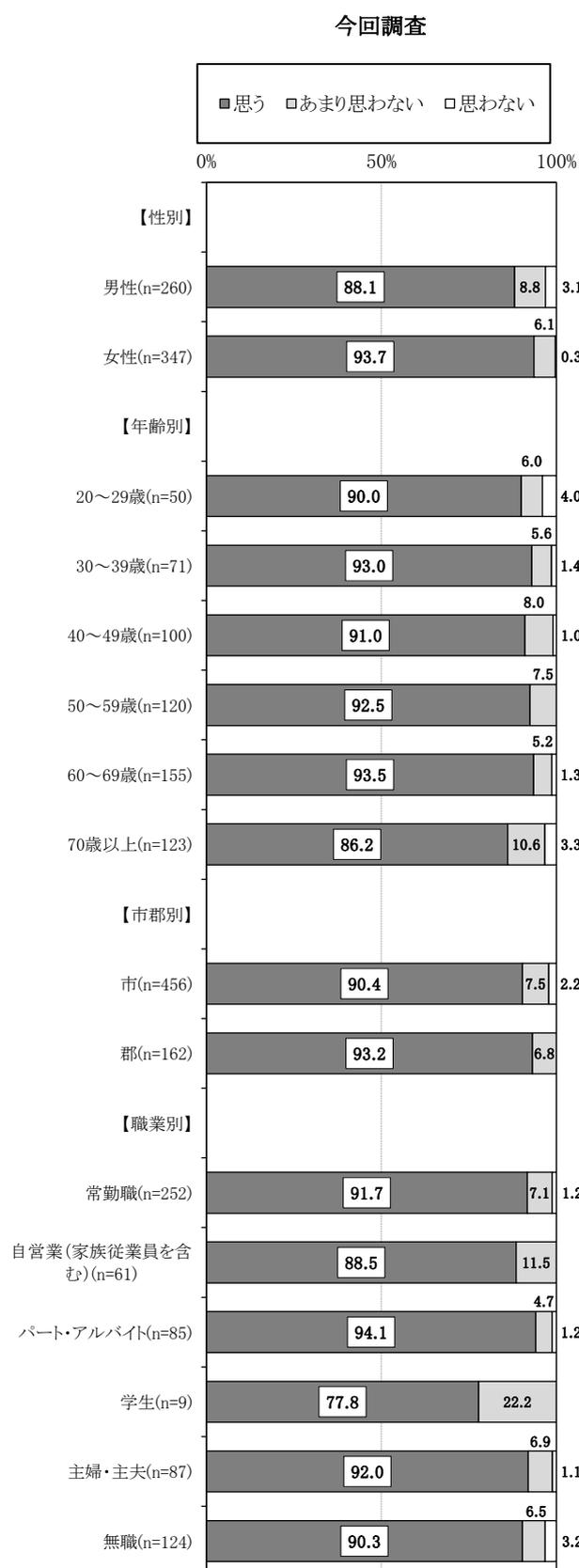
前回調査と比較すると、わずかに適度な運動は必要だという意見が減少している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、前回調査と比較すると『男性』『女性』とも「(運動やスポーツは必要だと)思う」が減少しており、特に『男性』の落ち込みが大きい。
- 年齢別で見ると、前回調査と比較すると『30～39歳』のみ「(運動やスポーツは必要だと)思う」が増加している。
- 市郡別で見ると、前回調査と比較すると『郡部』『市部』とも「(運動やスポーツは必要だと)思う」が、減少している。
- 職業別で見ると、前回調査と比較すると『無職』を除く職業で「(運動やスポーツは必要だと)思う」が減少しており、特に『学生』の落ち込みが大きい。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



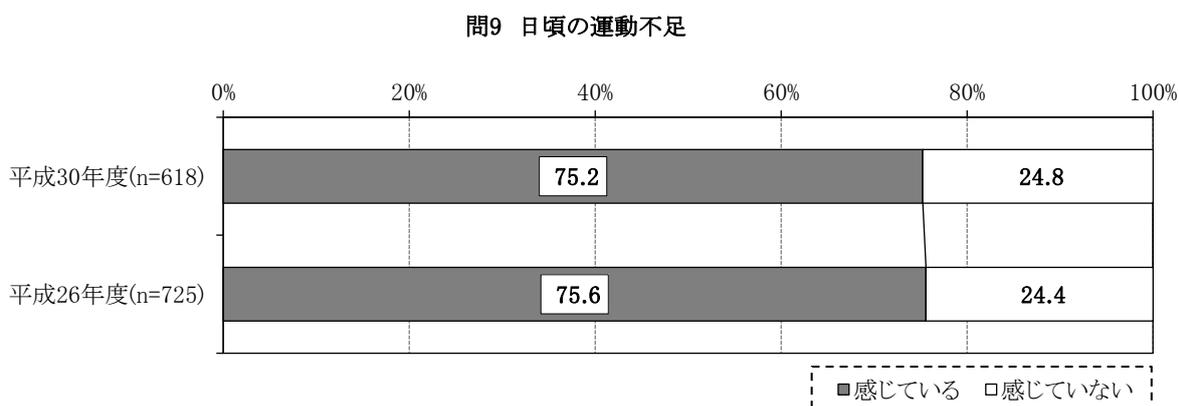
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問9. あなたは、日頃運動不足を感じていますか。(1つだけ〇印)

【結果概要】運動不足を「感じている」人は75.2%

日頃運動不足を感じているか聞いたところ、「(運動不足を)感じている」が75.2%であるのに対し、「(運動不足を)感じていない」は24.8%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様な結果となっている。



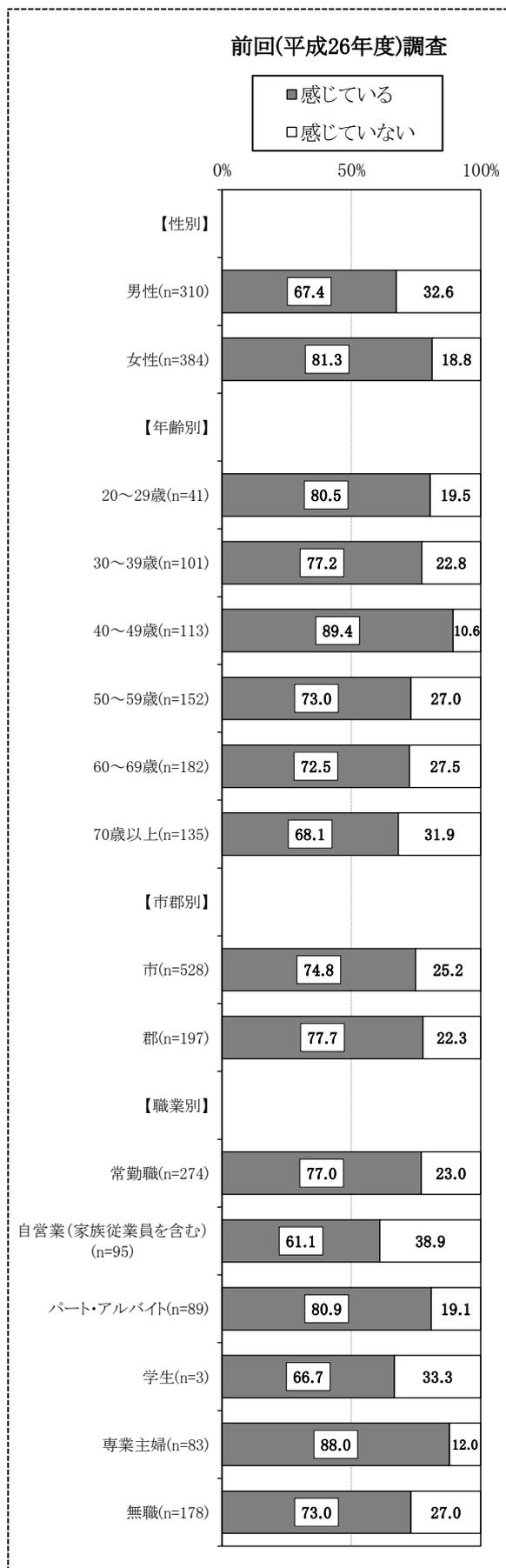
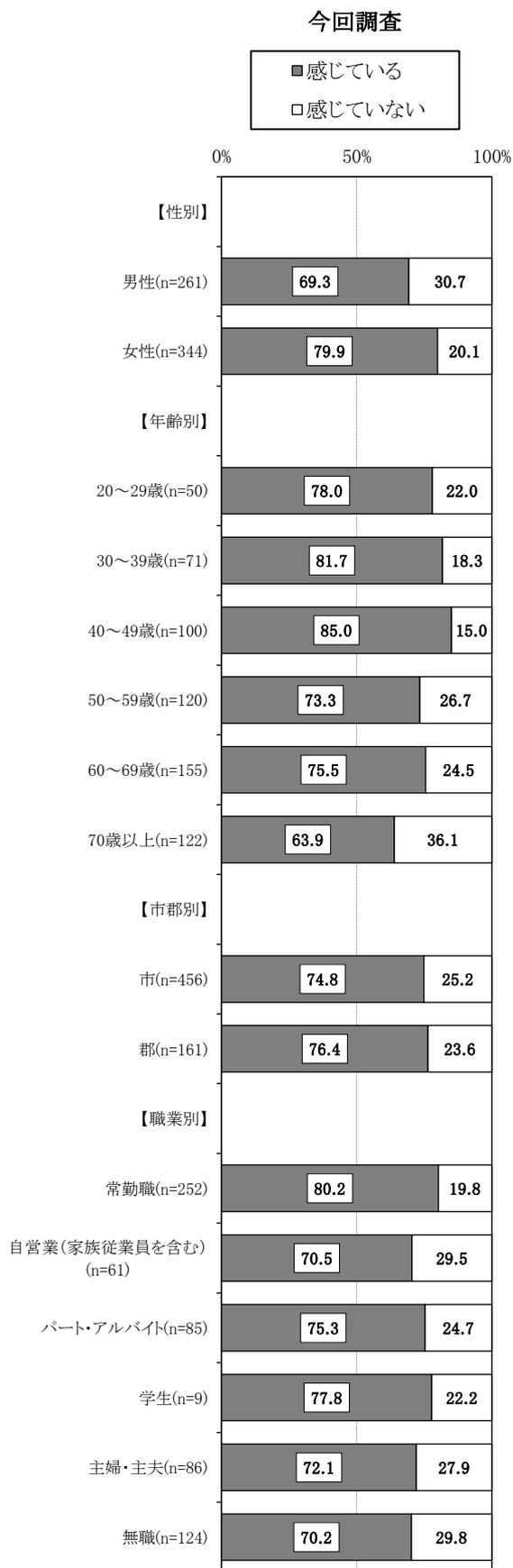
【結果の分析】

○性別で見ると、『女性』は『男性』と比べて「(運動不足を)感じている」割合が多い。前回調査と比較すると「(運動不足を)感じている」人は、『男性』では増加し、『女性』では減少している。

○年齢別で見ると、『70歳以上』が他の年齢層に比べて「(運動不足を)感じていない」が最も多い。前回調査と比較すると『30～39歳』『50～59歳』『60～69歳』で「(運動不足を)感じている」が多くなっている。

○職業別で見ると、『常勤職』が「(運動不足を)感じている」が最も多く、『自営業』『無職』で「(運動不足を)感じていない」が多い。前回調査と比較すると「(運動不足を)感じている」人は、『常勤職』『自営業』『学生』で多くなっており、『主婦・主夫』は「(運動不足を)感じている」が少なくなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



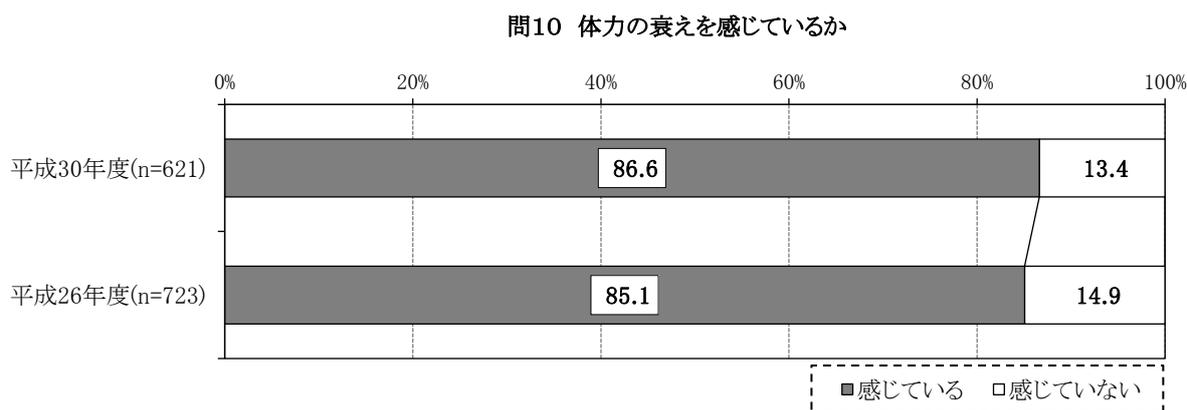
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 10. あなたは、日頃体力の衰えを感じていますか。(1つだけ○印)

【結果概要】体力の衰えを「感じている」人は86.6%

日頃体力の衰えを「感じている」人の割合は86.6%であるのに対し、「感じていない」人の割合は13.4%となっている。

前回調査と比較すると、体力の衰えを「感じている」と回答する人が1.5ポイント増加している。

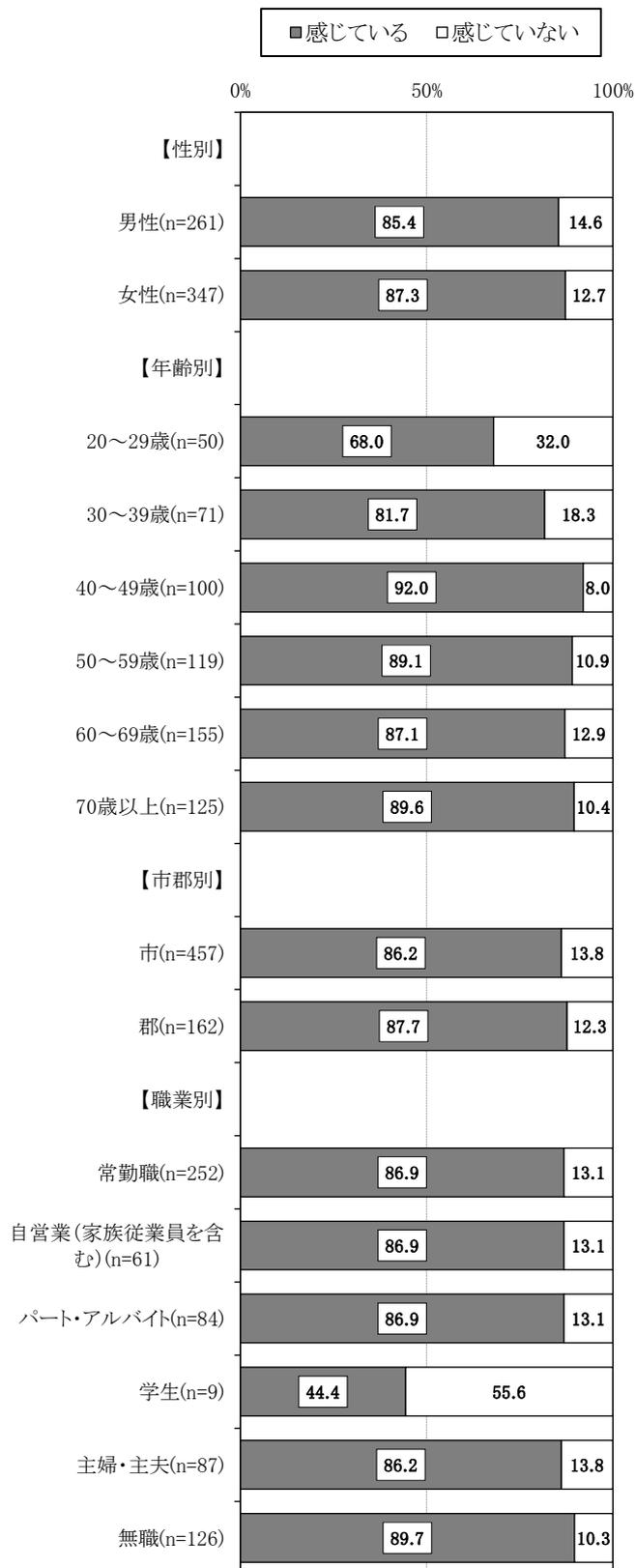


【結果の分析】

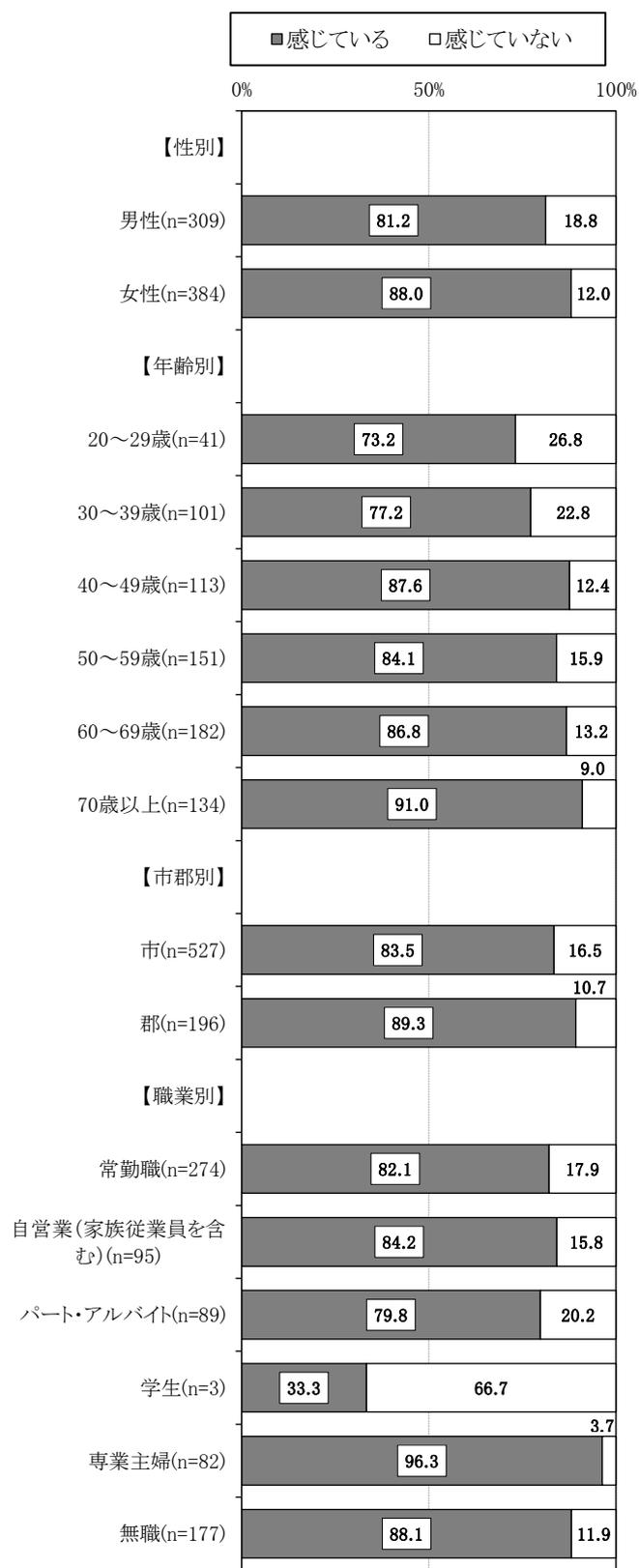
- 性別で見ると、『女性』が『男性』と比べて体力の衰えを「感じている」割合が多い。前回調査と比較すると、女性が男性を上回る傾向は変わらないものの、『男性』で衰えを「感じている」割合が多くなっている。
- 年齢別で見ると、衰えを「感じている」割合は全ての年齢層で多く、『40歳』代が最も多い。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』に比べて、衰えを「感じている」割合が多い。前回調査と比較すると『市部』は衰えを「感じている」割合が増加している。
- 職業別で見ると、前回調査と比較すると『主婦・主夫』以外の職業で衰えを「感じている」割合が増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回調査



前回(平成26年度)調査



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

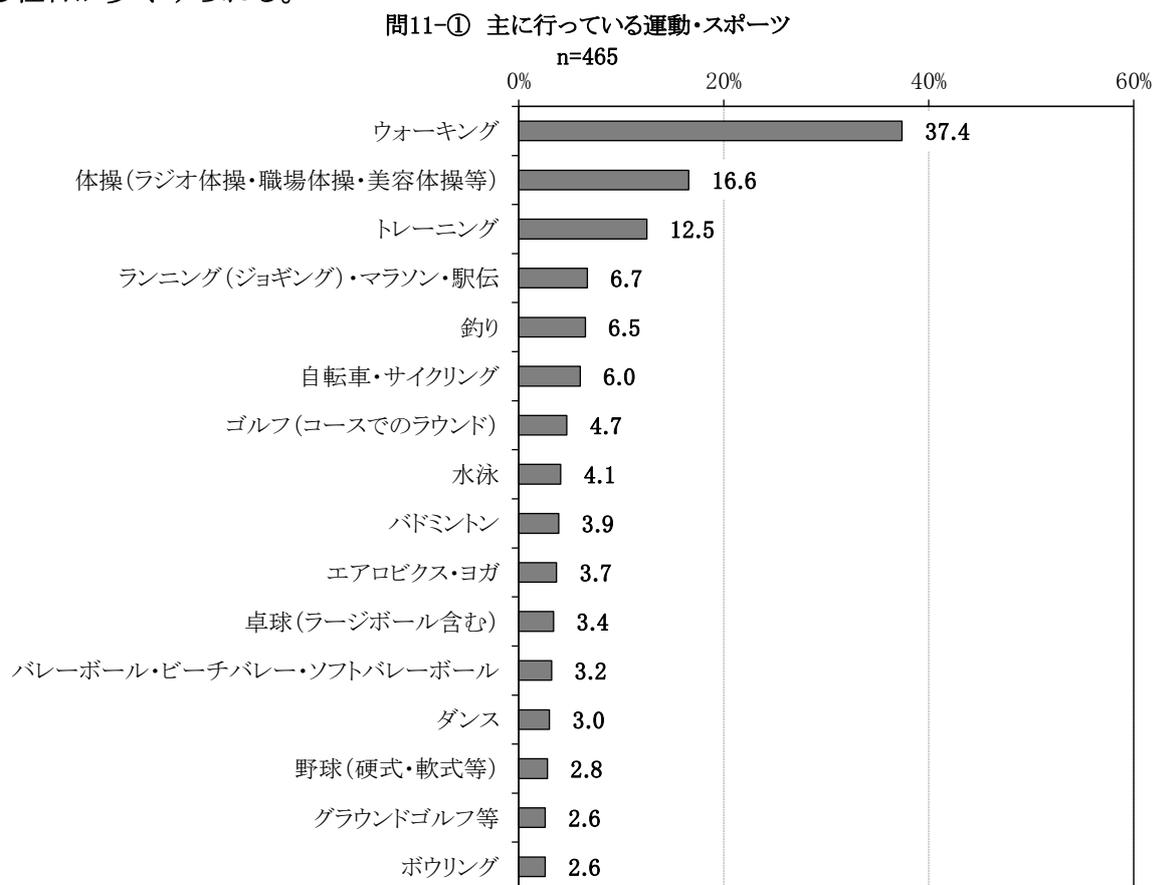
＜運動やスポーツの活動状況＞

問 11. あなたが主に行っている運動やスポーツ（競技や種目）とその理由についてお答えください。

① 主に行っている種目（3つまで〇印）

【結果概要】上位に「ウォーキング」、「体操」、「トレーニング」、「ランニング」など

日頃、行っている運動やスポーツは、「ウォーキング」が 37.4%と圧倒的に多い。次いで、「体操」「トレーニング」「ランニング」などが続き、自宅周辺や近所などで行うことができる種目が多くみられる。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「釣り」「ゴルフ」「野球」などが上位に入っており、屋外で行うものが多い。一方、『女性』は「エアロビクス・ヨガ」「ダンス」「卓球」などが上位に入っており、屋内で行うものが多い。

○年齢別で見ると、20代は競技性の強い種目が上位に入っている。30代は上位に「釣り」、50代は上位に「トレーニング」、70代は上位に「グラウンド・ゴルフ」が入っている。

○市郡別で見ると、『市部』は上位に「自転車・サイクリング」、『郡部』は上位に「釣り」が入っている。

○職業別で見ると、『学生』は1位に『トレーニング』、『無職』は上位に「グラウンド・ゴルフ」が入っている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】上位10位

上段・種目 下段・%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
性別	男性(n=203)	ウォーキング	トレーニング	釣り	ランニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	体操	自転車・サイクリング	水泳	野球(硬式・軟式等)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)
		36.5	12.8	12.8	9.9	9.4	7.4	5.4	4.9		
性別	女性(n=255)	ウォーキング	体操	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	ダンス	卓球(ラージボール含む)	自転車・サイクリング	ランニング	バレーボール他	バドミントン
		38.4	22.7	11.8	6.3	5.5	5.1	4.3	3.9	3.5	
年齢別	20~29歳(n=44)	ウォーキング	ランニング	トレーニング	野球(硬式・軟式等)	バドミントン	テニス・ソフトテニス	バスケットボール・ポートボール	剣道	自転車・サイクリング	体操
		22.7	20.5	13.6	11.4	6.8					
	30~39歳(n=53)	ウォーキング	ランニング	釣り	トレーニング	水泳	卓球(ラージボール含む)	バドミントン	自転車・サイクリング	体操	野球(硬式・軟式等)
		28.3	11.3	9.4	7.5						
	40~49歳(n=85)	ウォーキング	体操	トレーニング	バレーボール他	ランニング	キャンプ・オートキャンプ	エアロビクス・ヨガ	バドミントン	自転車・サイクリング	サッカー
		29.4	16.5	11.8	7.1	5.9	4.7	3.5			
	50~59歳(n=95)	ウォーキング	トレーニング	体操	釣り	ゴルフ(コースでのラウンド)	水泳	エアロビクス・ヨガ	ボウリング	自転車・サイクリング	キャンプ・オートキャンプ
	37.9	17.9	14.7	8.4	6.3	5.3	3.2				
年齢別	60~69歳(n=116)	ウォーキング	体操	トレーニング	自転車・サイクリング	釣り	ゴルフ(コースでのラウンド)	ダンス	バレーボール他	ランニング	エアロビクス・ヨガ
		46.6	21.6	10.3	7.8	6.0	5.2	4.3	3.4		
年齢別	70歳以上(n=72)	ウォーキング	体操	グラウンドゴルフ他	ゴルフ(コースでのラウンド)	トレーニング	ダンス	自転車・サイクリング	釣り	アクアエクササイズ	水泳
		47.2	23.6	12.5	8.3	6.9	4.2	2.8			
市郡別	市(n=346)	ウォーキング	体操	トレーニング	自転車・サイクリング	ランニング	釣り	ゴルフ(コースでのラウンド)	水泳	エアロビクス・ヨガ	卓球(ラージボール含む)
		38.2	15.9	12.7	7.2	6.1	5.5	4.6	3.8		
市郡別	郡(n=118)	ウォーキング	体操	トレーニング	釣り	ランニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	バドミントン	野球(硬式・軟式等)	エアロビクス・ヨガ	グラウンドゴルフ他
		34.7	17.8	11.9	9.3	8.5	5.1	4.2	3.4		
職業別	常勤職(n=212)	ウォーキング	トレーニング	ランニング	体操	釣り	バドミントン	ゴルフ(コースでのラウンド)	野球(硬式・軟式等)	水泳	バレーボール他
		30.7	14.2	10.4	9.9	7.1	6.6	5.7	5.2	4.7	4.2
	自営業(家族従業員を含む)(n=40)	ウォーキング	トレーニング	体操	釣り	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	ゴルフ(コースでのラウンド)	ダンス	アクアエクササイズ	キャッチボール	グラウンドゴルフ他
		35.0	15.0	7.5	5.0	2.5					
	パート・アルバイト(n=61)	ウォーキング	体操	自転車・サイクリング	トレーニング	バレーボール他	ランニング	卓球(ラージボール含む)	釣り	エアロビクス・ヨガ	キャンプ・オートキャンプ
		34.4	19.7	13.1	9.8	8.2	6.6	4.9			
	学生(n=8)	トレーニング	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	サッカー	バスケットボール・ポートボール	ボウリング	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	ランニング	剣道	自転車・サイクリング
	25.0	12.5									
職業別	主婦・主夫(n=61)	ウォーキング	体操	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	ダンス	テコンドー・太極拳	アクアエクササイズ	グラウンドゴルフ他	水泳	卓球(ラージボール含む)
		54.1	31.1	13.1	6.6	4.9	3.3				
職業別	無職(n=83)	ウォーキング	体操	グラウンドゴルフ他	自転車・サイクリング	ゴルフ(コースでのラウンド)	トレーニング	水泳	釣り	アクアエクササイズ	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング
		48.2	22.9	10.8	9.6	7.2	6.0	4.8	3.6		

※アクアエクササイズ……アクアエクササイズ・水中ウォーキング
 ※ランニング……ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
 ※体操……体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
 ※グラウンドゴルフ他……グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
 ※バレーボール他……バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール

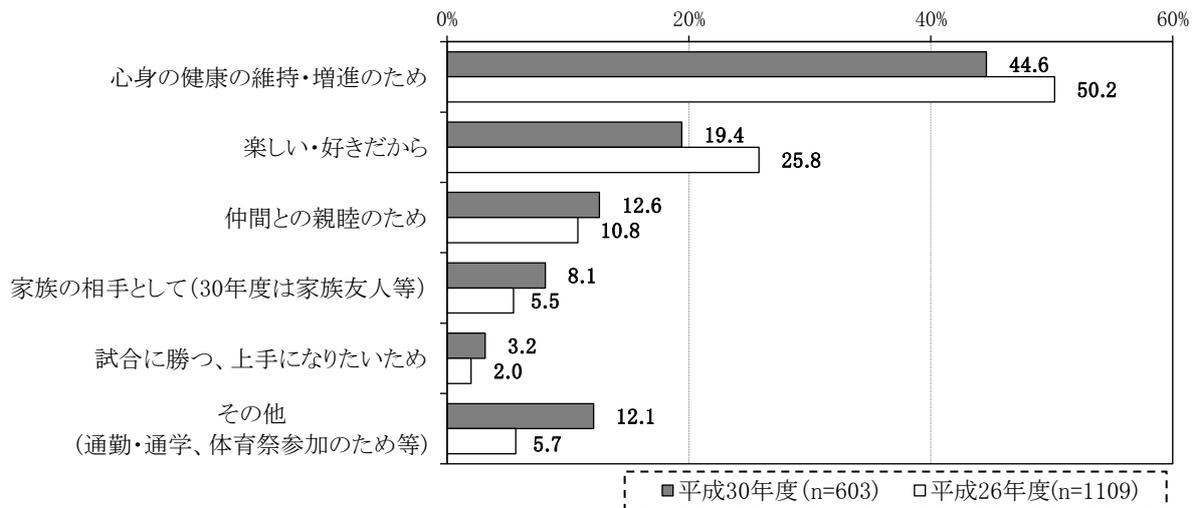
② 運動やスポーツを行っているのは、どんな理由からですか、(3つまで○印)

【結果概要】運動やスポーツは「心身の健康の維持・増進のため」が44.6%

運動やスポーツを行っている理由は、「心身の健康の維持・増進のため」が44.6%と最も多く、次いで「楽しい・好きだから」が19.4%、「仲間との親睦のため」が12.6%、「家族の相手として」が8.1%と続き、健康の維持・増進や楽しみ、仲間や家族との触れ合いのために運動やスポーツを行っていることがうかがえる。

前回調査と比較すると、「仲間との親睦のため」、「家族の相手として」、「試合に勝つ」割合が増加している。

問11-② 運動やスポーツを行う理由



【運動やスポーツを行う理由別の運動・スポーツの実施種目】

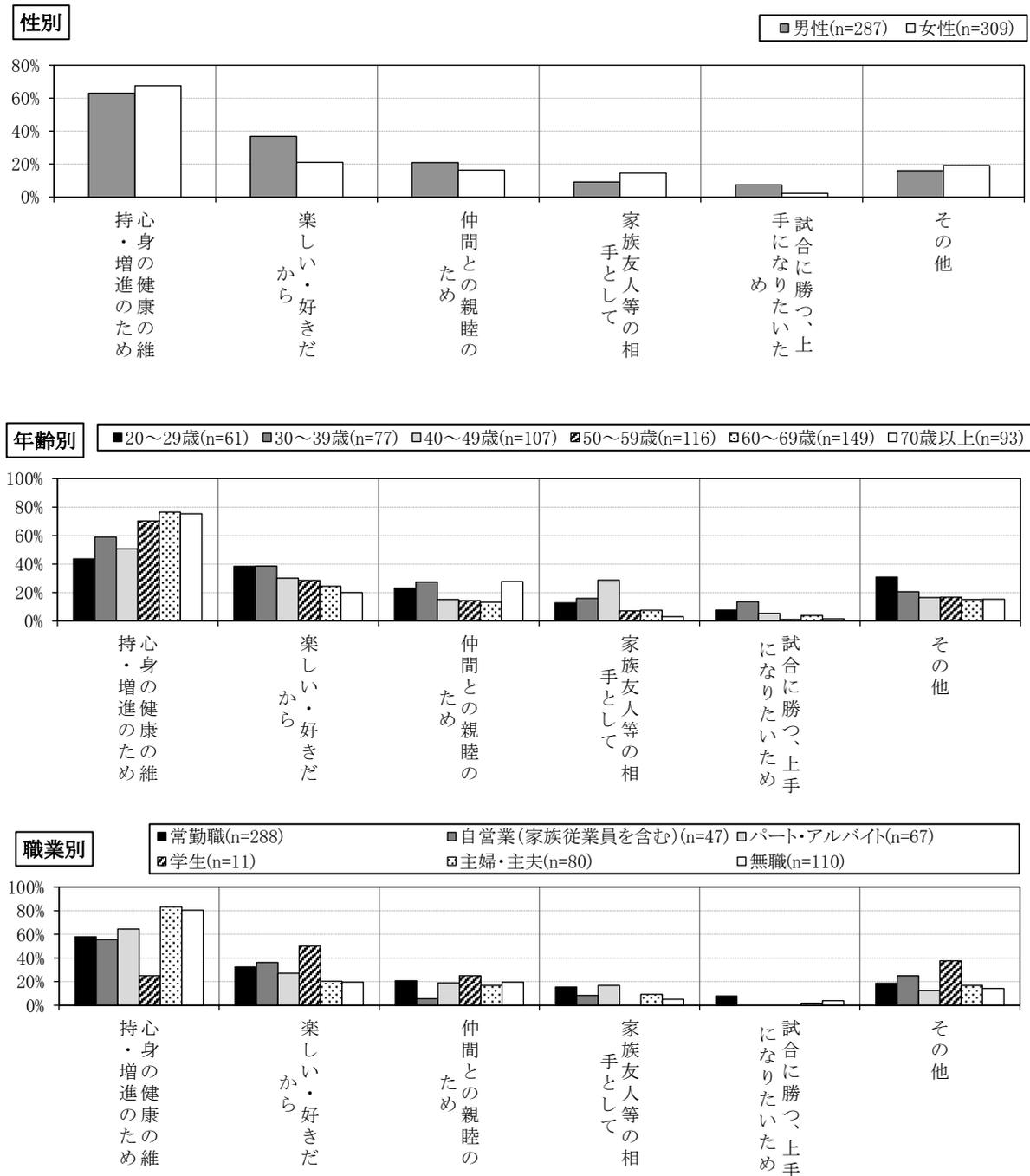
○ウォーキングは「試合に勝つ、上手になりたいため」を除いた理由ですべて1位となり、運動・スポーツを行う上で誰もが取り組みやすい種目であるといえる。

上段:種目 下段:%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
① 心身の健康の維持・増進のため (n=269)	ウォーキング 54.6	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等) 27.1	トレーニング 20.4	自転車・サイクリング 9.7	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 7.1	釣り 6.3	エアロビクス・ヨガ 5.6	ゴルフ(コースでのラウンド) 4.5	水泳 3.3	アクアエクササイズ・水中ウォーキング
② 運動、スポーツが楽しい・好きだから (n=117)	ウォーキング 29.1	釣り 16.2	トレーニング 13.7	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 12.8	ゴルフ(コースでのラウンド) 12	バドミントン 11.1	水泳 9.4	野球(硬式・軟式等)	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール 7.7	卓球(ラージボール含む)
③ 仲間との親睦のため (n=76)	ウォーキング 34.2	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等) 17.1	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 13.2	ゴルフ(コースでのラウンド) 10.5	トレーニング 9.2	釣り 7.9	卓球(ラージボール含む)	グラウンドゴルフ等 9.2	ボウリング 7.9	野球(硬式・軟式等)
④ 家族友人等の相手として (n=49)	ウォーキング 49.0	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 18.4	釣り 16.3	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等) 12.2	トレーニング 10.2	ボウリング 8.2	水泳 6.1	卓球(ラージボール含む)	バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール 6.1	縄跳び
⑤ 試合に勝つ、上手になりたいため (n=19)	トレーニング 15.8	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ) 10.5	フットサル 5.3	ダンス 5.3	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 5.3	テニス・ソフトテニス 5.3	バドミントン 5.3	ゴルフ(コースでのラウンド) 5.3	サッカー 5.3	器械体操・新体操・トランポリン
⑥ その他 (n=73)	ウォーキング 27.4	体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等) 8.2	自転車・サイクリング 5.5	トレーニング 4.1	ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝 2.7	キャンプ・オートキャンプ 2.7	器械体操・新体操・トランポリン 2.7	ダンス 2.7	釣り 2.7	キャッチボール

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比べて「楽しい・好きだから」「仲間との親睦のため」「試合に勝つ」が多い。『女性』は『男性』と比べて「心身の健康維持・増進のため」「家族友人等の相手として」が多い。
- 年齢別で見ると、『40～49歳』では「家族友人等の相手として」、『50歳以上』では「心身の健康維持・増進のため」、『70歳以上』では「仲間との親睦のため」が多い。
- 職業別で見ると、『学生』以外で「心身の健康維持・増進のため」が多く、『学生』では「運動、スポーツが楽しい・好きだから」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



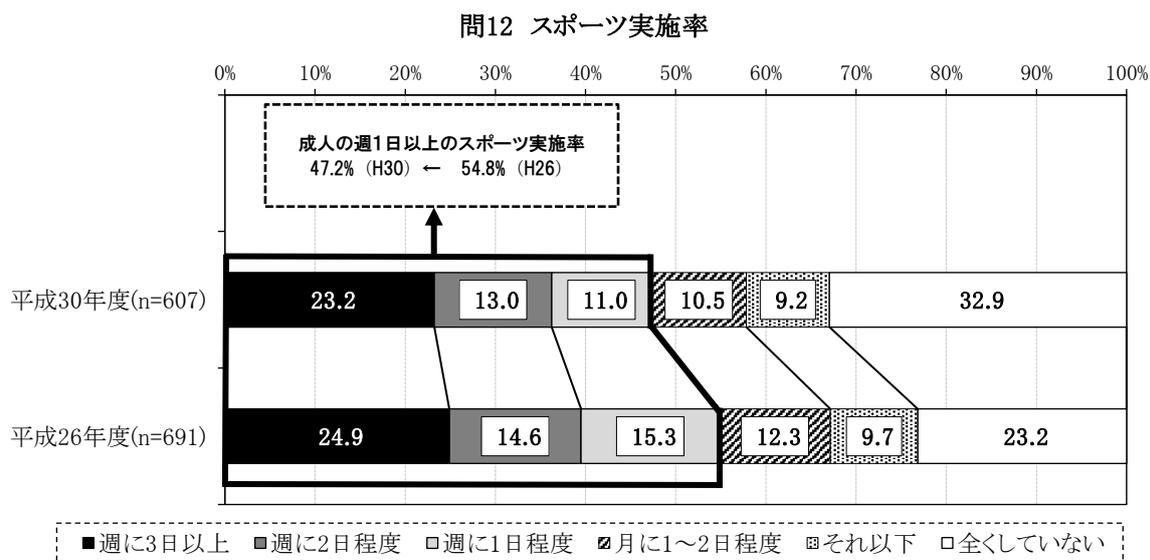
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 12. 問 11 の運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、一年間にどのくらいの割合で運動やスポーツを行いましたか。(1 つだけ〇印)

【結果概要】週 1 日以上、運動やスポーツを行っている人が 47.2%、全くしない人が 32.9%

1 週間に 1 日以上運動やスポーツを行っている人を示すスポーツ実施率は、「週に 3 日以上」が 23.2%、「週に 2 日程度」が 13.0%、「週に 1 日程度」が 11.0%と、約半数(合計 47.2%)となっている。

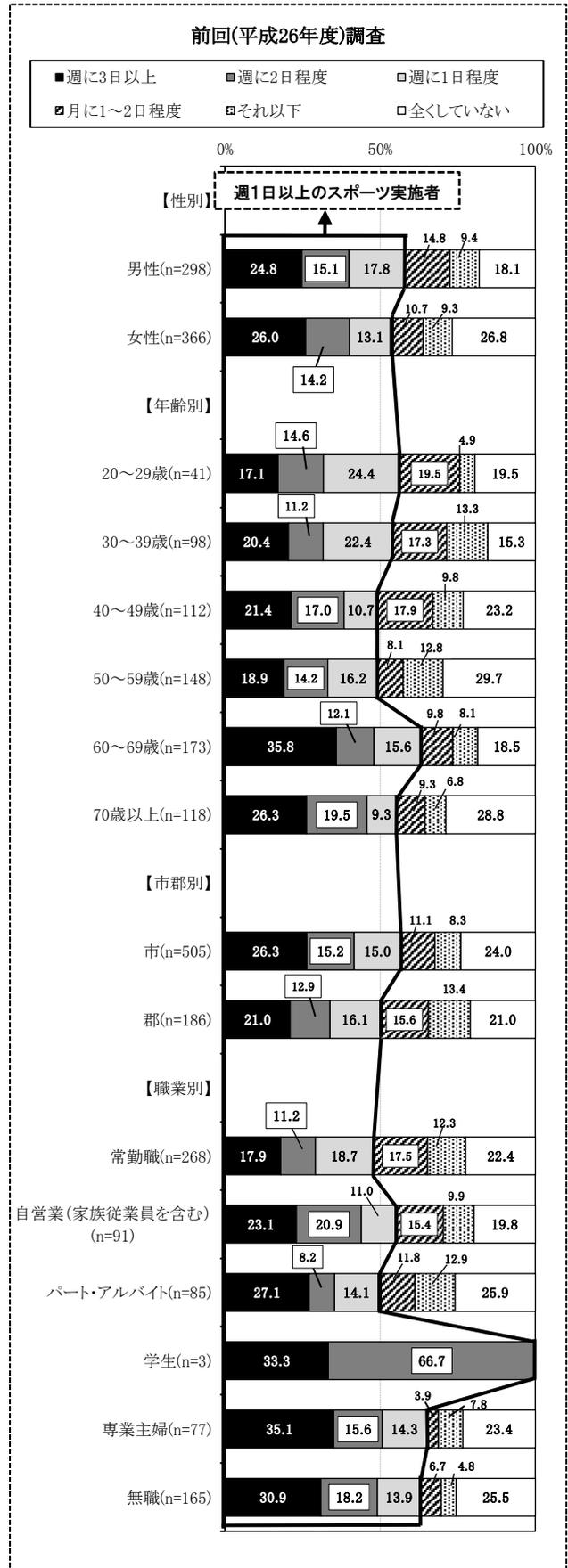
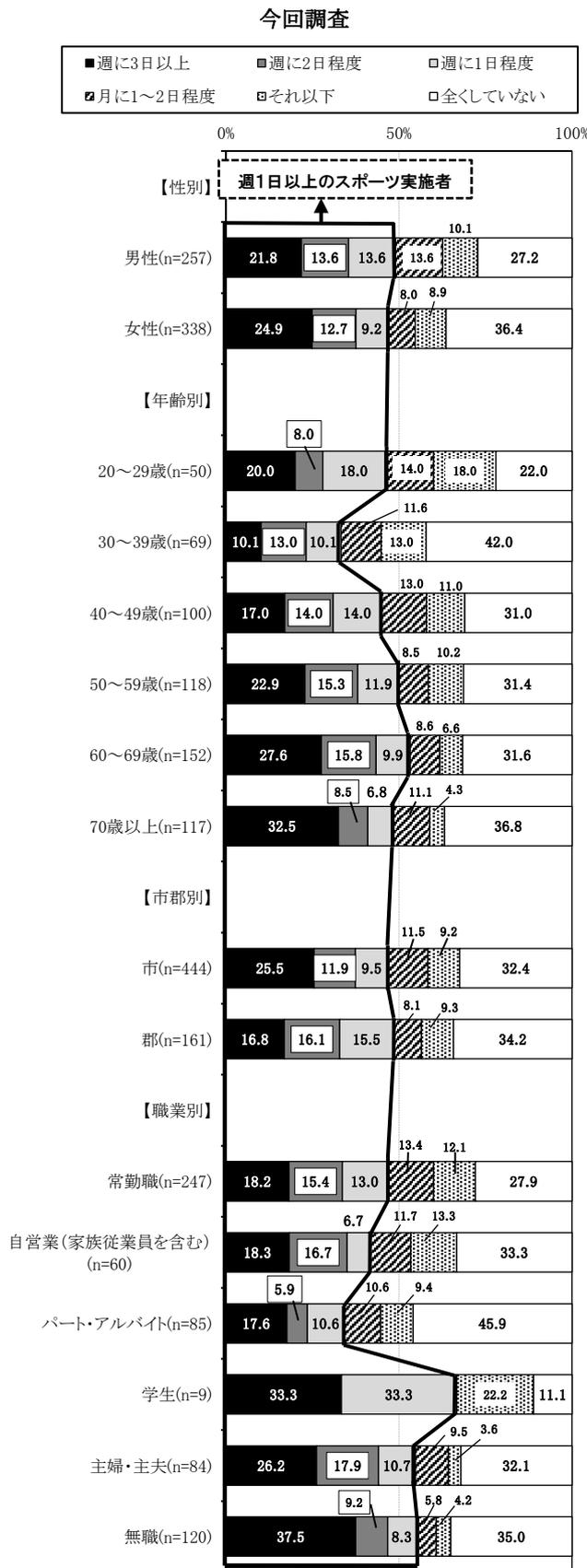
前回調査と比較すると、「全くしていない」が 9.7 ポイント増加している。



【参考】平成 30 年度・平成 26 年度調査の集計データ比較

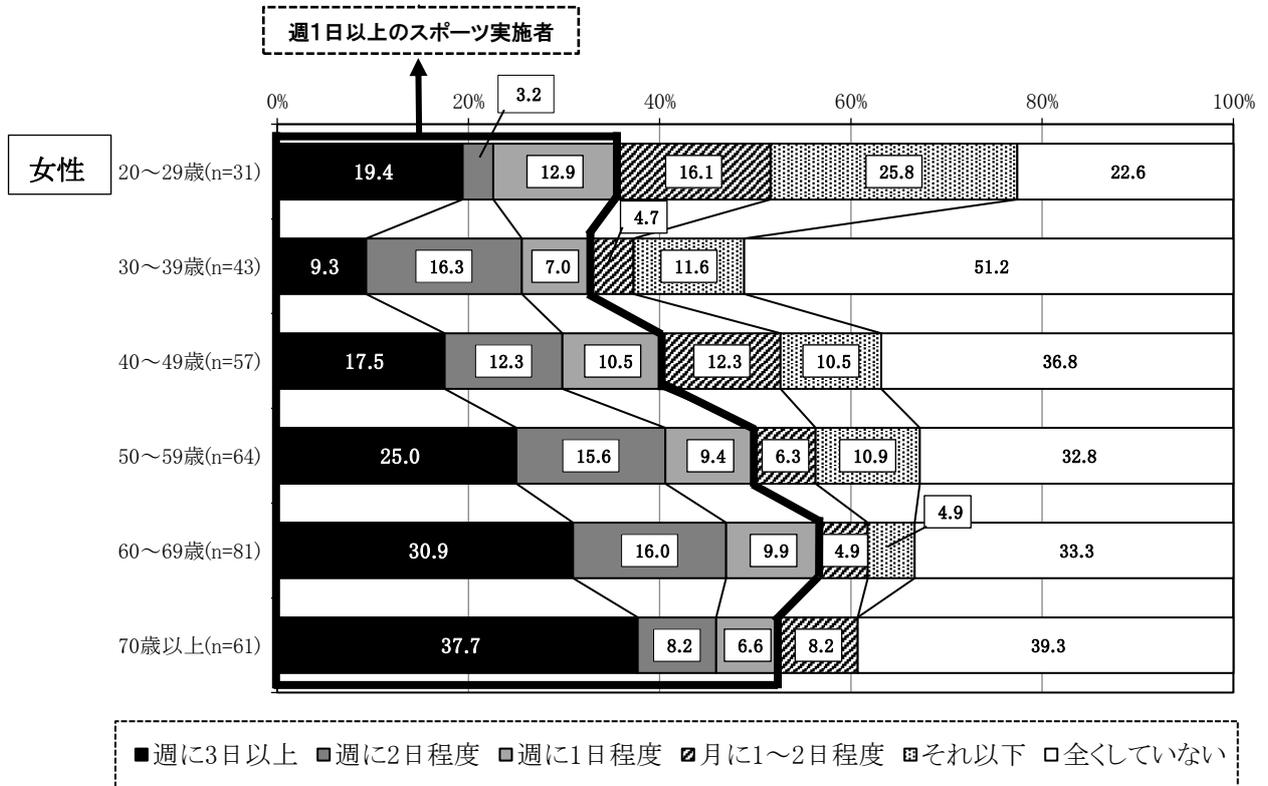
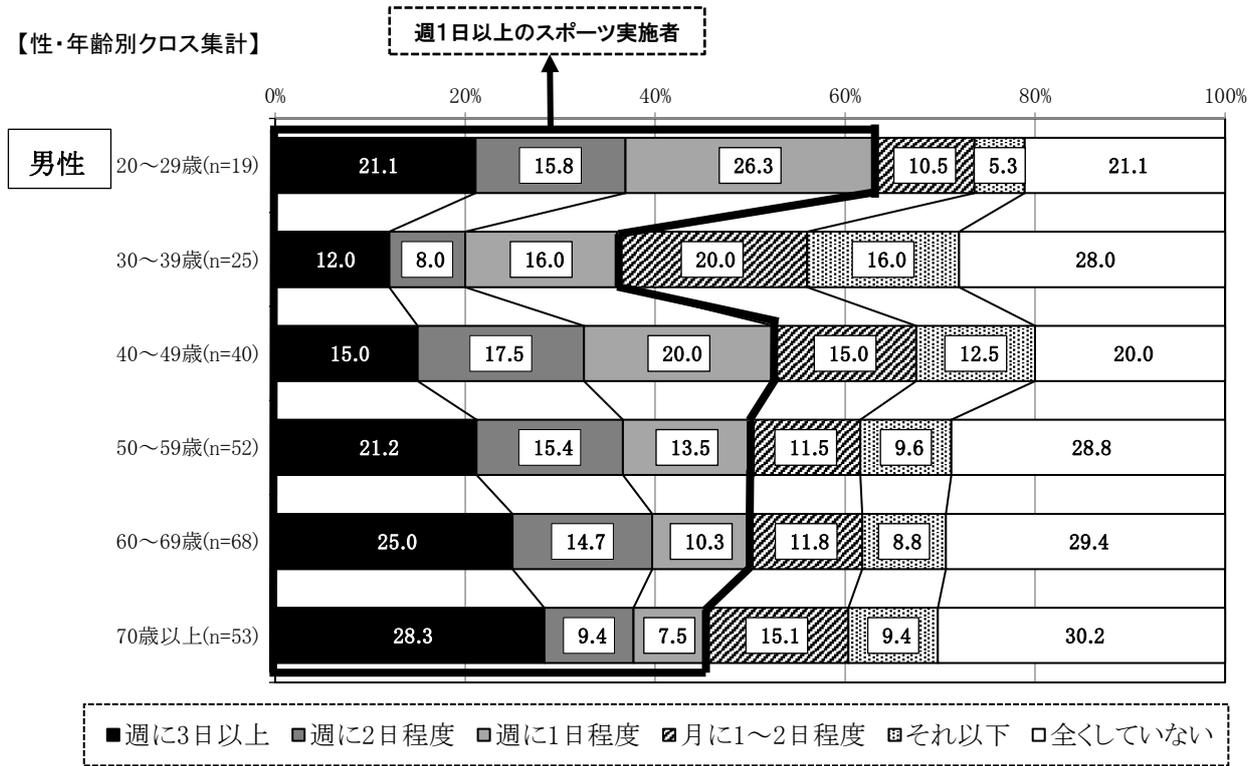
問 12 スポーツ実施率					
No.	カテゴリ	平成 30 年度		平成 26 年度	
		件数	%	件数	%
1	週に 3 日以上	141	23.2	172	24.9
2	週に 2 日程度	79	13.0	101	14.6
3	週に 1 日程度	67	11.0	106	15.3
小計(週1回以上のスポーツ実施率)		287	47.2	379	54.8
4	月に 1~2 日程度	64	10.5	85	12.3
5	それ以下	56	9.2	67	9.7
6	全くしていない	200	32.9	160	23.2
合計(無回答を除く)		607	100.0	691	100.0

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



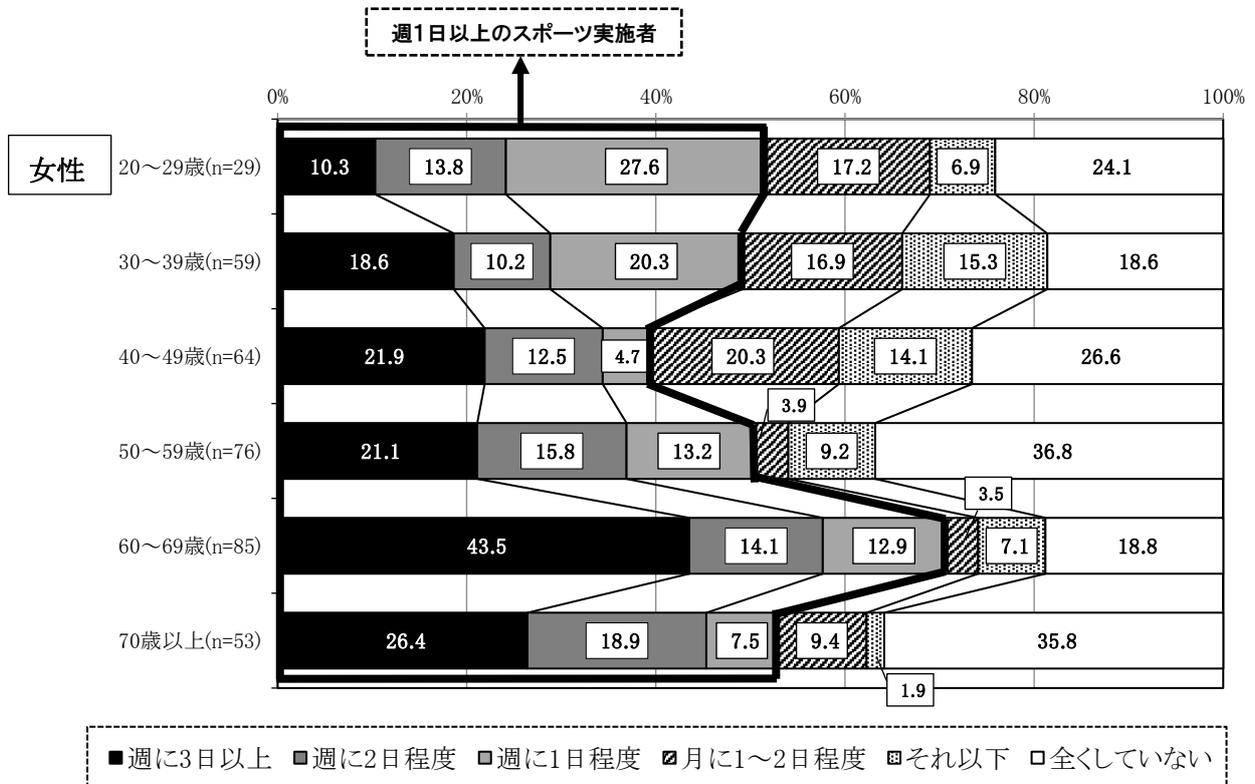
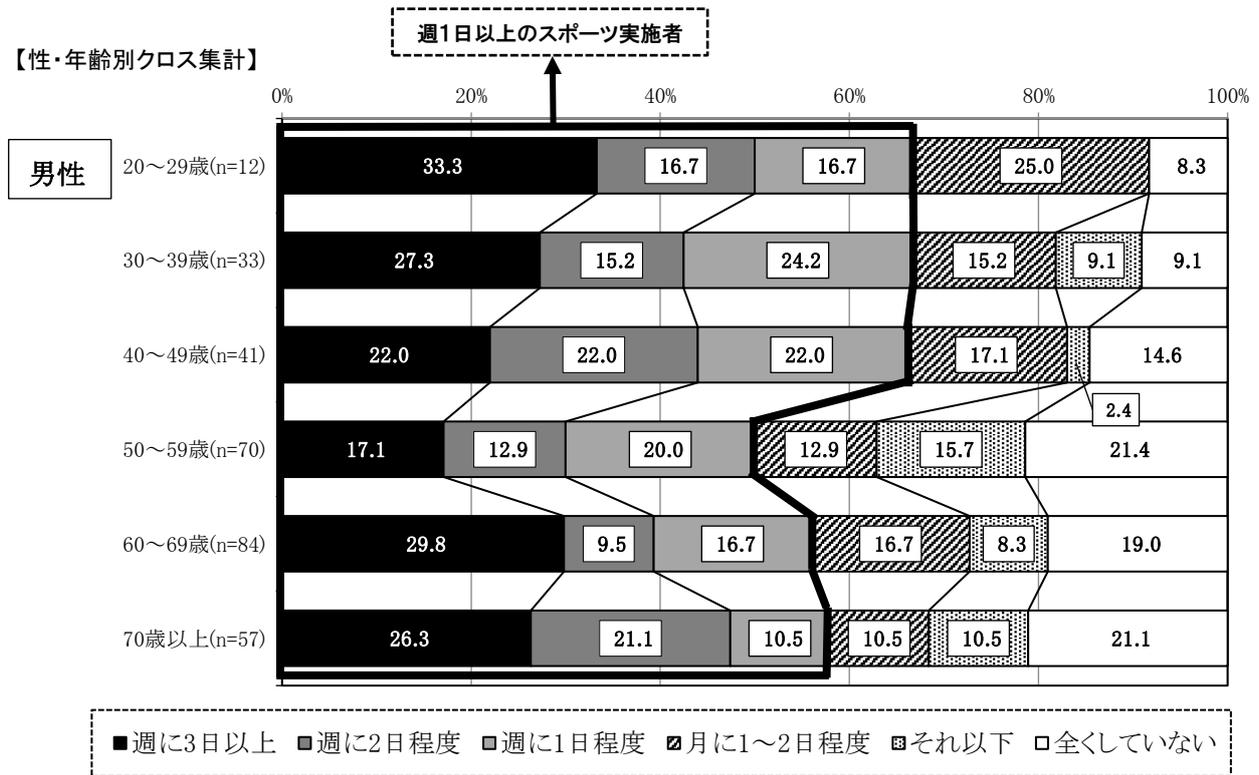
平成 30 年度

【性・年齢別クロス集計】



(参考) 平成 26 年度

【性・年齢別クロス集計】



【結果の分析】

—週3日以上の実施率—

- 性別で見ると、『女性』(24.9%)は『男性』(21.8%)と比べて3.1ポイント多い。また、前回調査と比較すると、男女とも減少しているが、特に『男性』の落ち込みが大きい。
- 年齢別で見ると、30歳代以降年齢が高くなるにしたがって増えており、『70歳以上』では32.5%となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』(25.5%)は『郡部』(16.8%)と比べて8.7ポイント多い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』(17.6%)は他の職業に比べて最も少ない。

—週1日以上の実施率—

- 性別で見ると、『男性』(49.0%)は『女性』(46.8%)と比べて2.2ポイント多い。また、前回調査と比較すると、男女とも減少しているが、特に『男性』の落ち込みが大きい。
- 年齢別で見ると、『30代』が他の年齢層と比べて、33.2%と最も少ない。
- 市郡別で見ると、『郡部』(48.4%)は『市部』(46.9%)に比べて1.5ポイント多い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』(34.1%)は他の職業に比べて、最も少ない。

—全くしていない—

- 性別で見ると、『女性』(36.4%)が『男性』(27.2%)と比べて9.2ポイント多い。また、前回調査と比較すると、男女とも増加している。
- 年齢別で見ると、『30代』(42.0%)が他の年齢層と比べて最も多い。また、前回調査と比較しても、『30代』が他の年齢層と比べて特に増加率が大きい。
- 市郡別で見ると、『郡部』(34.2%)が『市部』(32.4%)に比べて1.8ポイント多い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』が他の職業と比べて45.9%と最も多い。また、前回調査と比較すると、どの職業も増加しているが、『常勤職』の増加率は小さい。

【性・年齢別の結果の分析】

男性の年齢別で見ると、「週3日以上」で最も少ないのは『30～39歳』で12.0%、最も多いのは『70歳以上』で28.3%となっており、30歳代以降年齢が高くなるにしたがって「週3日以上」が増えている。また、「週1日以上」で最も少ないのは『30～39歳』で36.0%、最も多いのは『20～29歳』で63.2%となっている。一方、「全くしていない」で最も少ないのは『40～49歳』で20.0%、最も多いのは『70歳以上』の30.2%となっており、70歳以上は運動・スポーツをする人と全くしない人の二極化、30歳代では運動・スポーツをしていない人が多い点が特筆される。

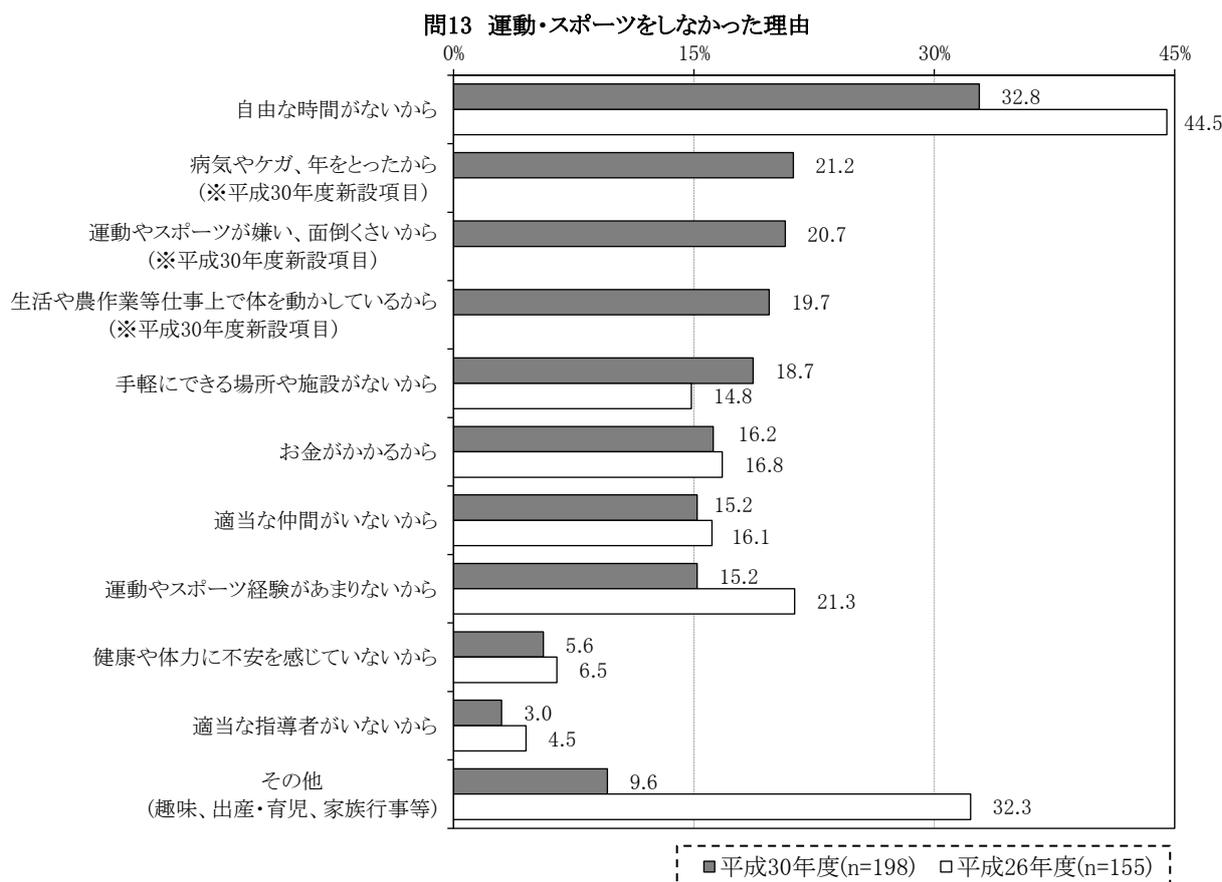
女性の年齢別で見ると、『30～39歳』が他の年齢層と比べて、「週3日以上」で9.3%と最も少なく、「全くしていない」が51.2%と最も多い。また30歳代以降年齢が高くなるにしたがって男性と同様に「週3日以上」が増えている。一方、「全くしていない」は、男性と比較して多くみられ、20歳代を除く年齢層で3割以上となっており、運動・スポーツをする人としていない人が大きく分かれている。

問 13. 問 12 で「6. 全くしていない」と回答した人にお伺いします。

あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。(いくつでも○印)

【結果概要】自由な時間がない、病気やケガで出来ない、そして運動やスポーツが嫌い

運動やスポーツを全くしていない人の理由は、「自由な時間がないから」が32.8%と最も多く、次いで「病気やケガ、年をとったから (21.2%)」、「運動・スポーツが嫌い、面倒くさい (20.7%)」、「生活や農作業等仕事上で体を動かしているから (19.7%)」が上位項目となっている。その他「施設がない」「費用がかかる」「仲間がいない」などの様々な理由がある。



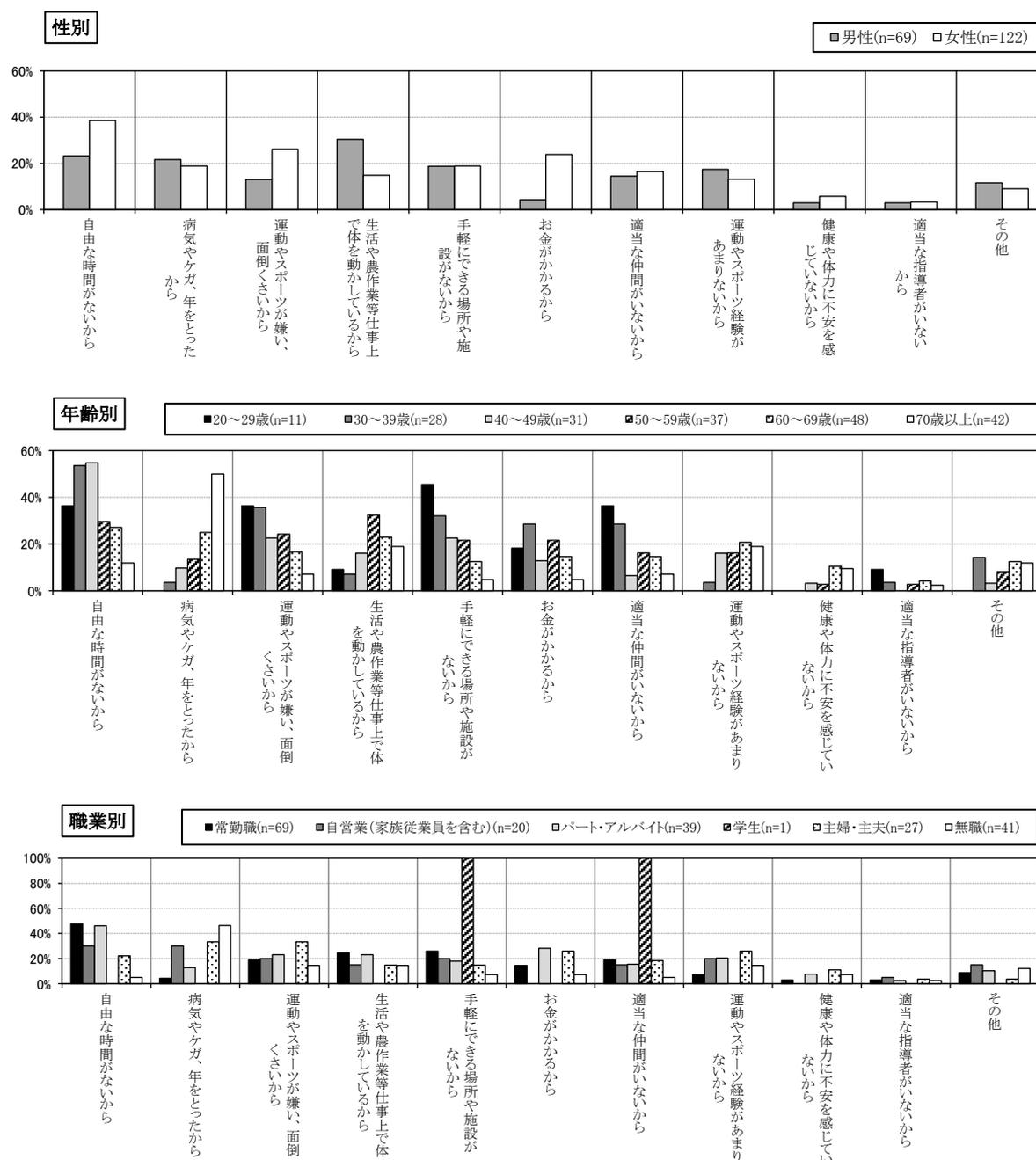
【参考値】平成 30 年度・平成 26 年度調査の集計データ比較

問 13 運動やスポーツをしなかった理由		平成 30 年度		平成 26 年度	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	自由な時間がないから	65	32.8	69	44.5
2	病気やケガ、年をとったから	42	21.2	-	-
3	運動やスポーツが嫌い、面倒くさいから	41	20.7	-	-
4	生活や農作業等仕事上で体を動かしているから	39	19.7	-	-
5	手軽にできる場所や施設がないから	37	18.7	23	14.8
6	健康や体力に不安を感じていないから	11	5.6	10	6.5
7	お金がかかるから	32	16.2	26	16.8
8	適当な仲間がいないから	30	15.2	25	16.1
9	適当な指導者がいないから	6	3.0	7	4.5
10	運動やスポーツの経験があまりないから	30	15.2	33	21.3
11	その他	19	9.6	50	32.3
	合計(無回答を除く)	198	100.0	155	100.0

【結果の分析】

- 性別で見ると、男女で大きな差が出ており、『男性』は『女性』より「生活や農作業等仕事上で体を動かしているから」の割合が高く、『女性』は『男性』より「自由な時間がないから」「お金がかかる」「運動やスポーツが嫌い、面倒くさい」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』では「適当な仲間がない」「手軽にできる場所や施設がないから」が多く、『30歳～40歳代』は「自由な時間がないから」、『50～59歳』では「生活や農作業等仕事上で体を動かしているから」、『70歳以上』では「病気やケガ、年をとったから」などの理由が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』などは、「自由な時間がないから」が多く、『無職』では「病気やケガ、年をとったから」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



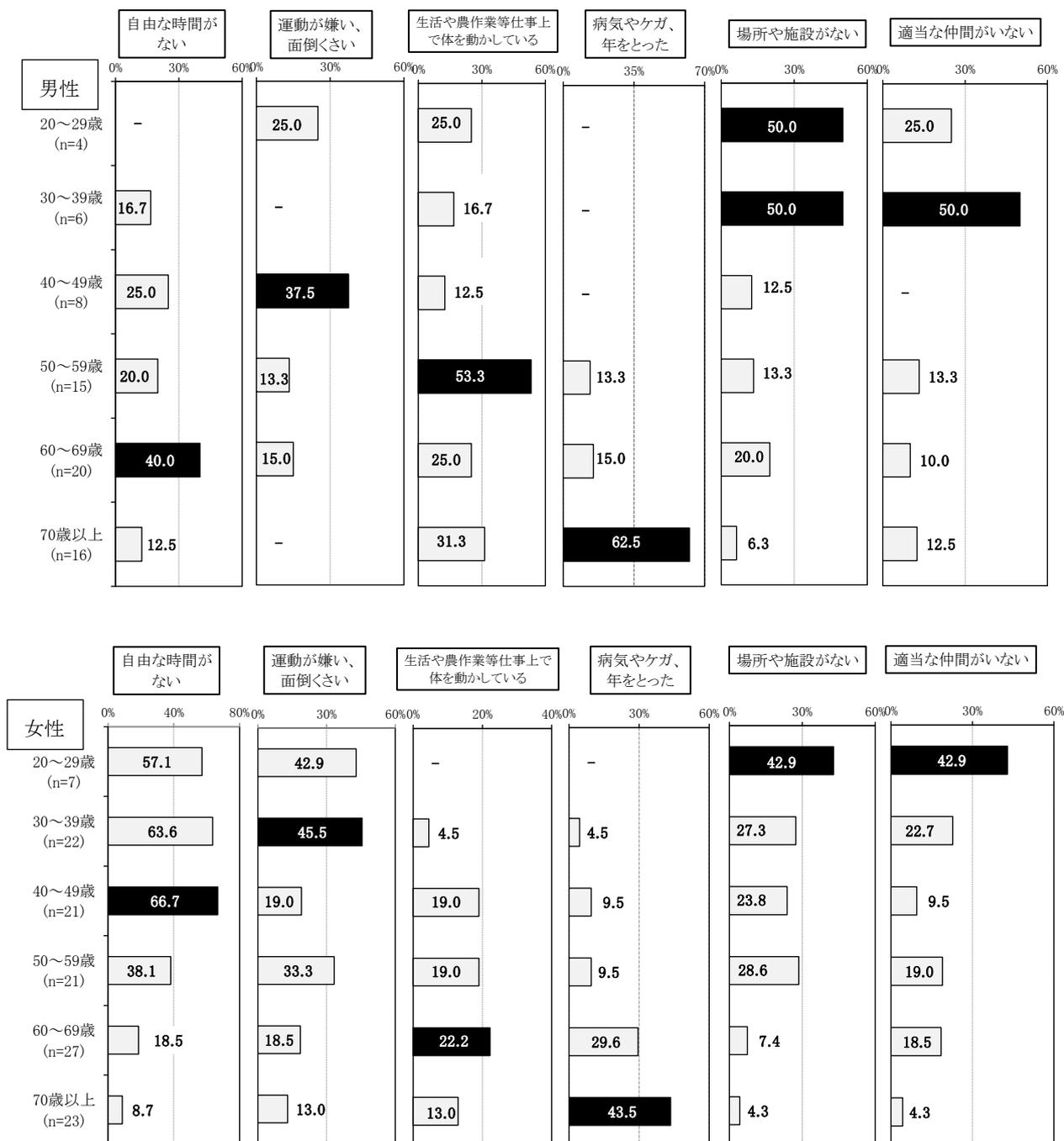
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

【結果の分析】

○男性の年齢別で見ると、20歳代・30歳代では「手軽にできる場所や施設がない」、40歳代では「運動やスポーツが嫌い・面倒くさい」、50歳代では「生活や農作業等で体を動かしている」、60歳代では「自由な時間がない」、70歳以上では「病気やケガ、年をとったため」などが理由となっている。

○女性の年齢別で見ると、「自由な時間がない」が20歳代から50歳代までのトップ項目にあがっており、男性と比較して若年・中年層の「自由な時間がない」が際立って多くなっている。また、20～30歳代は「運動が嫌い、面倒くさい」、60歳代は「生活や農作業等で体を動かしている」、70歳以上は「病気やケガ、年をとったため」が上位となっている。

【性・年齢別クロス集計】※各理由において、1位の年代のグラフを黒色で表示している。

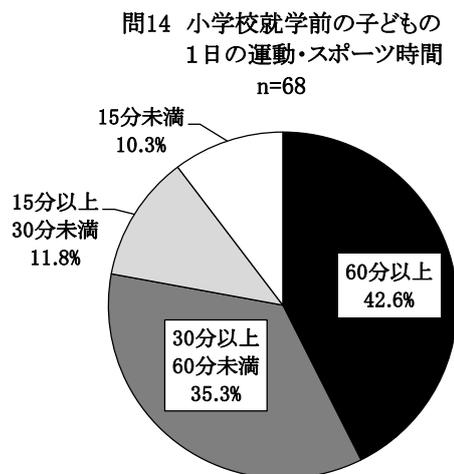


問 14. 小学生未満のお子さんをお持ちの方にお伺いします。

あなたのお子さんは 1 日何分ぐらい運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか。（1 つだけ〇印）

【結果概要】 1 日の運動・スポーツ時間は「60分以上」が 42.6%

平成 24 年 3 月に策定された文部科学省の幼児期運動指針により、様々な遊びを中心に、毎日、楽しく体を動かす時間の目安として「毎日、合計 60 分以上」になるようにすることが大切と示されているが、今回の調査では、運動する時間が「60 分以上」が 42.6%と最も多いものの、「30 分以上 60 分未満」が 35.3%、「15 分以上 30 分未満」が 11.8%、「15 分未満」が 10.3%と 60 分未満の合計が 6 割近く（合計 57.4%）を占めている。

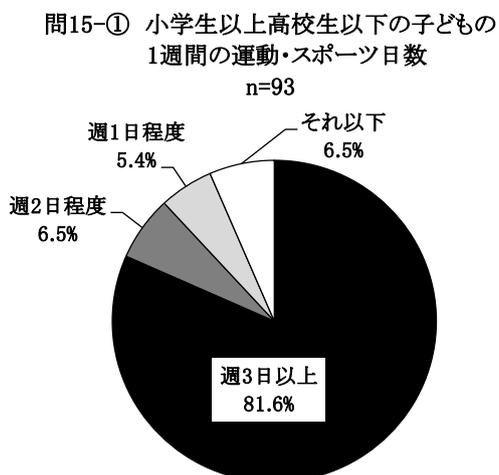


問 15. 小学生以上高校生以下のお子さんをお持ちの方にお伺いします。

①あなたのお子さんは 1 週間に、運動（体育の授業や部活動、徒歩及び自転車通学、体を動かす遊びを含む）やスポーツを何日くらいしていますか。（1 つだけ〇印）

【結果概要】 1 週間の運動・スポーツ実施日数は「3 日以上」が 81.6%

小学生以上高校生以下の子どもの1週間の運動・スポーツの日数は、「週3日以上」が81.6%と最も多く、次いで「週2日程度」が6.5%「週1日程度」が5.4%、「それ以下」が6.5%となっている。



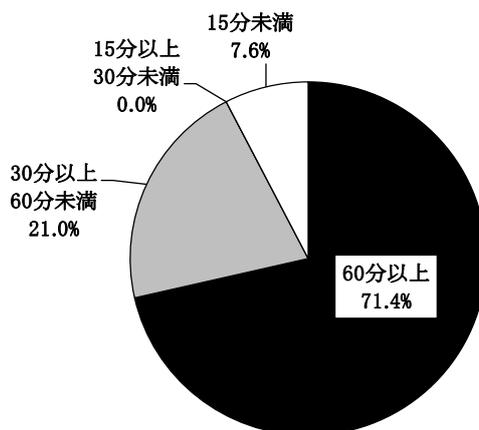
②あなたのお子さんは1日、運動（体育の授業や部活動、徒歩及び自転車通学、体を動かす遊びを含む）やスポーツ実施の時間を合わせると何分くらいになりますか。

（1つだけ○印）

【結果概要】1日の運動・スポーツの時間は「60分以上」が71.4%

小学生以上高校生以下の子どもの1日の運動・スポーツの時間は、「60分以上」が71.4%と最も多く、次いで「30分以上60分未満」が21.0%、「15分未満」が7.6%となっている。

問15-② 小学生以上高校生以下の子どもの
1日の運動・スポーツ時間
n=93



問 16. あなたはこの一年間に、運動・スポーツの行事、教室に参加したことがありますか。

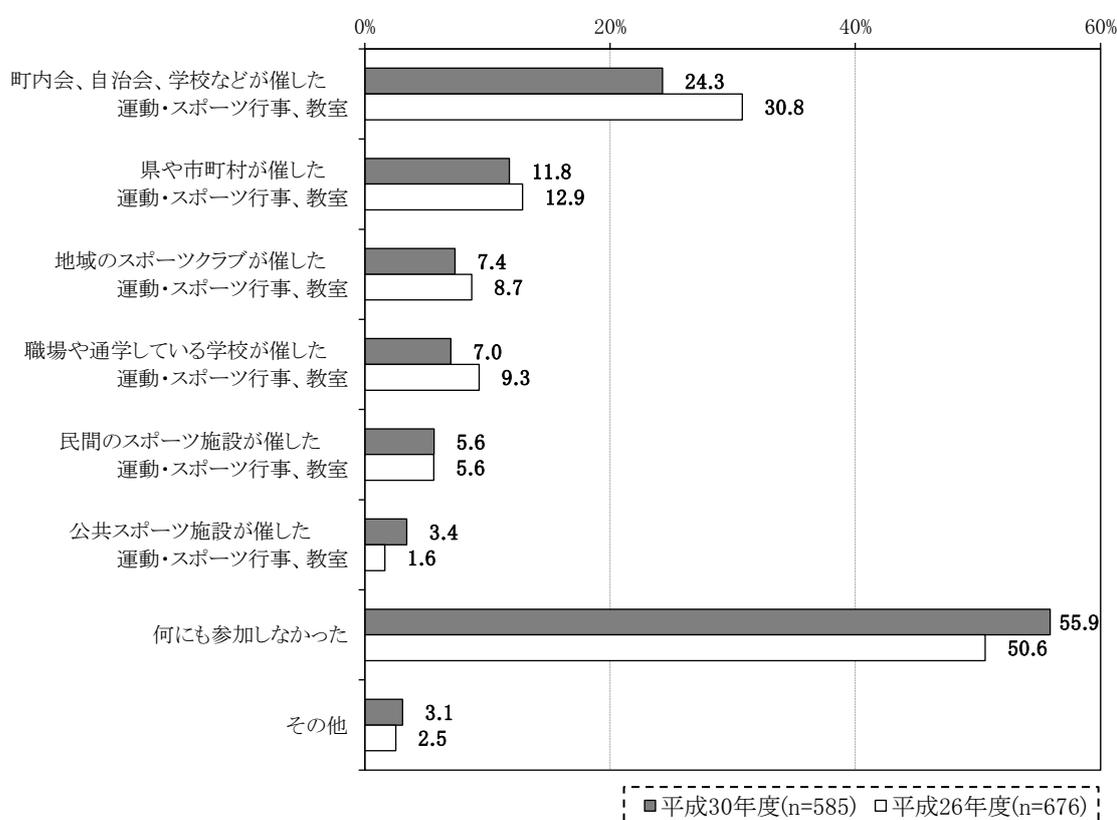
(いくつでも○印)

【結果概要】「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事、教室」が 24.3%

この一年間に運動・スポーツの行事、教室に参加したか聞いたところ、「何にも参加しなかった」が55.9%となっている。参加した人では「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事、教室」が24.3%と最も多く、次いで「県や市町村が催した運動・スポーツ行事、教室」が11.8%、「地域のスポーツクラブが催した運動・スポーツ行事、教室」が7.4%、「職場や通学している学校が催した運動・スポーツ行事、教室」が7.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「何にも参加しなかった」が増加し、行事や教室の参加割合が減少している。

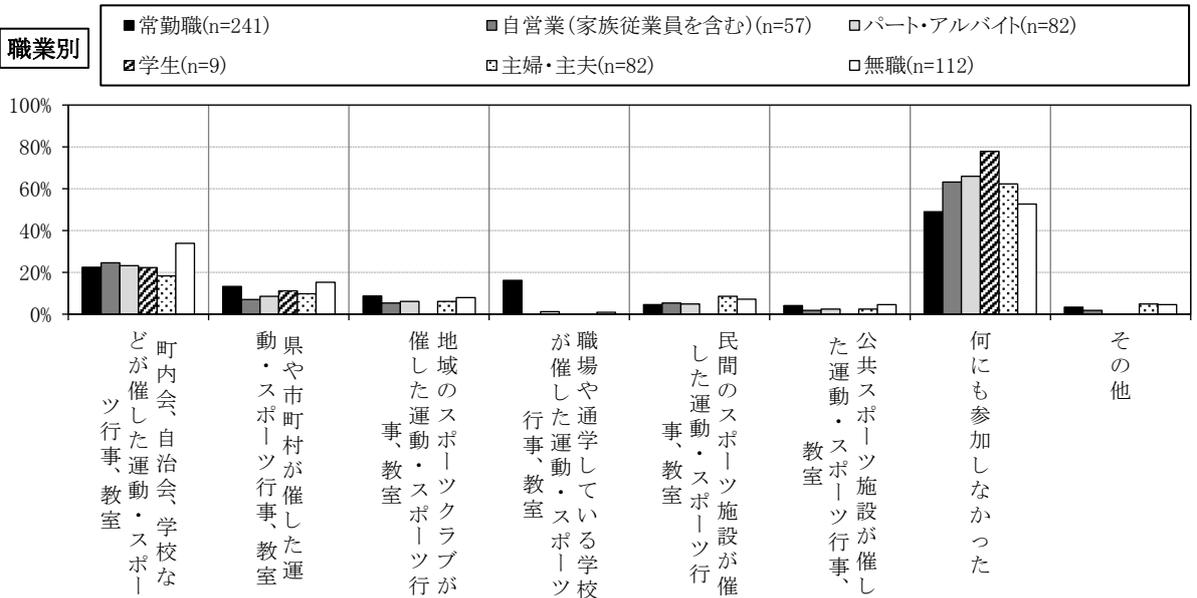
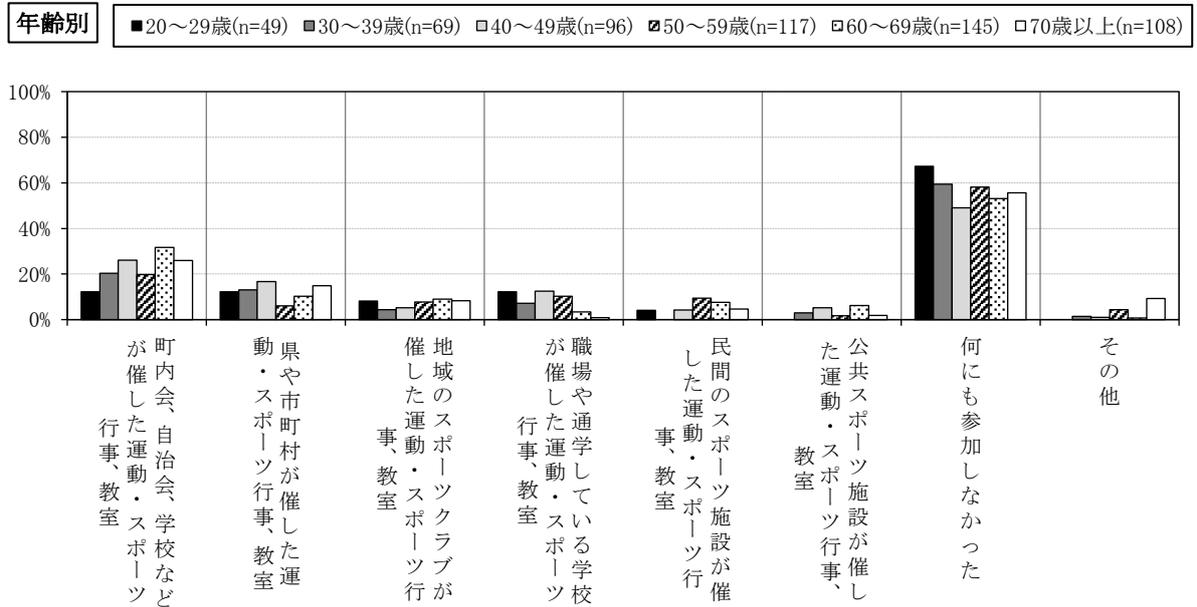
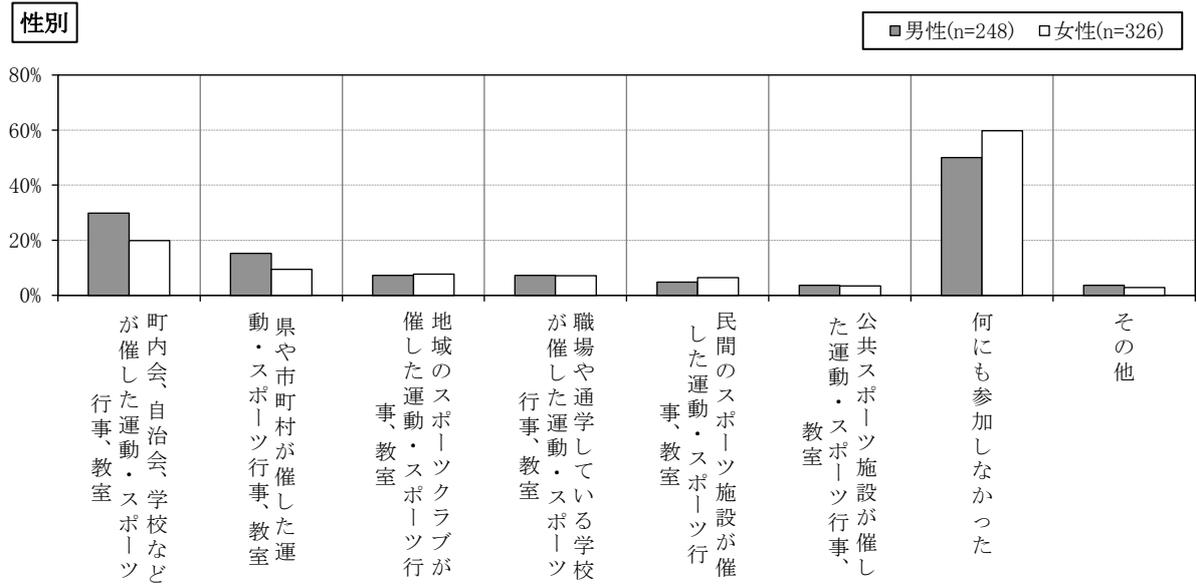
問16 この一年間に参加したスポーツ行事・教室



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』に比べて「何にも参加しなかった」が少なく、「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事、教室」への参加が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』は他の年齢層に比べて「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事、教室」が少なく、また、「何にも参加しなかった」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』は他の職業に比べて「何にも参加しなかった」が少ない。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 17. あなたが運動やスポーツを行うときに、利用する施設や場所はどれですか。

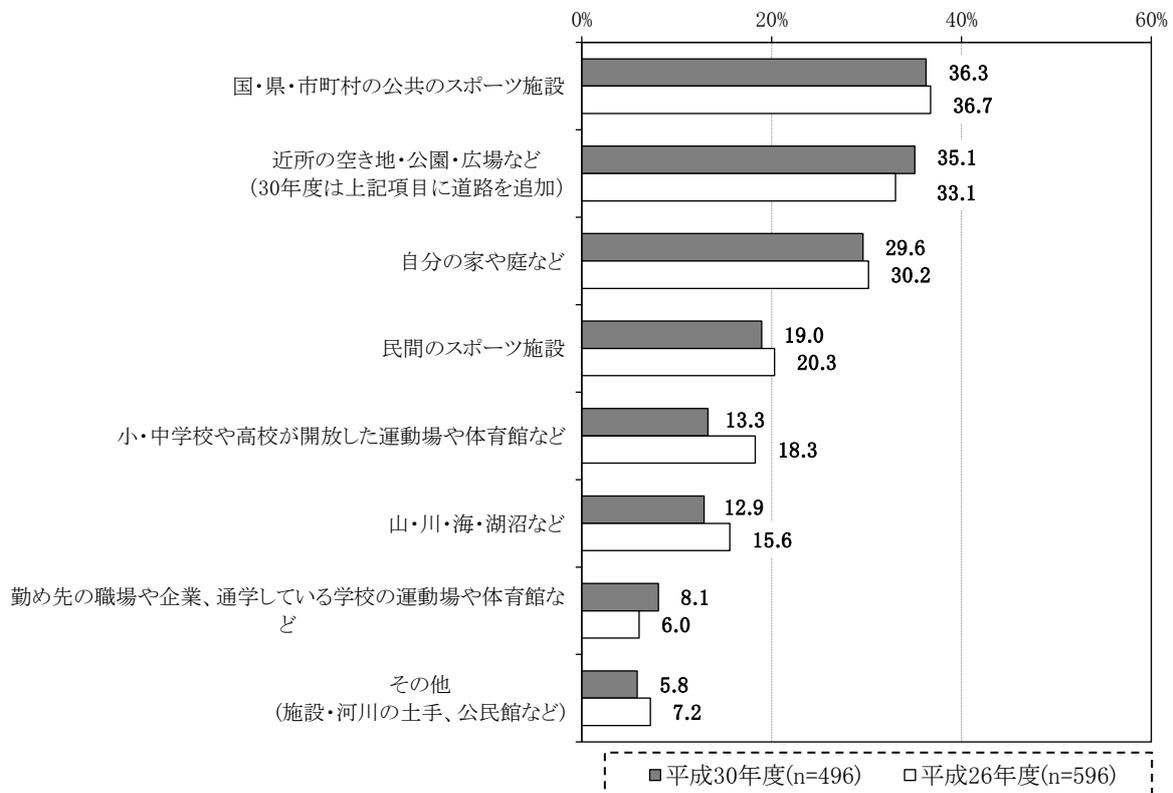
(いくつでも○印)

【結果概要】「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」のほかは、「近所の空き地・公園」や「自分の家」など

運動やスポーツを行うときに利用する施設は、「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」が36.3%と最も多く、次いで「近所の空き地・公園・広場・道路など」が35.1%、「自分の家や庭など」が29.6%、「民間のスポーツ施設」が19.0%、「小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など」が13.3%と続き、国・県・市町村の公共のスポーツ施設の他は近所の空き地・公園・広場・道路、自分の家・庭など、身近な場所で運動を行っている人が多い。

前回調査と比較しても同様の傾向がみられるが、「小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など」が減っている。

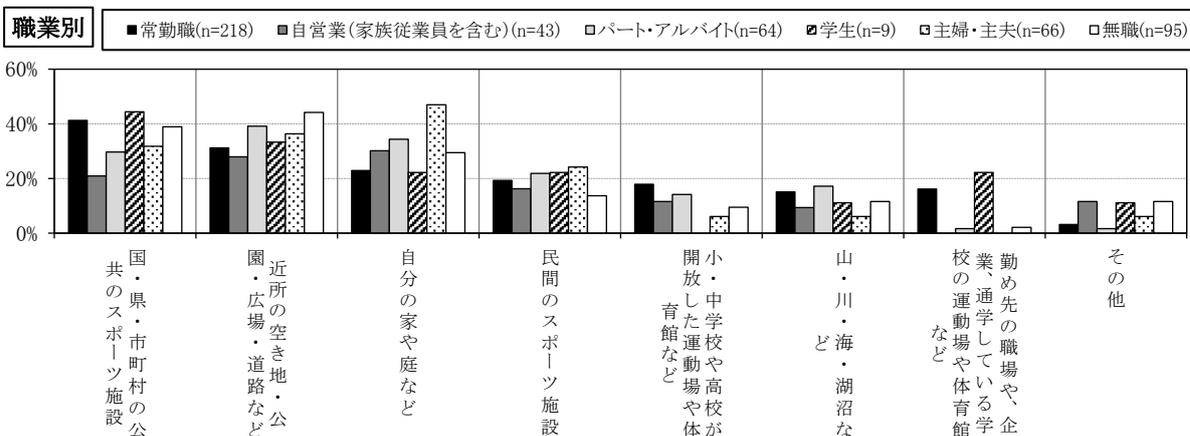
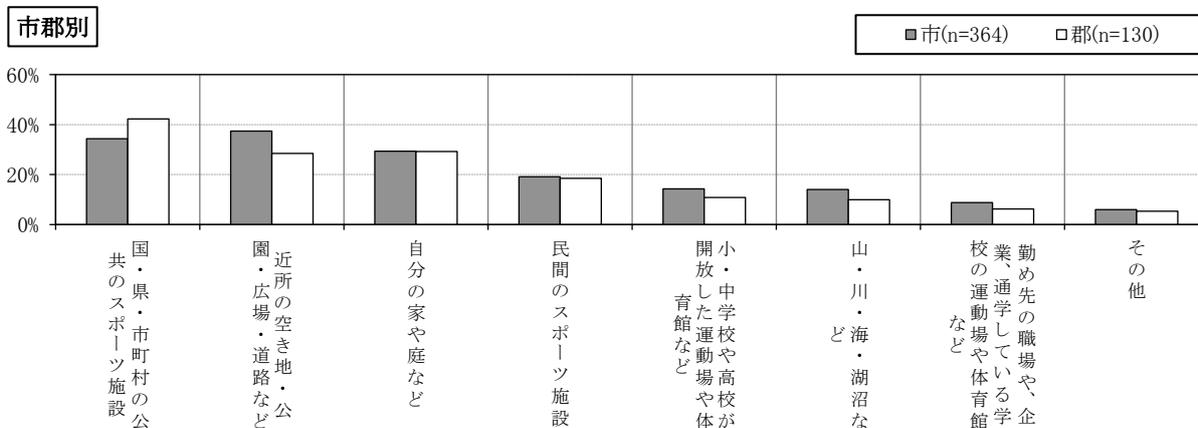
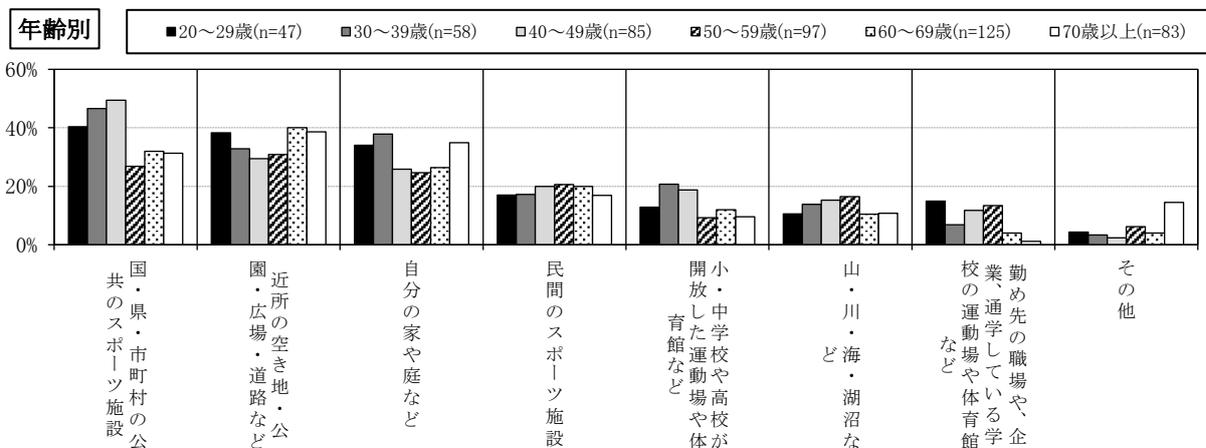
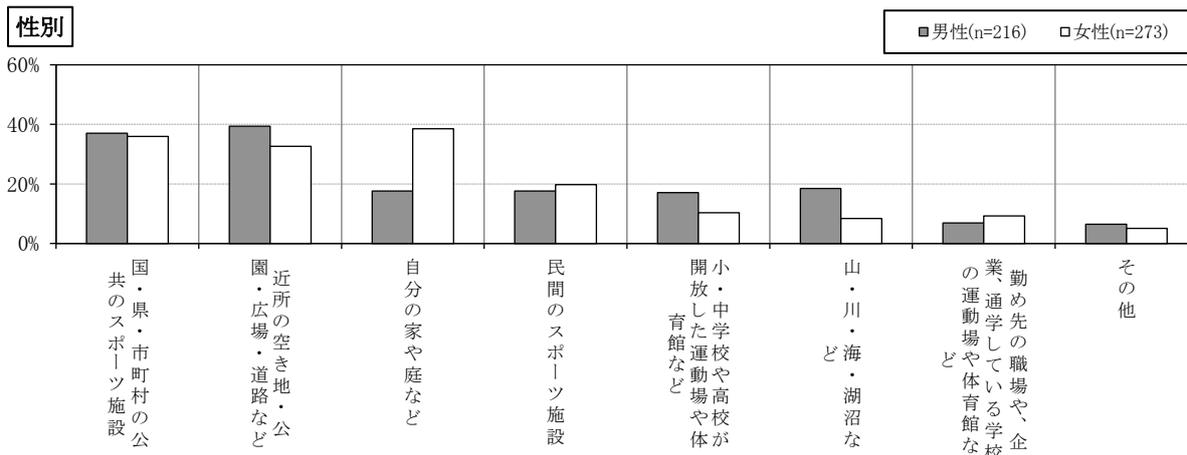
問17 運動・スポーツをするときに利用する施設・場所



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など」の公共のスポーツ施設「近所の空き地・公園・広場など」、『女性』は「自分の家や庭など」が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』『30～39歳』『40～49歳』で「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」、『60歳以上』では「近所の空き地・公園・広場・道路など」が多い。
- 市郡別で見ると、『市部』は「近所の空き地・公園・広場・道路など」、『郡部』では「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』『学生』は「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」、『無職』『パート・アルバイト』は「近所の空き地・公園・広場・道路」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



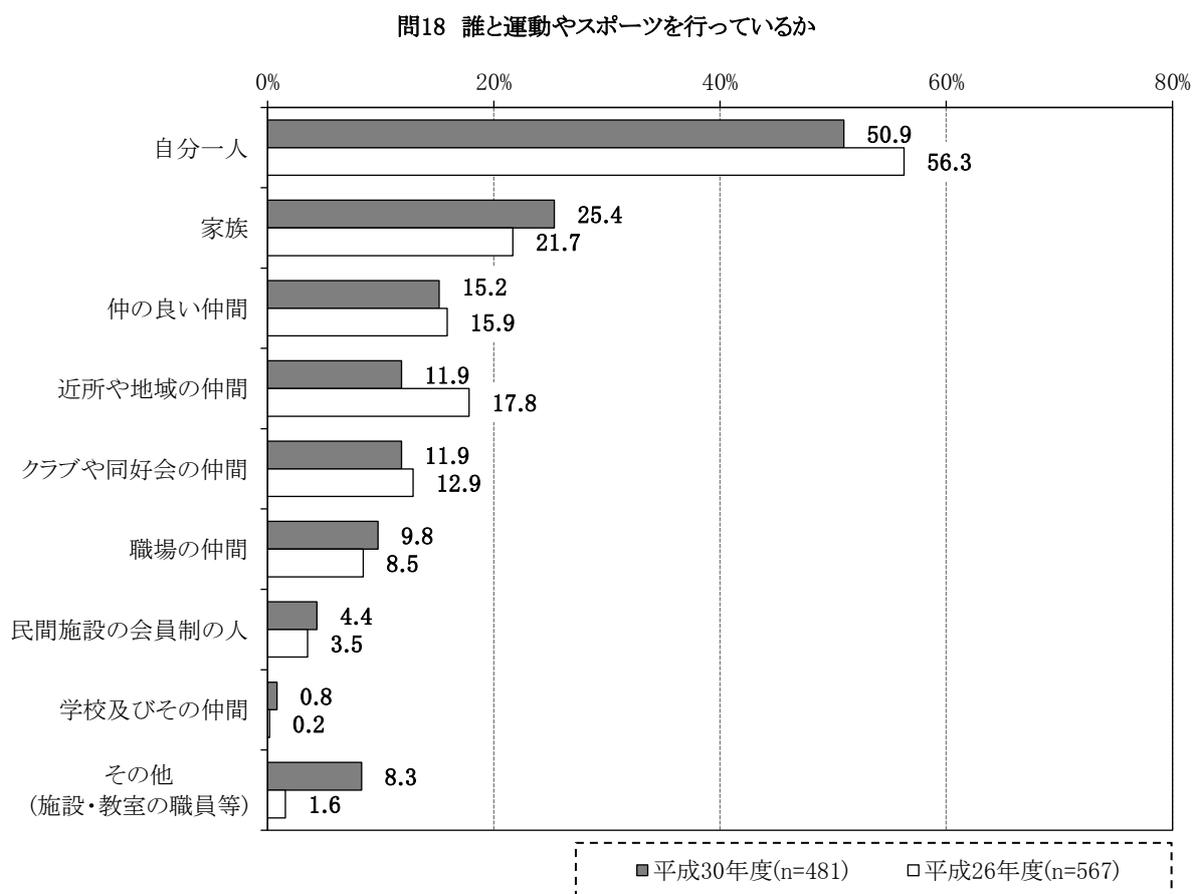
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 18. あなたは、現在、誰と運動やスポーツを行っていますか。(2つまで○印)

【結果概要】「自分一人」で運動やスポーツを行う人が 50.9%

誰と運動やスポーツを行っているか聞いたところ、「自分一人」が 50.9%と最も多く、次いで「家族」が 25.4%、「仲の良い仲間」が 15.2%、「近所や地域の仲間」「クラブや同好会の仲間」がそれぞれ 11.9%と続いている。

前回調査と比較しても同様の傾向がみられるが、「自分一人」「近所や地域の仲間」が減り、「家族」と一緒に行っている人が多くなっている。



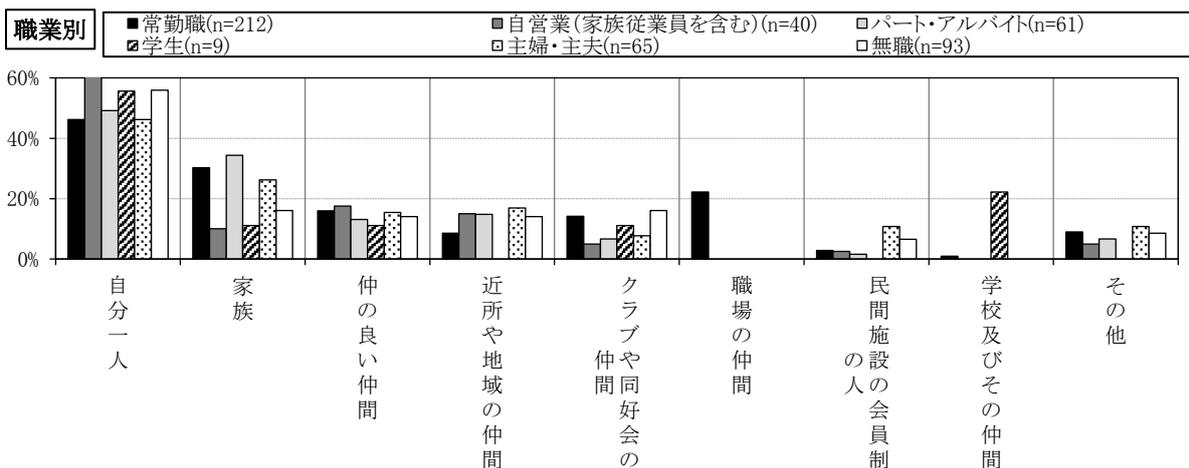
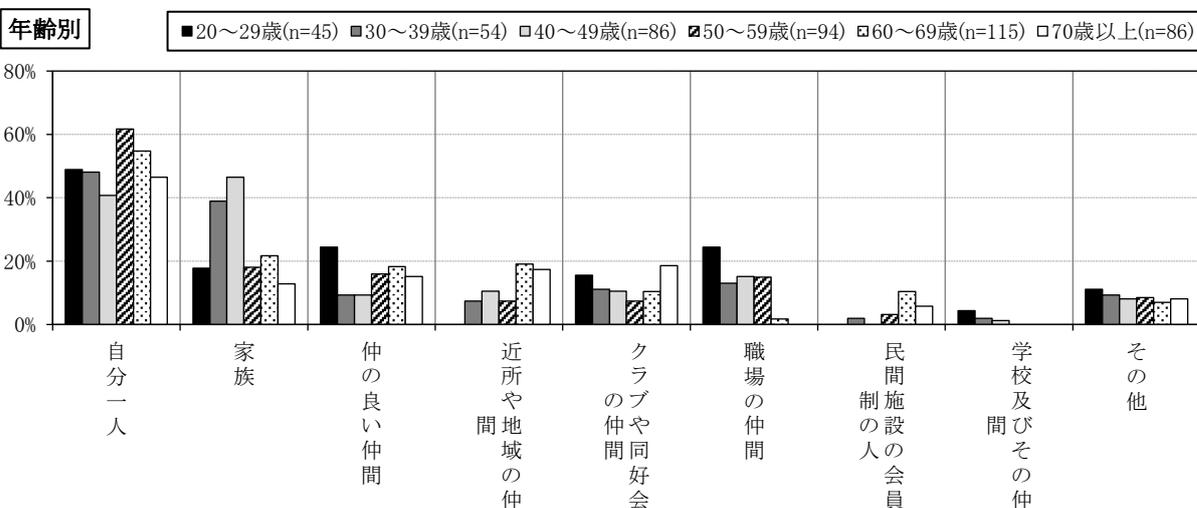
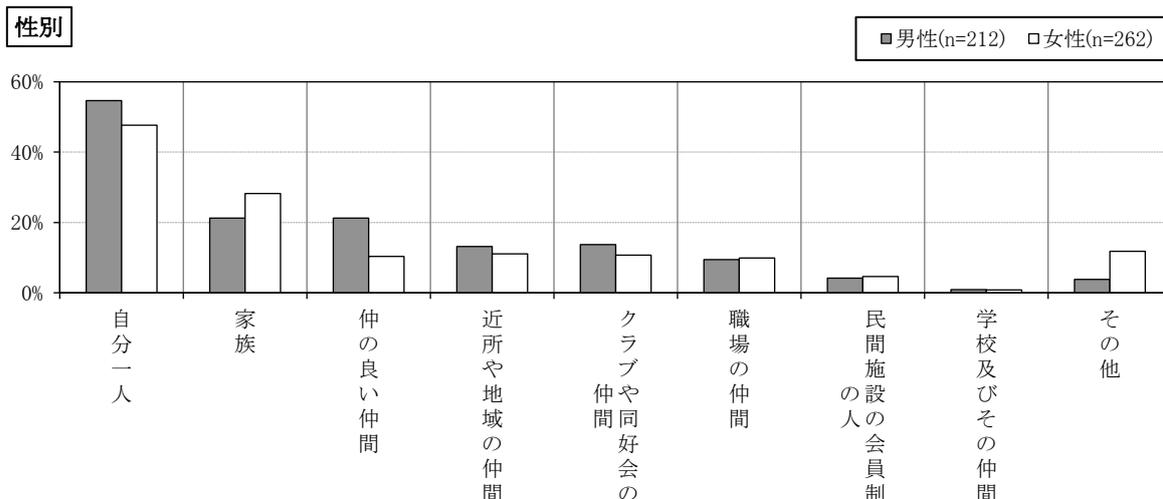
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』では「自分一人」「仲の良い仲間」「クラブや同好会の仲間」、『女性』では「家族」が多い。

○年齢別で見ると、『20～29歳』で「職場の仲間」、『30～49歳』で「家族」、『50～59歳』で「自分一人」、『60歳以上』で「近所や地域の仲間」が多い。

○職業別で見ると、『常勤職』は「職場の仲間」、『自営業』では「自分一人」、『主婦・主夫』『無職』では「近所や地域の仲間」、『学生』では「学校及びその仲間」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



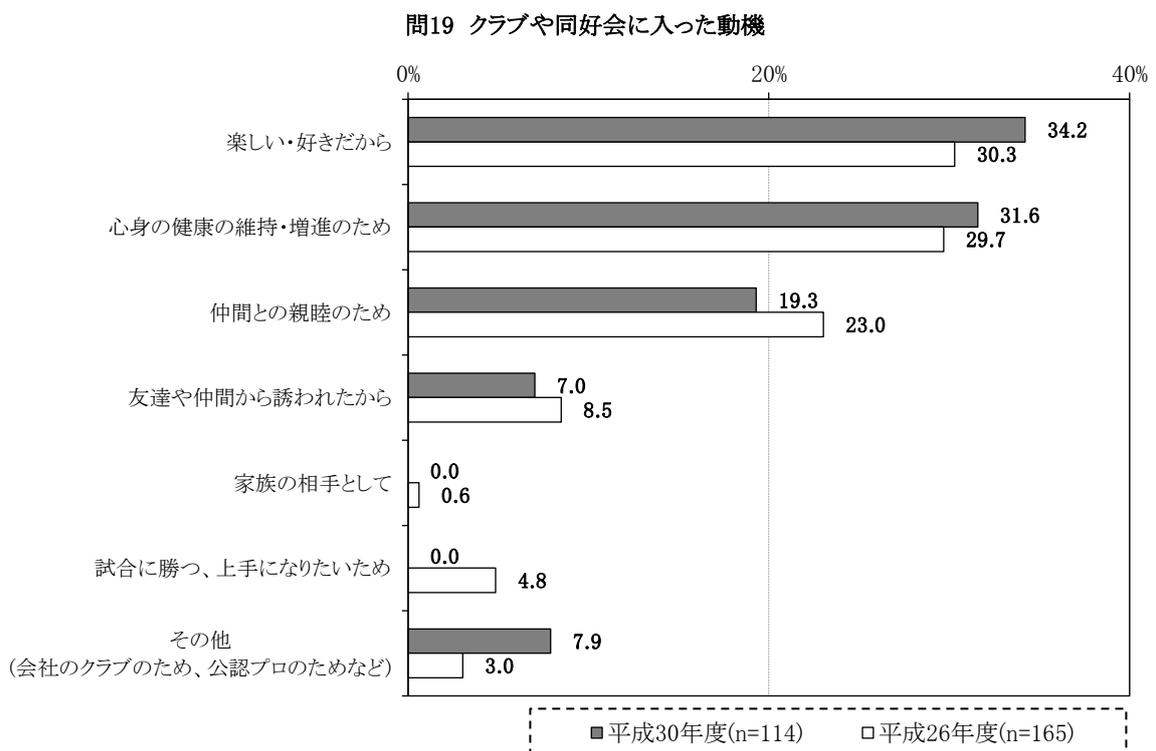
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問19. クラブや同好会に入っている人にお伺いします。あなたが、そのクラブや同好会に入った動機は何ですか。(1つだけ〇印)

【結果概要】上位に「楽しい・好きだから」「心身の健康の維持・増進のため」

クラブや同好会に入った動機は、主なものとして「楽しい・好きだから」が34.2%、「心身の健康の維持・増進のため」が31.6%、「仲間との親睦のため」が19.3%と続き、参加しているスポーツが楽しく健康増進にもなり、仲間との親睦が高まることを目的とした意見が多い。

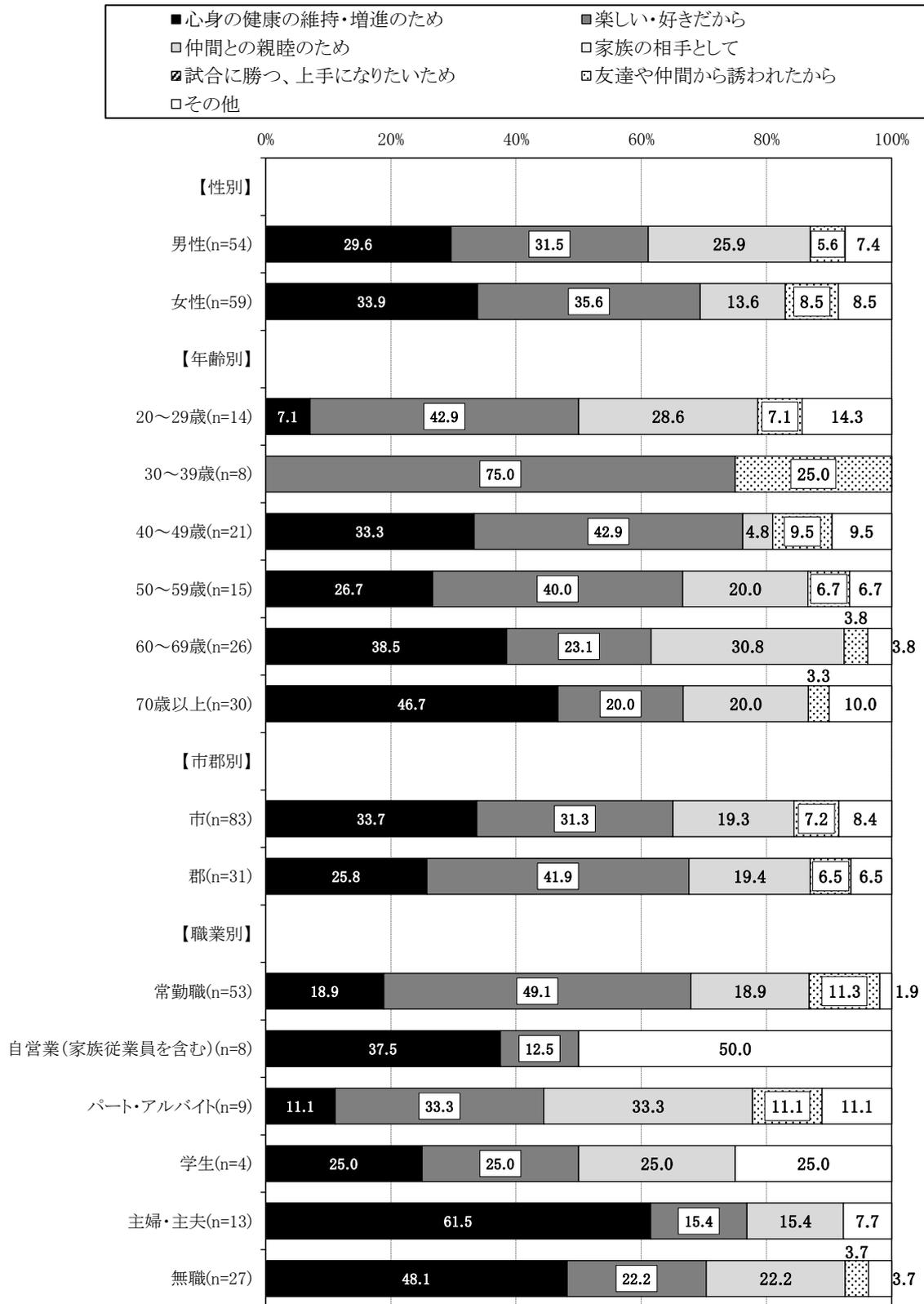
前回調査と比較しても同様の傾向がみられるが、「仲間との親睦のため」「友達や仲間から誘われたから」「試合に勝つ、上手になりたいため」の意見は減っている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比べて「仲間との親睦のため」が多く、『女性』は『男性』と比べて「心身の健康の維持・増進のため」「楽しい・好きだから」が多い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「心身の健康の維持・増進のため」が増えている。また、「楽しい・好きだから」は20～30代で多いが、40代以降減っている。
- 市郡別で見ると、『市部』では「心身の健康の維持・増進のため」、『郡部』では「楽しい・好きだから」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』は「楽しい・好きだから」、『自営業』『主婦・主夫』『無職』では「心身の健康の維持・増進のため」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 20. 日頃行っている運動を個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践があれば記入してください。

【個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践例】

項目	具体的内容（詳細は巻末に掲載）
買い物	・歩いて買い物をしている
散歩	・犬の散歩でウォーキングを兼ねている ・早朝ウォーキング
子ども	・子どもと遊びながら散歩や運動をしている ・孫の送迎
仕事中	・昼休憩時間にウォーキングやストレッチ ・エレベータを使わずに歩いて階段の上り下りをしている
通勤	・なるべく徒歩や自転車通勤に心がけている ・自動車から自転車通勤を行っている
テレビ鑑賞中	・ストレッチ、足踏み、腹筋体操、バランスボール ・自転車こぎ
家事	・洗濯をしながら足踏み ・台所で食事の用意の間にストレッチ体操
その他	・歯磨きしながらスクワット、かかと上げ ・毎日、ウォーキングや軽体操 ・仲間とグラウンドゴルフ

(具体的なコメント)

ウォーキング・ジョギング・ランニング等
1日 8,000 歩以上目標に足りない日は、夜中ウォーキング。
新聞配達を自転車で行っている、ポイントに自転車を置いてウォーキングしながら配達
なるべく歩く、商業施設等に買い物に行った時など階段を利用する
普段の生活、仕事にて、意識して、大股で歩く、筋肉を意識して階段を上がる、姿勢を真直にたもつなどしている。
部屋の中をつま先歩きする
用事を小分けにしながら歩くようにしている
万歩計をつけて意識して歩く
散歩しながら運動
犬との散歩を日課にしている
孫と散歩して楽しく運動
休日に子どもの散歩を兼ねたウォーキング
通勤の時の運動
徒歩又は自転車による通勤
自転車通勤で運動不足を解消
仕事に行く時は自転車。仕事は保育士なのでつねに動いている。
なるべく車に乗らないで自転車や徒歩で行動する

階段を使って運動
エレベーター、エスカレーター等は使わないようにする。
学校ではエレベーターは使わず階段で移動する。トイレは1つ上や下の階を利用し、その時の移動は階段で行う。
体操・トレーニング
いきいき健康体操・ごきぶり体操・よな GOGO 体操
筋力トレーニングのインターバル中に掃除をする。
段差のある（台所と居間）ところの下がり上がり 30 回、テレビを見て（部屋の中）移動時両手ブラブラ歩きしながら運動
時々テレビを観ながらバランスボールで体を動かしています
日帰り入浴に行き水中歩行しています。
ユーチューブのエクササイズ動画やヨガの本の付属DVDを見て部屋でやっている。
意識して腹圧を入れている。
スポーツ
ゴルフクラブの素振りを毎日
ゴルフラウンドでカートに乗らずなるべくウォークする。
高齢者ゴルフ・グランドゴルフ、同窓生ゴルフ(仲間づくり、生きがい)
夜はストレッチやヨガでリラックスして安眠できる様工夫している、和みのヨガというのをDVDで通信で学び定期的に行っている
ストレッチ・マッサージ
同年配の主婦数人で、地域の集会所を利用してストレッチ・筋トレのサークル活動をしている。料理をしながらストレッチ(踵落としなど)
12kg の子どもをおんぶしながらの家事はしています。かなり体力を使うので家族の誰よりも体力はあると思います。一日のうち 5 時間くらいはおんぶしています。
家族が出かけた後に洗濯、片付け、家庭菜園、土日以外の夕飯作り、年令に合わせて動いていると思います。
高齢(91 歳)だが、農作業もあり、少しでも歩くようにしている。
洗濯機にお風呂の水をバケツで汲んで洗濯して、筋力トレーニング。
農作業で自分の体力に合ったように動き回っています。
風呂の水をバケツで汲んでの水やりして筋力トレーニング。
ながら運動
髪を乾かすときや歯磨きする時にかかとの上下運動や足上げを行っている。
テレビ・音楽を聞きながら運動。
テレビを観ながら体を動かしたり足ふみをしている。
テレビを観ながら室内での自転車こぎ、ゴムバンド(チューブ)を使ってストレッチ。
テレビを観ながらふみ台昇降。
テレビを観ながら家事の間に筋力をつける運動を行っている。生活の中で負担なく続けられるよう工夫している。
歯磨きしながらスクワットしている。
食事をつくりながら筋トレ。
子どもと遊びながら運動
夜、子供と一緒に廊下で縄とびをしています。
土日はなるべく子どもと公園などに出て歩いたり、ボールを蹴ったりして遊ぶ

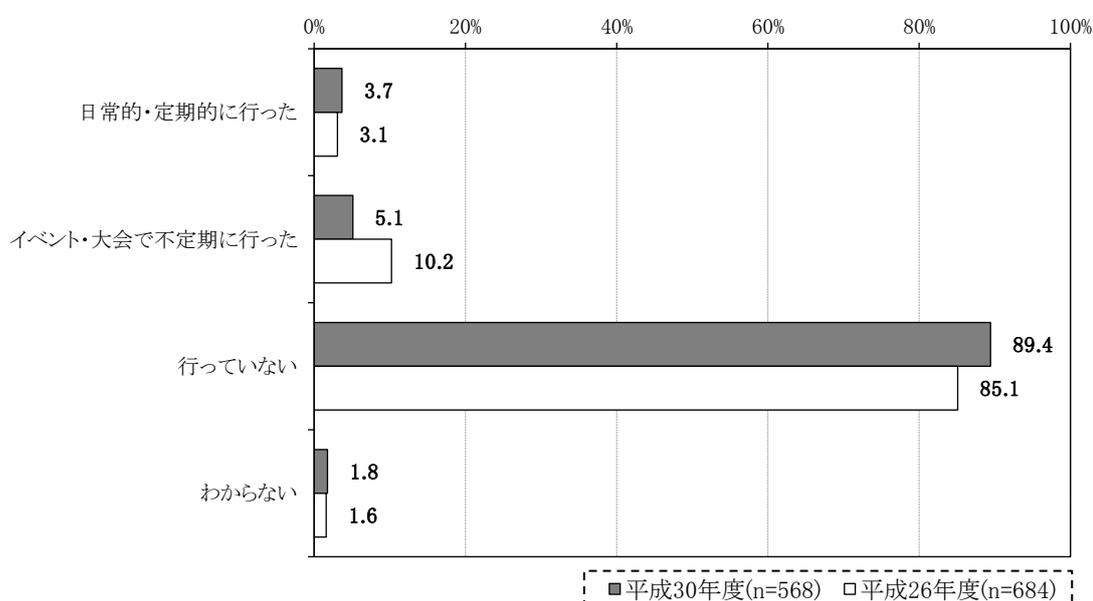
問21. あなたは、この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(1つだけ○印)

【結果概要】スポーツに関するボランティア活動を「行った」人は8.8%

スポーツの指導やスポーツ大会の運営などのスポーツに関するボランティア活動は、「行っていない」が89.4%となっている。またボランティア活動を行っている人は1割弱(合計8.8%)程度に止まり、その内容は「イベント・大会で不定期的に行った」が5.1%、「日常的・定期的に行った」が3.7%となっている。

前回調査と比較すると、「イベント・大会で不定期的に行った」は減少しているが、「日常的・定期的に行った」が0.6ポイントと微増している。

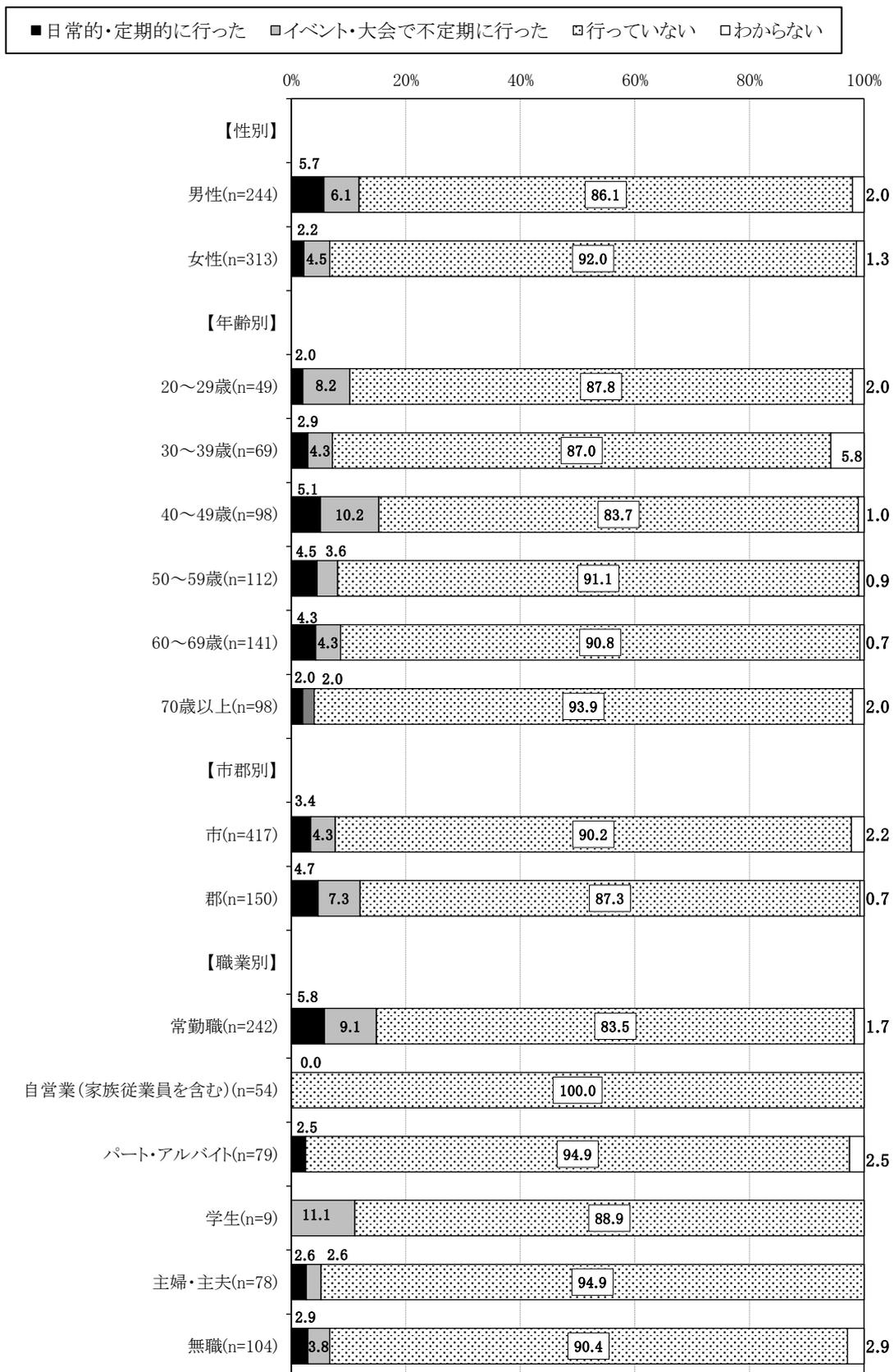
問21 スポーツに関するボランティア活動の実施



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比べてボランティアに参加している人が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』『40～49歳』でボランティアに参加している人が多い。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比べてボランティアに参加している人が多い。
- 職業別で見ると、『学生』『常勤職』が他の職種と比べてボランティアに参加している人が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

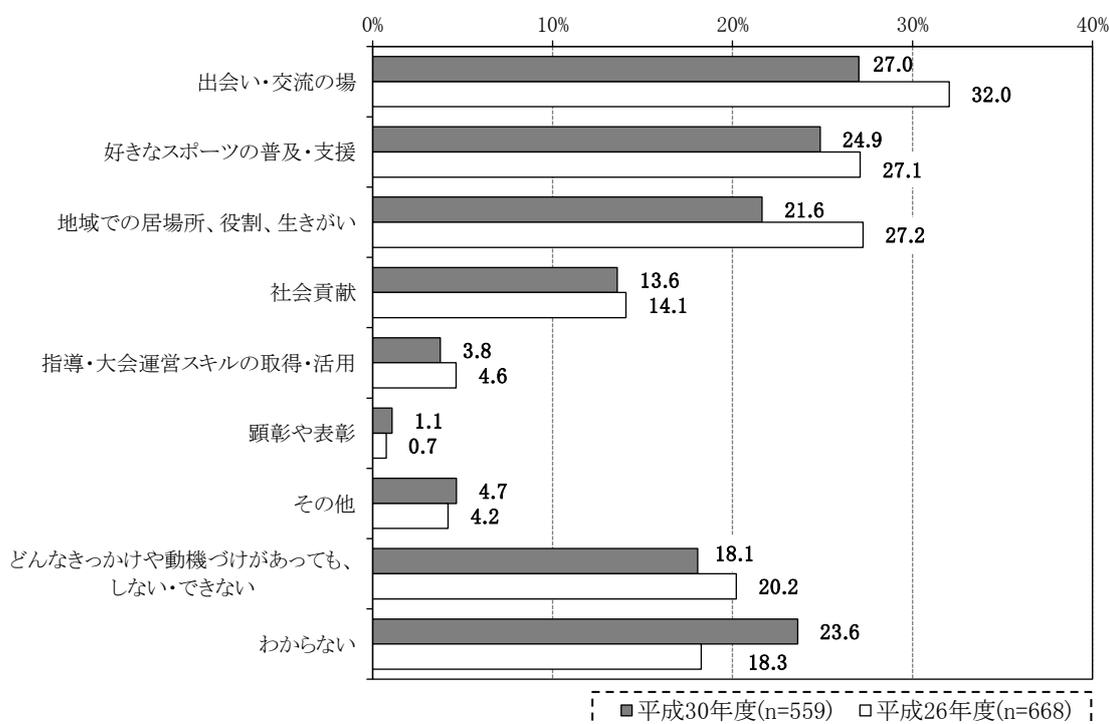
問 22. あなたは、どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。（いくつでも○印）

【結果概要】上位に「出会いや交流の場」「好きなスポーツの普及」「地域での居場所」

ボランティア活動を行うためのきっかけや動機として必要なことは、「出会い・交流の場」が27.0%と最も多く、次いで「好きなスポーツの普及・支援」が24.9%、「地域での居場所、役割、生きがい」が21.6%、「社会貢献」が13.6%と続いている。また、ボランティア活動に否定的な意見の「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」は18.1%となっている。

前回調査と比較すると、各項目とも比率が減少し、「わからない」が増えている。

問22 ボランティア活動を行うきっかけ・動機づけ

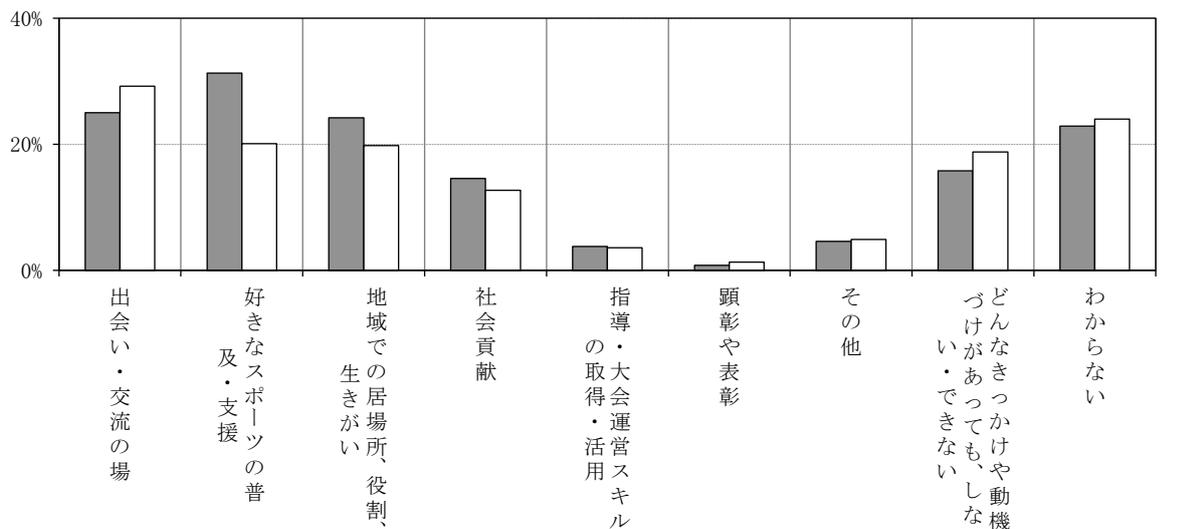


【結果の分析】

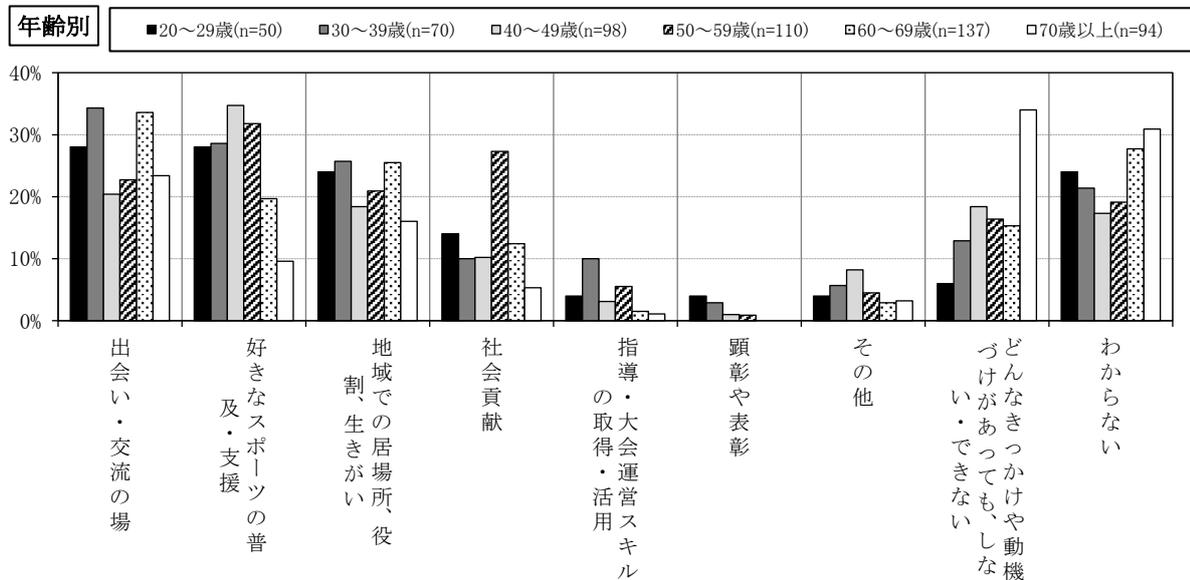
- 性別で見ると、『男性』は「好きなスポーツの普及・支援」、『女性』は「出会い・交流の場」が多い。
- 年齢別で見ると、『30～39歳』『60～69歳』で「出会い・交流の場」、『40～49歳』で「好きなスポーツの普及・支援」が多い。また『70歳以上』では「好きなスポーツの普及・支援」が少なく、「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』が「好きなスポーツの普及・支援」、『主婦・主夫』『学生』が他の職種と比べて「出会い・交流の場」が多い。また『自営業』『無職』が「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】

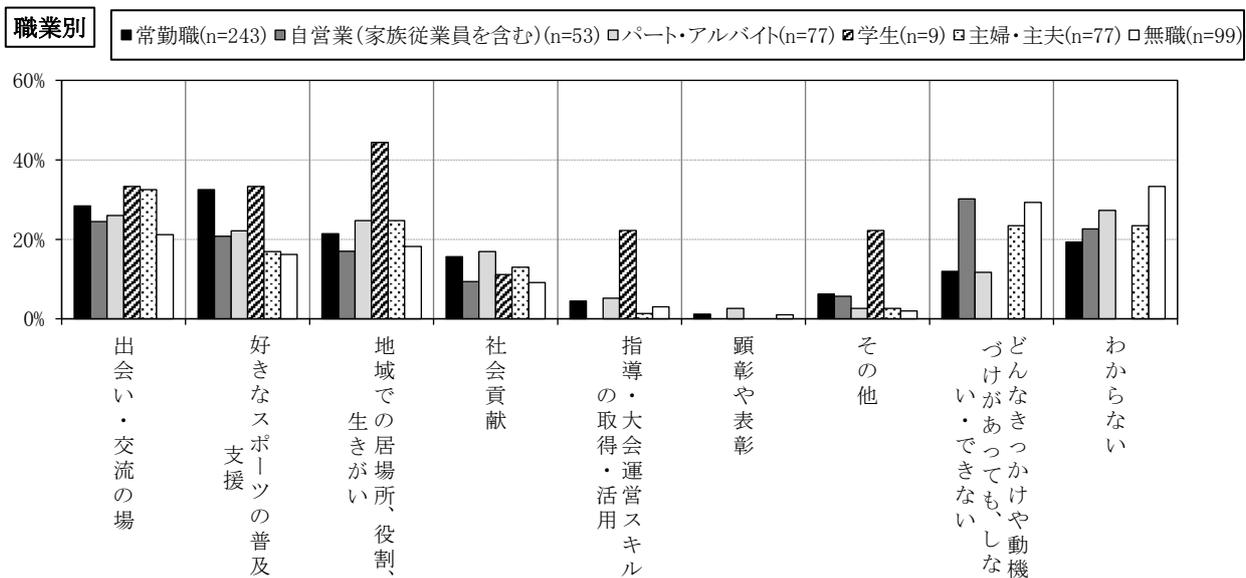
性別



年齢別



職業別

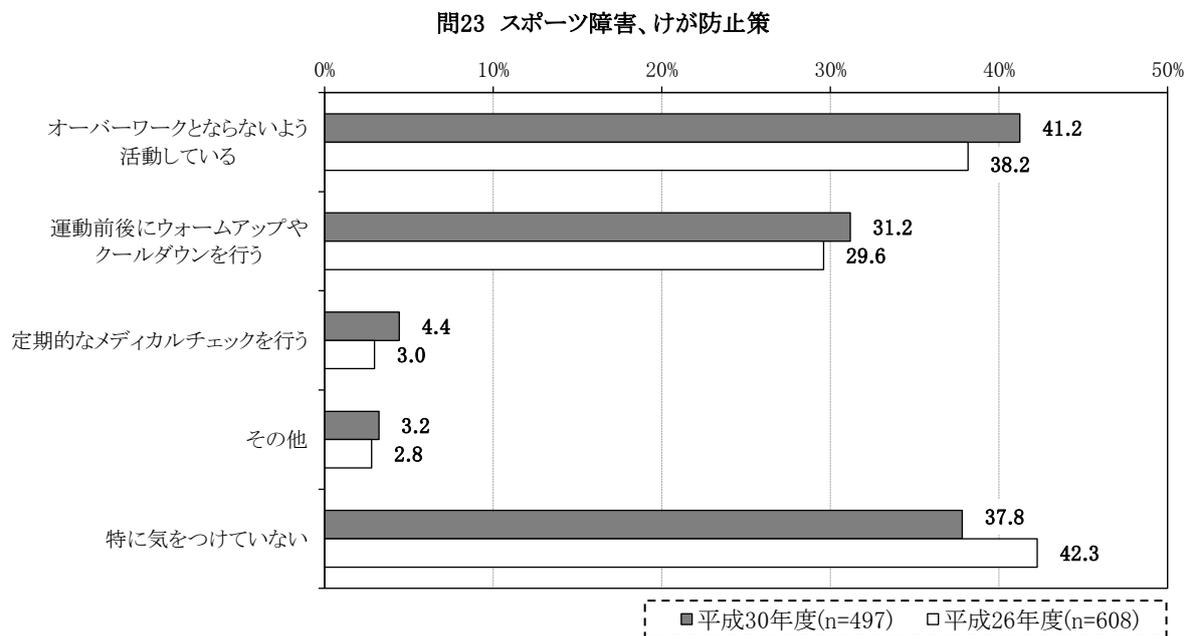


(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 23. スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることはありますか。(いくつでも○印)
 【結果概要】「オーバーワークにならないよう活動している」人が41.2%と最も多いが37.8%は「気を付けていない」

スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることは、主なものが「オーバーワークと
 ならないよう活動している」が41.2%、「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」
 が31.2%と、運動前後や運動中に気をつけている意見が多くみられる。しかし、「特に気をつ
 けていない」という意見も37.8%となっている。

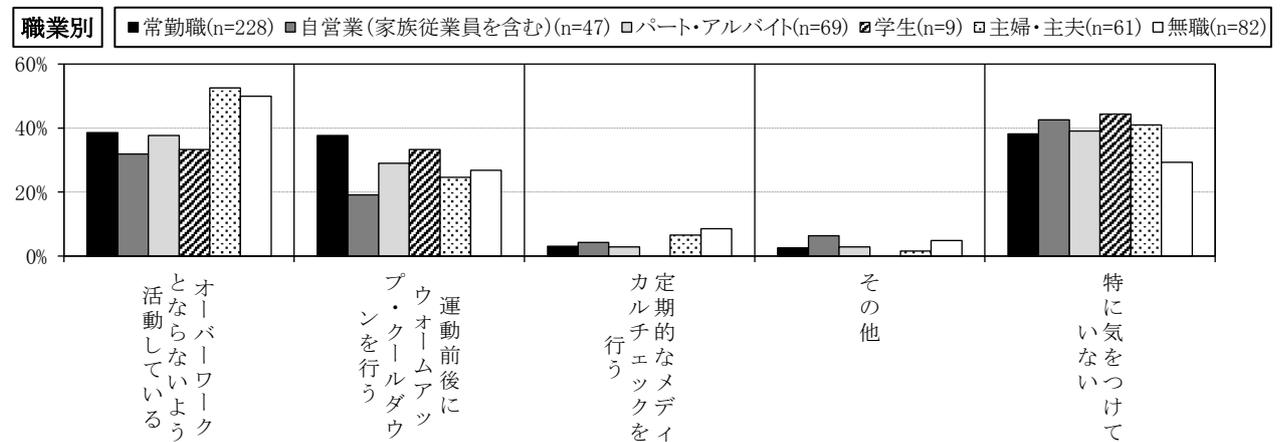
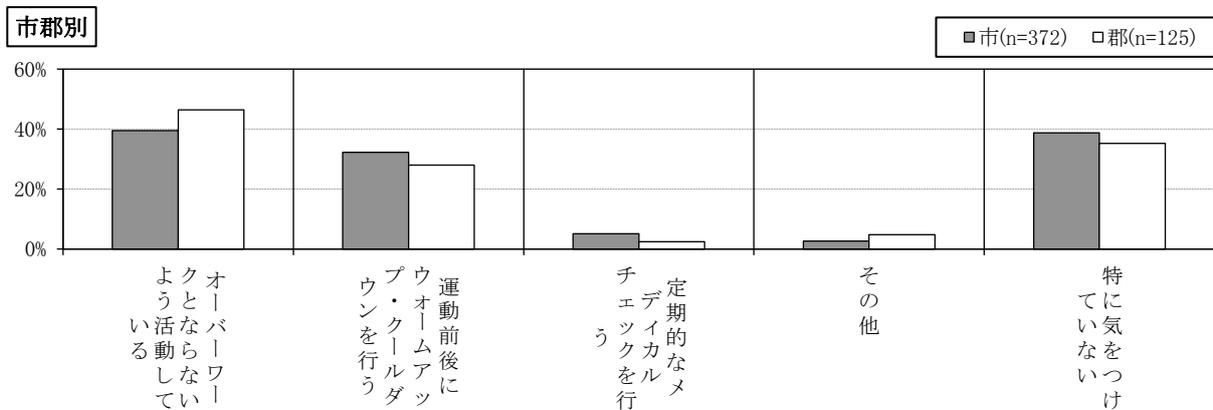
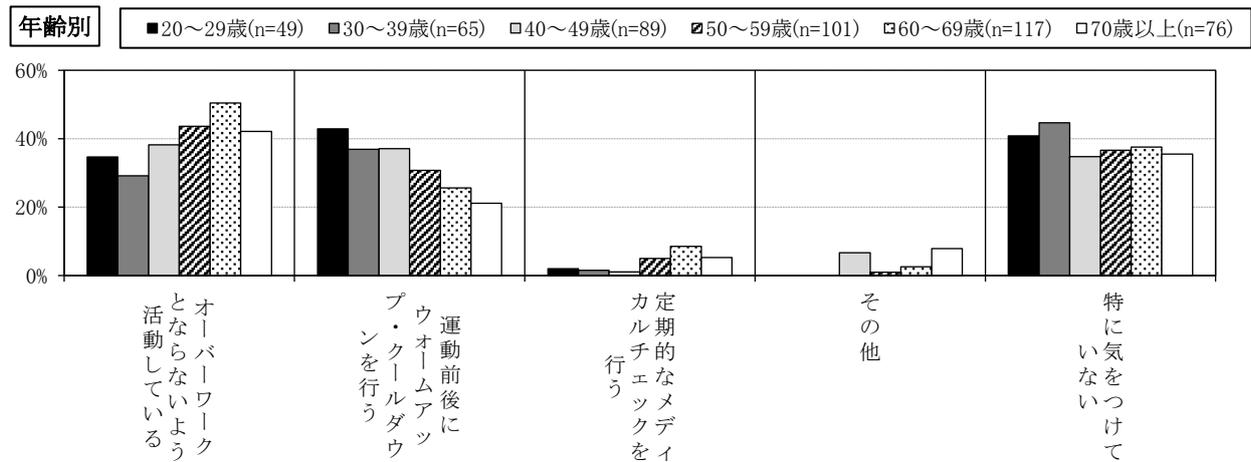
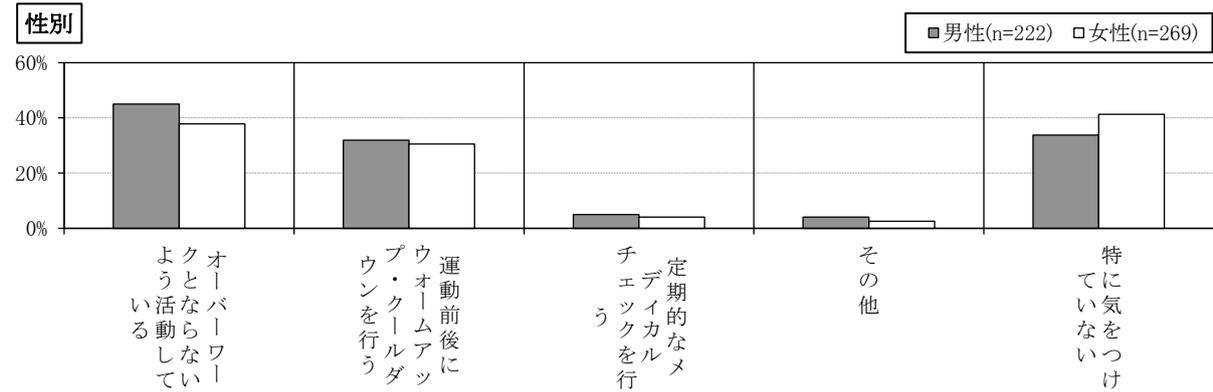
前回調査と比較すると、けがの防止に努める意見が多くなり、「特に気をつけていない」が
 減少している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「オーバーワークとしないよう活動している」「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が多く、『女性』は「特に気をつけていない」が多い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「オーバーワークとしないよう活動している」が増えている一方、「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」は年齢が高くなるにつれて減っている。また、『20～29歳』『30～39歳』では「特に気をつけていない」が多い。
- 市郡別で見ると、『市部』は「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が多く、『郡部』は「オーバーワークとしないよう活動している」が多い。
- 職業別で見ると、『主婦・主夫』『無職』は「オーバーワークとしないよう活動している」が多く、『常勤職』は「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

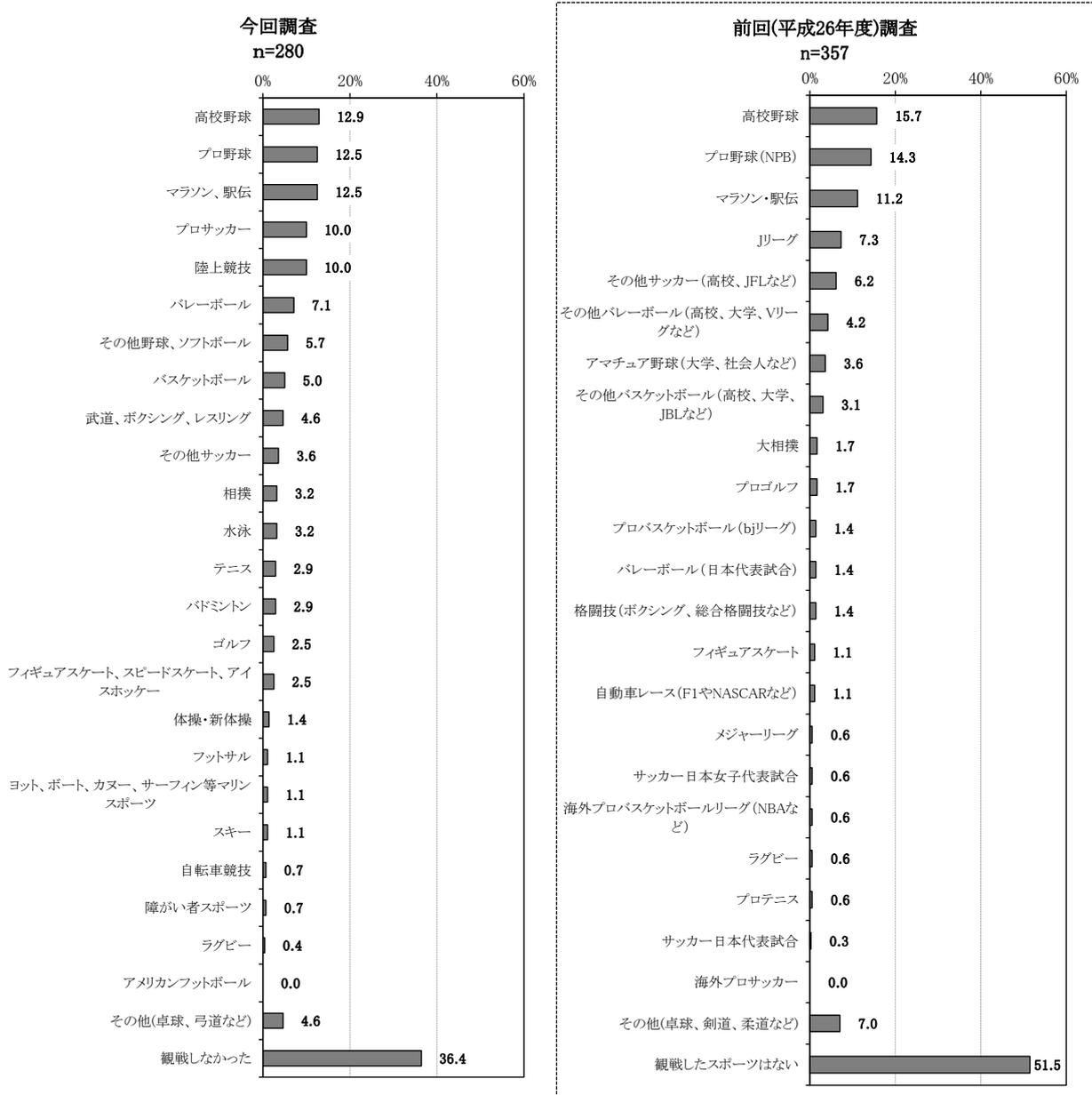
【競技会場でのスポーツ観戦について】

問 24. あなたが行った（今後行いたい）スポーツ観戦についてお答えください。

- ① この1年間に直接競技会場（スタジアム、体育館等）に行き、観戦を行ったスポーツは何ですか。（いくつでも○印）

【結果概要】上位に「高校野球」「プロ野球」「マラソン・駅伝」「プロサッカー」

競技会場で観戦したスポーツは、「高校野球」が12.9%と最も多く、次いで「プロ野球」、「マラソン・駅伝」がそれぞれ12.5%、「プロサッカー」、「陸上競技」がそれぞれ10.0%と続いている。前回調査と比較すると、上位の競技は前回と同じような結果となっている。



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(注) 選択肢の内容を H26 と H30 とで変えているため、回答項目の条件が一致しない。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「プロ野球」、『女性』は「マラソン、駅伝」が1位となっている。
- 年齢別で見ると、『20～30代』『70歳以上』で「プロ野球」、『30～40代』で「プロサッカー」、『60代』で「マラソン、駅伝」「陸上競技」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』で「マラソン、駅伝」、『郡部』で「高校野球」が1位となっている。
- 職業別で見ると、『自営業』『学生』で「プロ野球」、『パート・アルバイト』で「プロサッカー」、『無職』で「マラソン、駅伝」、『主婦・主夫』で「陸上競技」が1位となっている。

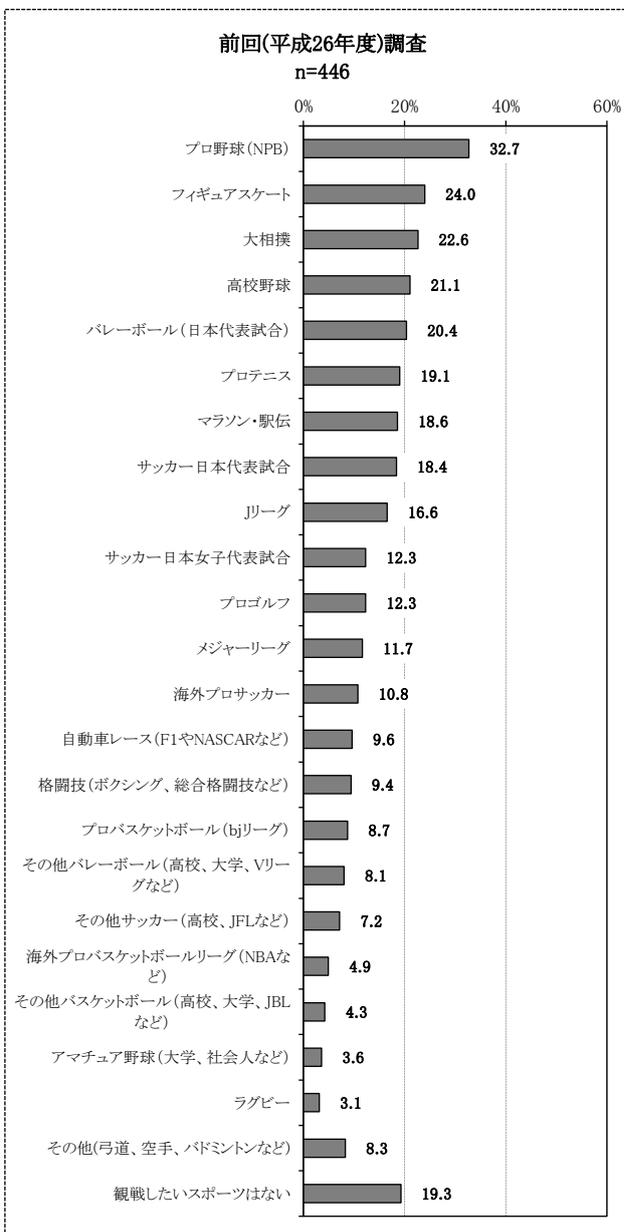
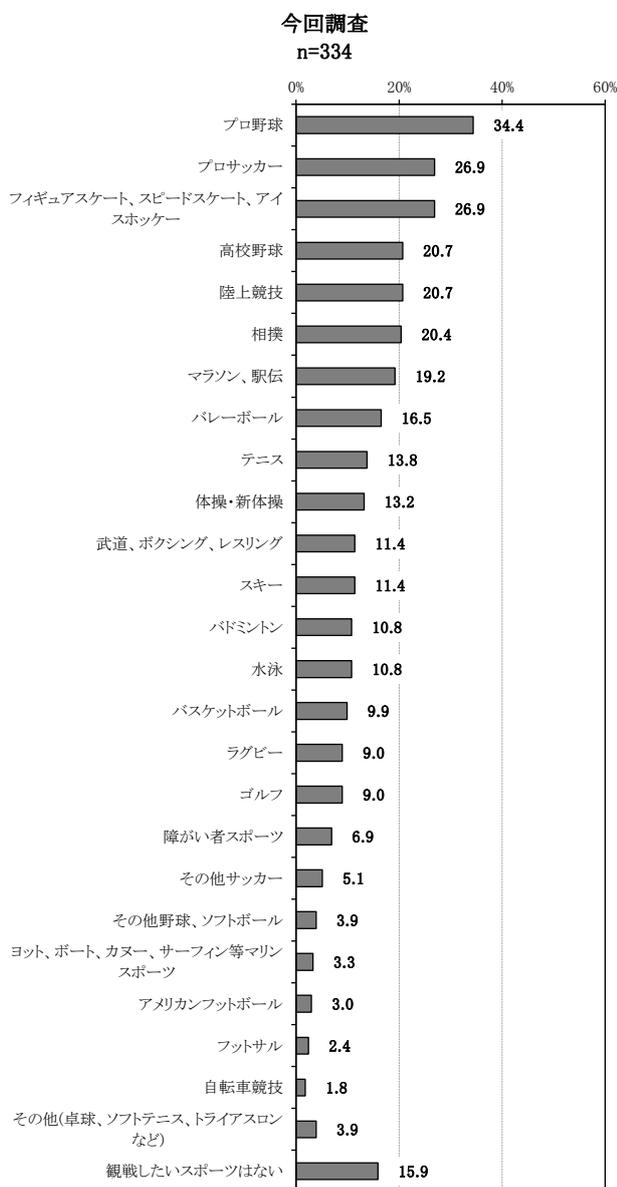
【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
性別	男性(n=122)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	マラソン、駅伝	陸上競技	バレーボール	バスケットボール	その他野球、ソフトボール	相撲	武道、ボクシング、レスリング
		18.9	18.0	14.8	13.9	12.3	9.0	6.6	5.7	4.9	
	女性(n=157)	マラソン、駅伝	高校野球	陸上競技	プロ野球	プロサッカー	その他野球、ソフトボール	バレーボール	武道、ボクシング、レスリング	その他サッカー	バスケットボール
		11.5	8.9	8.3	7.6	6.4	5.7	4.5	3.8		
年齢別	20~29歳(n=34)	プロ野球	マラソン、駅伝	高校野球	武道、ボクシング、レスリング	スキー	その他野球、ソフトボール	バスケットボール	バレーボール	フィギュアスケート他	プロサッカー
			14.7	11.8	8.8	5.9					
	30~39歳(n=41)	プロサッカー	プロ野球	高校野球	バレーボール	バドミントン	その他野球、ソフトボール	テニス	バスケットボール	フィギュアスケート他	マラソン、駅伝
			9.8	7.3	4.9	2.4					
	40~49歳(n=64)	プロサッカー	マラソン、駅伝	陸上競技	バスケットボール	高校野球	その他サッカー	バレーボール	プロ野球	その他野球、ソフトボール	水泳
			10.9	9.4	7.8	6.3	4.7				
	50~59歳(n=51)	高校野球	プロサッカー	プロ野球	マラソン、駅伝	陸上競技	その他野球、ソフトボール	武道、ボクシング、レスリング	バスケットボール	水泳	相撲
			19.6	17.6	15.7	11.8	9.8	7.8	5.9		
	60~69歳(n=56)	マラソン、駅伝	陸上競技	バレーボール	プロ野球	高校野球	バドミントン	フィギュアスケート他	プロサッカー	ゴルフ	その他サッカー
			17.9	12.5	5.4	3.6					
	70歳以上(n=34)	プロ野球	高校野球	マラソン、駅伝	ゴルフ	相撲	その他野球、ソフトボール	プロサッカー	陸上競技	その他サッカー	バレーボール
			20.6	14.7	11.8	8.8	5.9				
市郡別	市(n=210)	マラソン、駅伝	プロ野球	高校野球	陸上競技	プロサッカー	バレーボール	武道、ボクシング、レスリング	その他野球、ソフトボール	その他サッカー	バスケットボール
			13.8	13.3	12.4	11.0	10.5	8.6	6.2	5.2	4.3
	郡(n=70)	高校野球	プロ野球	バスケットボール	プロサッカー	マラソン、駅伝	その他野球、ソフトボール	陸上競技	テニス	水泳	ゴルフ
		14.3	10.0	8.6	7.1	4.3	2.9				
職業別	常勤職(n=144)	高校野球	プロ野球	マラソン、駅伝	プロサッカー	バレーボール	陸上競技	その他野球、ソフトボール	バスケットボール	その他サッカー	水泳
			15.3	13.2	11.1	9.7	8.3	7.6	5.6	4.2	
	自営業(家族従業員を含む)(n=19)	プロ野球	その他野球、ソフトボール	バスケットボール	バレーボール	マラソン、駅伝	高校野球	陸上競技	テニス	プロサッカー	水泳
			15.8	10.5	5.3						
	パート・アルバイト(n=47)	プロサッカー	プロ野球	バスケットボール	マラソン、駅伝	陸上競技	その他野球、ソフトボール	高校野球	武道、ボクシング、レスリング	バレーボール	フィギュアスケート他
			14.9	12.8	8.5	6.4	4.3				
	学生(n=6)	スキー	プロ野球	フィギュアスケート他	プロサッカー	マラソン、駅伝	マリンスポーツ	自転車競技	障がい者スポーツ	武道、ボクシング、レスリング	陸上競技
			33.3	16.7							
主婦・主夫(n=33)	高校野球	陸上競技	マラソン、駅伝	テニス	プロサッカー	水泳	体操・新体操	ゴルフ	その他野球、ソフトボール	バドミントン	
		15.2	12.1	6.1	3.0						
無職(n=30)	マラソン、駅伝	プロ野球	陸上競技	ゴルフ	高校野球	相撲	その他サッカー	バレーボール	プロサッカー	その他野球、ソフトボール	
		26.7	16.7	13.3	10.0	6.7					

② 今後、直接観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)

【結果概要】上位に「プロ野球」「プロサッカー」「フィギュアスケート等」「高校野球」

今後、直接観戦したいスポーツは、「プロ野球」が34.4%と最も多く、次いで「プロサッカー」「フィギュアスケート等」「高校野球」「陸上競技」などが上位となっているが、前回調査と比較すると「プロサッカー」が2位、「陸上競技」5位と上位にあがってきている。



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(注) 選択肢の内容を H26 と H30 とで変えているため、回答項目の条件が一致しない。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「プロ野球」、『女性』は「フィギュアスケート他」が1位となっている。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「高校野球」、『30～40代』で「プロサッカー」、『50歳以上』で「プロ野球」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、どちらも1位は「プロ野球」となっているが、2位は『市部』では「フィギュアスケート他」、『郡部』では「プロサッカー」となっている。
- 職業別で見ると、『自営業』で「プロサッカー」、『主婦・主夫』『パート・アルバイト』で「フィギュアスケート他」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
性別	男性(n=141)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	相撲	陸上競技	マラソン、 駅伝	武道、ボク シング、レ スリング	フィギュア スケート他	ゴルフ	スキー
		46.8	34.0	27.7		24.8	19.1		16.3	15.6	14.2
性別	女性(n=189)	フィギュア スケート他	プロ野球	バレーボ ール	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	陸上競技	体操・新体 操	高校野球	テニス	相撲
		34.4	24.3	21.2		19.0	16.9	16.4	15.3	14.3	13.8
年齢別	20～29歳(n=34)	高校野球	プロ野球	プロサッ カー	フィギュア スケート他	テニス	アメリカン フットボ ール	マラソン、 駅伝	マリンス ポーツ	水泳	武道、ボク シング、レ スリング
		38.2	35.3	29.4	20.6	14.7	8.8				
	30～39歳(n=50)	プロサッ カー	プロ野球	フィギュア スケート他	バレーボ ール	マラソン、 駅伝	相撲	体操・新体 操	高校野球	陸上競技	スキー
		30.0		26.0	20.0	18.0	16.0		14.0		12.0
	40～49歳(n=70)	プロサッ カー	プロ野球	フィギュア スケート他	バレーボ ール	高校野球	陸上競技	相撲	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	スキー
		31.4	31.4	22.9	20.0	18.6	18.6	17.1	15.7	14.3	12.9
	50～59歳(n=81)	プロ野球	フィギュア スケート他	プロサッ カー	テニス	マラソン、 駅伝	相撲	陸上競技	バレーボ ール	高校野球	水泳
		35.8	30.9	23.5	22.2			19.8	17.3		16.0
	60～69歳(n=65)	プロ野球	陸上競技	フィギュア スケート他	相撲	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	武道、ボク シング、レ スリング	バレーボ ール	高校野球	スキー
		36.9	35.4	33.8	30.8	29.2	26.2	20.0	16.9	16.9	15.4
	70歳以上(n=34)	プロ野球	高校野球	相撲	陸上競技	フィギュア スケート他	ゴルフ	マラソン、 駅伝	テニス	プロサッ カー	スキー
		38.2	32.4	26.5	23.5	20.6	17.6		14.7		11.8
市郡別	市(n=247)	プロ野球	フィギュア スケート他	プロサッ カー	高校野球	相撲	マラソン、 駅伝	陸上競技	バレーボ ール	武道、ボク シング、レ スリング	体操・新体 操
		34.4	28.3	26.3	21.1	20.6	19.8	19.8	15.8	15.0	14.6
市郡別	郡(n=87)	プロ野球	プロサッ カー	フィギュア スケート他	陸上競技	高校野球	相撲	バレーボ ール	マラソン、 駅伝	テニス	バスケット ボール
		34.5	28.7	23.0		19.5		18.4	17.2	14.9	12.6
職業別	常勤職(n=177)	プロ野球	プロサッ カー	高校野球	フィギュア スケート他	陸上競技	マラソン、 駅伝	バレーボ ール	相撲	テニス	バスケット ボール
		38.4	28.2	24.9	23.7	19.2	18.6	18.1	17.5	15.8	11.9
	自営業(家族従業員を含む)(n=24)	プロサッ カー	プロ野球	相撲	ゴルフ	武道、ボク シング、レ スリング	フィギュア スケート他	スキー	マラソン、 駅伝	陸上競技	バスケット ボール
		41.7	37.5	33.3	29.2		25.0	20.8			12.5
	パート・アルバイト(n=51)	フィギュア スケート他	プロ野球	プロサッ カー	バレーボ ール	マラソン、 駅伝	体操・新体 操	テニス	バスケット ボール	水泳	陸上競技
		27.5		25.5	21.6			15.7			
	学生(n=5)	プロ野球	高校野球	フィギュア スケート他	アメリカン フットボ ール	ゴルフ	スキー	テニス	バレーボ ール	プロサッ カー	マラソン、 駅伝
		80.0		60.0	20.0						
	主婦・主夫(n=37)	フィギュア スケート他	相撲	体操・新体 操	陸上競技	プロサッ カー	プロ野球	マラソン、 駅伝	テニス	バドミント ン	バレーボ ール
		40.5	32.4	29.7		18.9		13.5		10.8	
無職(n=39)	プロ野球	フィギュア スケート他	高校野球	相撲	陸上競技	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	スキー	ゴルフ	バドミント ン	
	33.3	25.6			23.1		17.9	15.4	12.8		

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

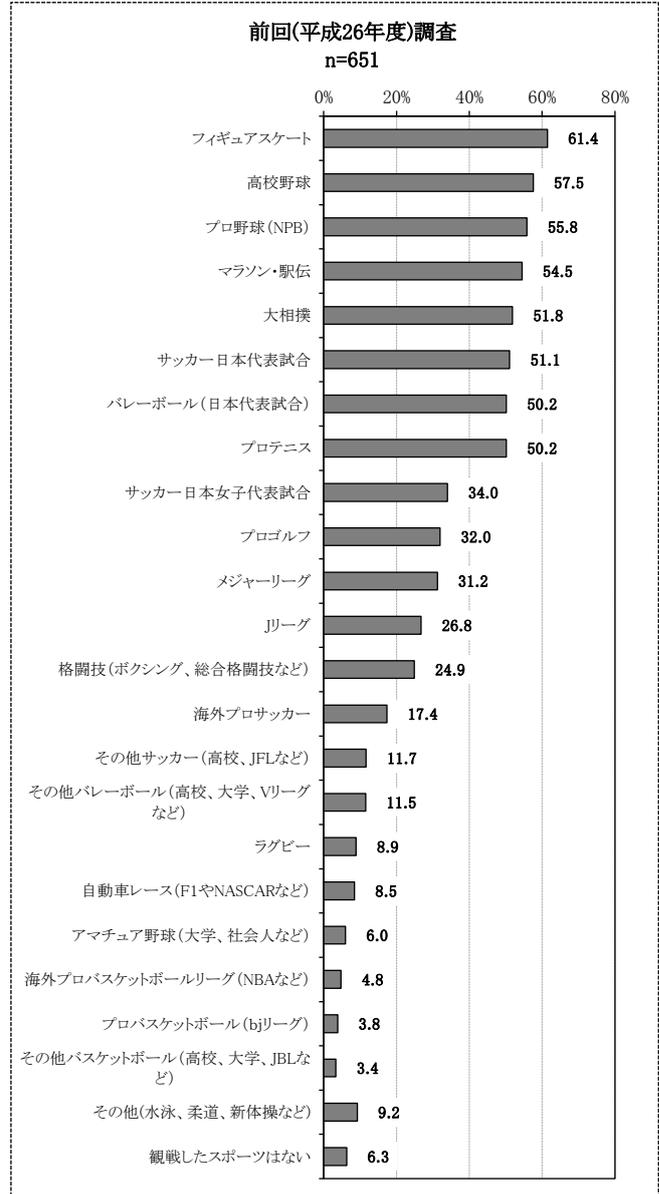
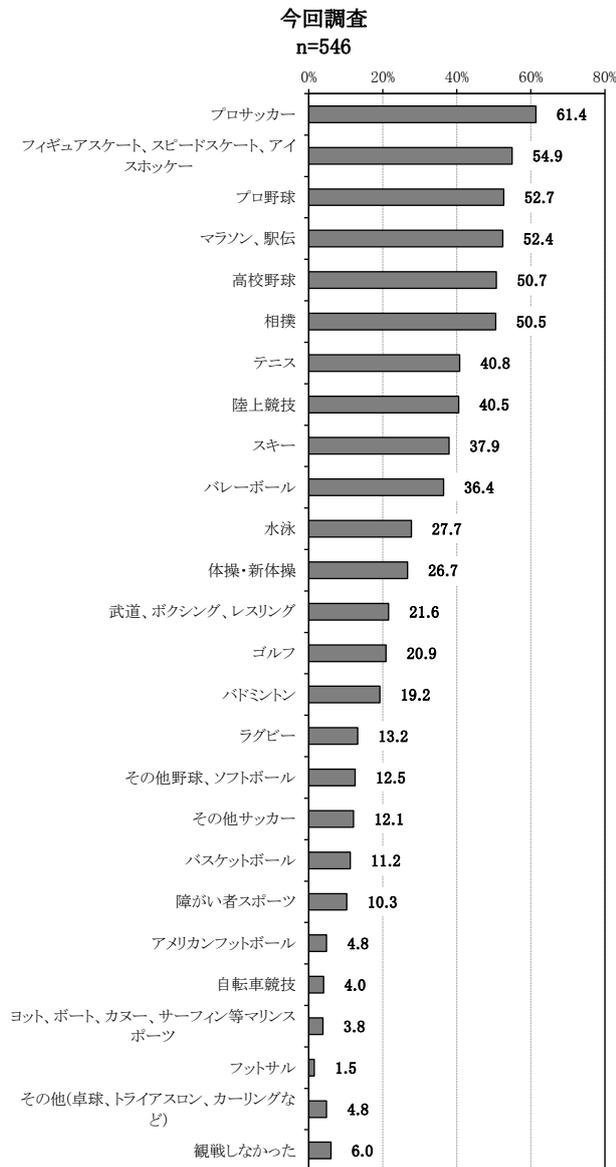
※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

【テレビによるスポーツ観戦について】

③ この1年間にテレビで観戦を行ったスポーツは何ですか。(いくつでも○印)

【結果概要】上位に「プロサッカー」「フィギュアスケート等」「プロ野球」「マラソン、駅伝」

テレビによるスポーツ観戦は、「プロサッカー」が61.4%と最も多く、次いで「フィギュアスケート等」、「プロ野球」、「マラソン・駅伝」、「高校野球」、「相撲」と続き、前回調査とほぼ同様の種目のテレビ観戦となっている。



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(注) 選択肢の内容を H26 と H30 とで変えているため、回答項目の条件が一致しない。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「プロ野球」、『女性』は「フィギュアスケート他」が1位となっている。
- 年齢別で見ると、『20～50代』で「プロサッカー」、『60代』で「プロ野球」、『70歳以上』で「相撲」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、どちらも1位は「プロ野球」となっているが、2位は『市部』では「フィギュアスケート他」、『郡部』では「プロ野球」となっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『自営業』『学生』で「プロサッカー」、『パート・アルバイト』『主婦・主夫』で「フィギュアスケート他」、『無職』で「相撲」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

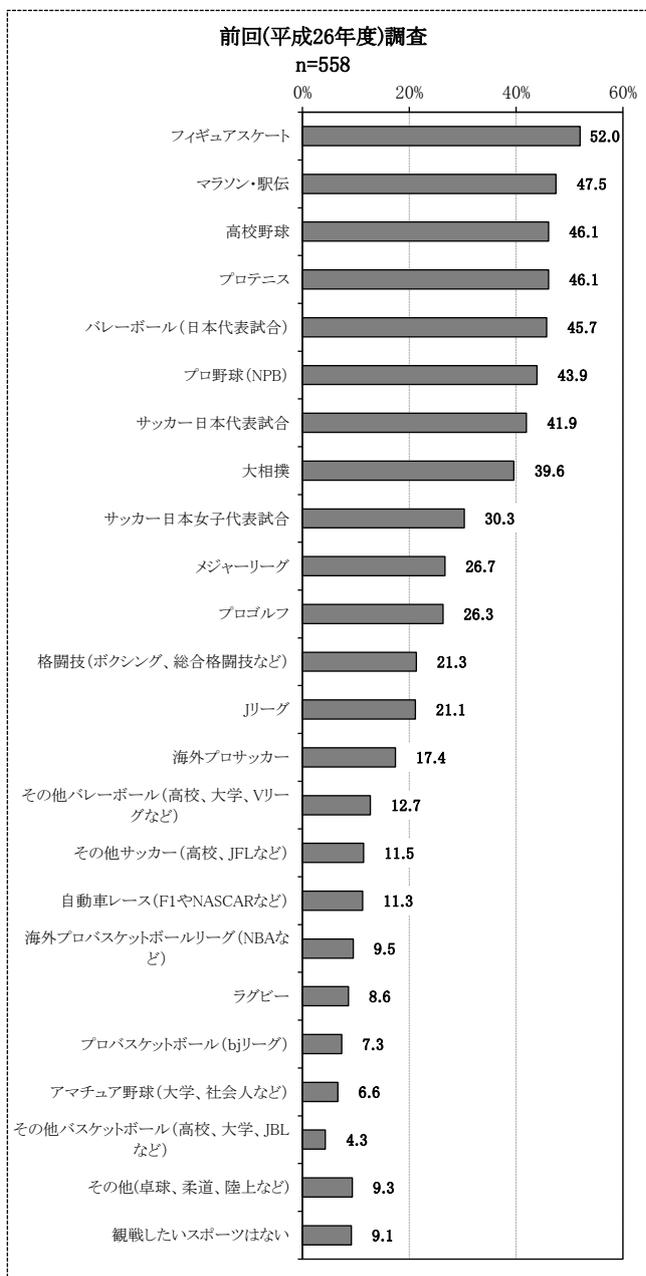
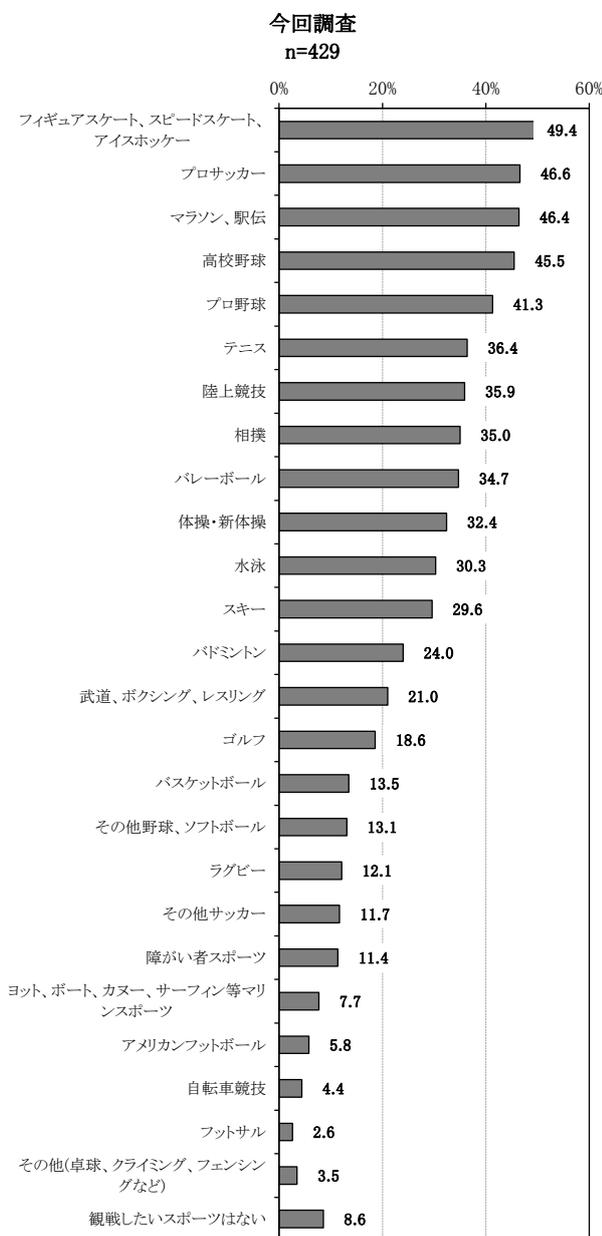
上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
性別	男性(n=233)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	マラソン、 駅伝	相撲	陸上競技	テニス	フィギュア スケート他	スキー	バレーボール	
		66.5	63.5	60.9	57.5	57.1	44.2	43.3	41.2	35.6		
	女性(n=302)	フィギュア スケート他	プロサッカー	マラソン、 駅伝	相撲	高校野球	プロ野球	スキー	テニス	バレーボール	陸上競技	
		65.2	59.6	49.7	45.4	43.7	42.1	39.4	39.1	37.4	37.1	
年齢別	20～29歳(n=45)	プロサッカー	高校野球	フィギュア スケート他	プロ野球	スキー	テニス	マラソン、 駅伝	バレーボール	相撲	陸上競技	
			66.7	44.4	40.0		26.7	24.4		17.8		
	30～39歳(n=68)	プロサッカー	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート他	プロ野球	高校野球	相撲	スキー	陸上競技	テニス	バレーボール	
			55.9	44.1	42.6	39.7	38.2	35.3	33.8	26.5	22.1	
	40～49歳(n=94)	プロサッカー	フィギュア スケート他	高校野球	プロ野球	マラソン、 駅伝	テニス	スキー	バレーボール	陸上競技	相撲	
			69.1	57.4	46.8	45.7	42.6	39.4	37.2	35.1	34.0	33.0
	50～59歳(n=108)	プロサッカー	フィギュア スケート他	テニス	マラソン、 駅伝	相撲	プロ野球	高校野球	スキー	陸上競技	バレーボール	
			69.4	61.1	54.6	52.8		48.1	46.3	42.6	40.7	34.3
	60～69歳(n=134)	プロ野球	マラソン、 駅伝	相撲	プロサッカー	フィギュア スケート他	高校野球	陸上競技	テニス	バレーボール	スキー	
			67.2	65.7	64.9	60.4	59.7	53.7	51.5	46.3	45.5	43.3
	70歳以上(n=97)	相撲	高校野球	マラソン、 駅伝	プロ野球	フィギュア スケート他	陸上競技	プロサッカー	バレーボール	テニス	水泳	
			71.1	67.0	61.9	59.8	54.6	51.5	47.4	46.4	40.2	36.1
	市郡別	市(n=402)	プロサッカー	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	相撲	プロ野球	高校野球	陸上競技	テニス	スキー	バレーボール
			63.2	56.0	53.0	52.7	52.0	51.5	40.5	39.6	38.1	34.8
	郡(n=144)	プロサッカー	プロ野球	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	高校野球	テニス	相撲	バレーボール	陸上競技	スキー	
		56.3	54.9	52.1	50.7	48.6	44.4		41.0	40.3	37.5	
職業別	常勤職(n=232)	プロサッカー	プロ野球	高校野球	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	テニス	相撲	陸上競技	スキー	バレーボール	
			67.7	53.9	53.0	50.9	49.1	42.2	40.5	39.2	38.4	34.5
	自営業(家族従業員を含む)(n=51)	プロサッカー	プロ野球	マラソン、 駅伝	相撲	スキー	高校野球	フィギュア スケート他	陸上競技	テニス	バレーボール	
			58.8	56.9	54.9		49.0		45.1	43.1	41.2	35.3
	パート・アルバイト(n=79)	フィギュア スケート他	プロサッカー	マラソン、 駅伝	プロ野球	相撲	高校野球	バレーボール	テニス	陸上競技	スキー	
			63.3	60.8	51.9	46.8	46.8	44.3	40.5	35.4	32.9	30.4
	学生(n=8)	プロサッカー	高校野球	スキー	フィギュア スケート他	プロ野球	マラソン、 駅伝	体操・新体操	マリンスポーツ	テニス	バレーボール	
			62.5	62.5	50.0					37.5	25.0	
	主婦・主夫(n=75)	フィギュア スケート他	相撲	プロサッカー	マラソン、 駅伝	プロ野球	高校野球	体操・新体操	スキー	テニス	陸上競技	
			61.3	61.3	58.7	46.7	44.0	41.3	40.0	36.0	33.3	32.0
無職(n=100)	相撲	マラソン、 駅伝	プロ野球	フィギュア スケート他	高校野球	陸上競技	プロサッカー	テニス	バレーボール	スキー		
		69.0	64.0	60.0	59.0	58.0	56.0	51.0	49.0	45.0	38.0	

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

④ 今後、テレビで観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)

【結果概要】上位に「フィギュアスケート」「プロサッカー」「マラソン・駅伝」「高校野球」
 今後、テレビで観戦したいスポーツは、「フィギュアスケート等」が最も多く、次いで「プロサッカー」、「マラソン・駅伝」、「高校野球」、「プロ野球」、「テニス」と続いており、前回調査と比較するとほぼ同様の結果となっているが、「プロサッカー」が上位に上がっている。



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(注) 選択肢の内容を H26 と H30 とで変えているため、回答項目の条件が一致しない。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「プロサッカー」「プロ野球」「マラソン、駅伝」「高校野球」、『女性』は「フィギュアスケート」が1位となっている。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「プロサッカー」、『30～50代』で「フィギュアスケート他」、『60代』で「マラソン、駅伝」、『70歳以上』で「高校野球」「相撲」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』は「フィギュアスケート他」、『郡部』は「高校野球」が1位となっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』で「プロサッカー」、『自営業』で「高校野球」、『パート・アルバイト』『学生』『主婦・主夫』『無職』で「フィギュアスケート」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
性別	男性(n=176)	プロサッカー	プロ野球	マラソン、 駅伝	高校野球	相撲	テニス	陸上競技	フィギュア スケート他	バレーボール	武道、ボク シング、レ スリング
		52.8				42.6	38.6	37.5	34.1	32.4	
性別	女性(n=245)	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	プロサッ カー	高校野球	体操・新体 操	バレーボ ール	テニス	陸上競技	プロ野球	水泳
		60.4	42.0	41.6	40.4	38.0	35.9	33.9		31.8	30.6
年齢別	20～29歳(n=35)	プロサッ カー	高校野球	プロ野球	テニス	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	水泳	バレーボ ール	スキー	バスケット ボール
		37.1	34.3	25.7	22.9		17.1		14.3	11.4	
	30～39歳(n=56)	フィギュア スケート他	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	高校野球	プロ野球	陸上競技	バレーボ ール	スキー	バドミントン	相撲
		41.1	39.3		35.7	33.9	26.8	25.0	23.2	21.4	
	40～49歳(n=78)	フィギュア スケート他	プロサッ カー	高校野球	プロ野球	マラソン、 駅伝	陸上競技	テニス	バレーボ ール	スキー	体操・新体 操
		50.0	47.4	37.2	32.1		30.8	28.2	26.9	24.4	
	50～59歳(n=97)	フィギュア スケート他	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	テニス	高校野球	プロ野球	体操・新体 操	バレーボ ール	陸上競技	水泳
		54.6	51.5		49.5	45.4	42.3	41.2	40.2	38.1	36.1
	60～69歳(n=98)	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート他	プロサッ カー	高校野球	プロ野球	相撲	陸上競技	テニス	バレーボ ール	水泳
		63.3	56.1	53.1	52.0	51.0	49.0		42.9		41.8
	70歳以上(n=65)	高校野球	相撲	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	プロ野球	バレーボ ール	陸上競技	テニス	プロサッ カー	体操・新体 操
		60.0		52.3		50.8	43.1	41.5	40.0		
市郡別	市(n=324)	フィギュア スケート他	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	高校野球	プロ野球	陸上競技	テニス	相撲	体操・新体 操	バレーボ ール
		50.9	46.3		44.4	39.5	35.8	35.2		33.3	32.7
市郡別	郡(n=105)	高校野球	プロサッ カー	プロ野球	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート他	バレーボ ール	テニス	陸上競技	相撲	水泳
		48.6	47.6	46.7		44.8	41.0	40.0	36.2	34.3	33.3
職業別	常勤職(n=189)	プロサッ カー	高校野球	マラソン、 駅伝	プロ野球	フィギュア スケート他	テニス	陸上競技	バレーボ ール	スキー	相撲
		48.7	45.5	44.4	42.3	40.7	33.3		30.7	25.9	
	自営業(家族従業 員を含む)(n=40)	高校野球	プロサッ カー	プロ野球	テニス	バレーボ ール	マラソン、 駅伝	相撲	スキー	フィギュア スケート他	武道、ボク シング、レ スリング
		45.0	40.0		35.0			30.0		27.5	
	パート・アルバイト (n=68)	フィギュア スケート他	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	体操・新体 操	バレーボ ール	高校野球	テニス	陸上競技	プロ野球	水泳
		61.8	47.1	42.6	39.7	38.2	35.3	33.8		32.4	
	学生(n=6)	フィギュア スケート他	プロ野球	高校野球	スキー	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	水泳	体操・新体 操	テニス	バレーボ ール
		66.7			50.0				33.3		
主婦・主夫(n=58)	フィギュア スケート他	相撲	体操・新体 操	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	高校野球	水泳	陸上競技	プロ野球	テニス	
	62.1	50.0		48.3	46.6	43.1	39.7		36.2	34.5	
無職(n=67)	フィギュア スケート他	マラソン、 駅伝	相撲	高校野球	陸上競技	テニス	プロ野球	バレーボ ール	プロサッ カー	ゴルフ	
	62.7		61.2	56.7	52.2	50.7		44.8	43.3	40.3	

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

＜ 今後の取組・要望等 ＞

問25. あなたは、今後自分の運動やスポーツ活動についてどのようにお考えですか。

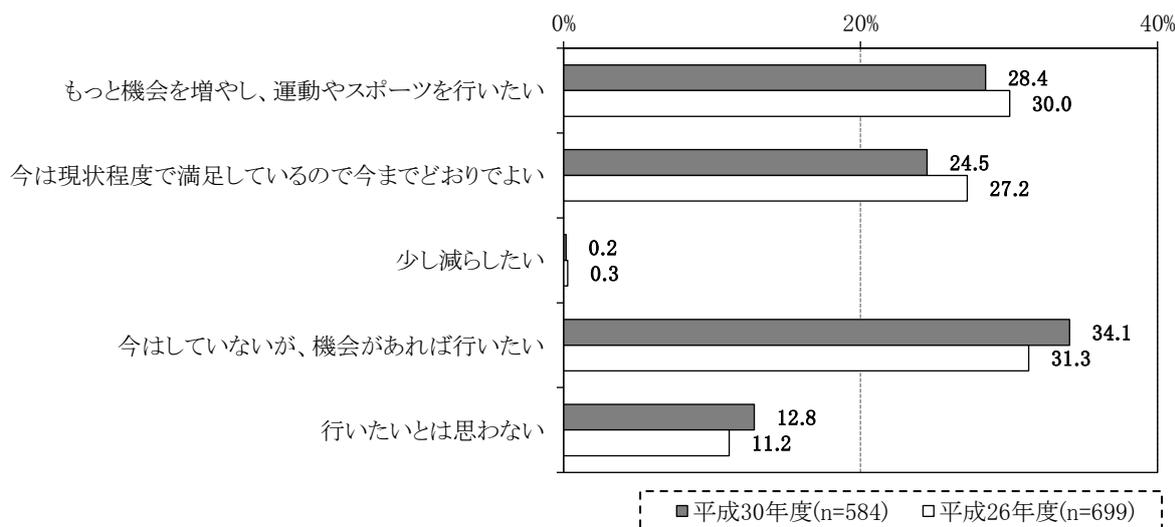
(1つだけ○印)

【結果概要】「機会があれば運動やスポーツを行いたい」という意見が34.1%

今後の運動やスポーツ活動は、「今はしていないが、機会があれば行いたい」が34.1%と最も多く、運動やスポーツを実施している人も「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が28.4%と、今後の運動やスポーツに積極的な意見が6割以上(合計62.5%)を占めている。また、現状維持の「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」は24.5%となっている一方、「少し減らしたい(0.2%)」、「行いたいと思わない(12.8%)」という消極的な意見は1割強(合計13.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「今はしていないが、機会があれば行いたい」という前向きな意見が増加している。

問25 自分の今後の運動・スポーツ活動に対する考え方



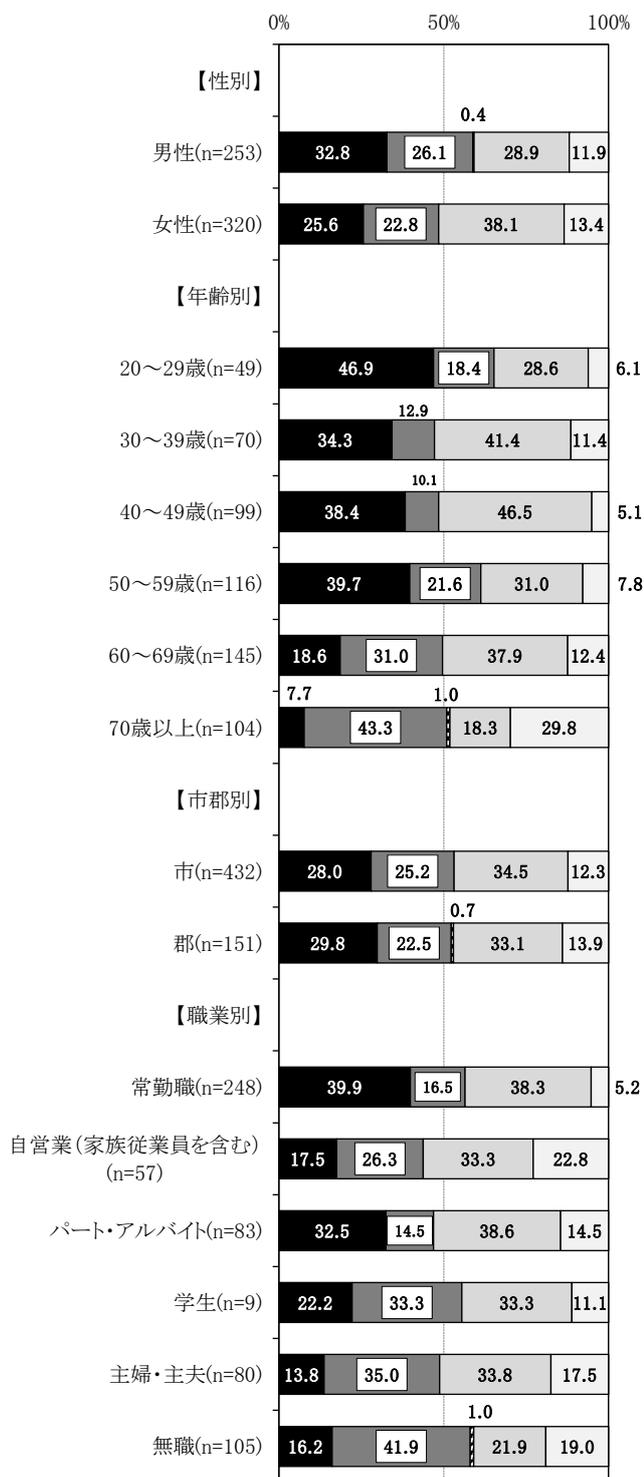
【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が多く、『女性』では「今はしていないが、機会があれば行いたい」が多い。
- 年齢別で見ると、「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」は『20～29歳』で半数近くを占めているが、年齢が高くなるにつれてその割合は減っている。また、『40代』以降年齢が高くなるにつれて「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が増えている。
- 市郡別で見ると、前回調査と比較すると市郡とも「今はしていないが、機会があれば行いたい」が増えている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』では「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」、「今はしていないが、機会があれば行いたい」が多く、『無職』では「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

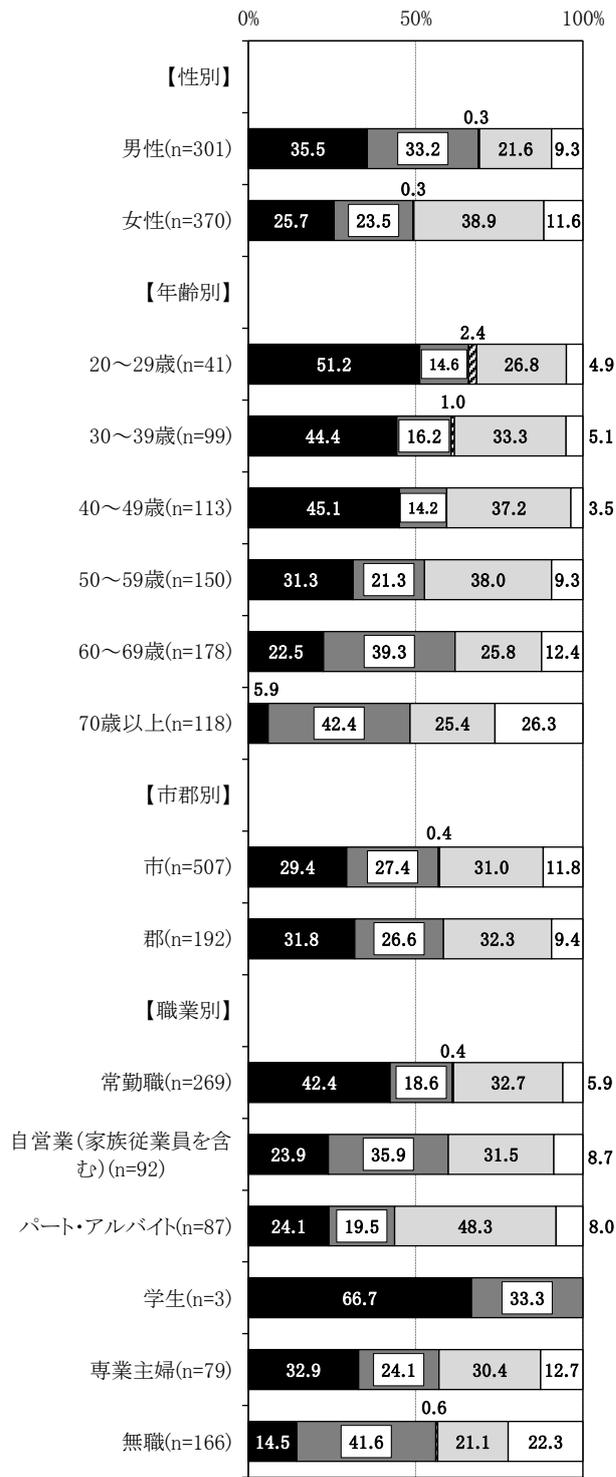
今回調査

- もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい
- 今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい
- 少し減らしたい
- 今はしていないが、機会があれば行いたい
- 行ないたいとは思わない



前回(平成26年度)調査

- もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい
- 今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい
- 少し減らしたい
- 今はしていないが、機会があれば行いたい
- 行ないたいとは思わない



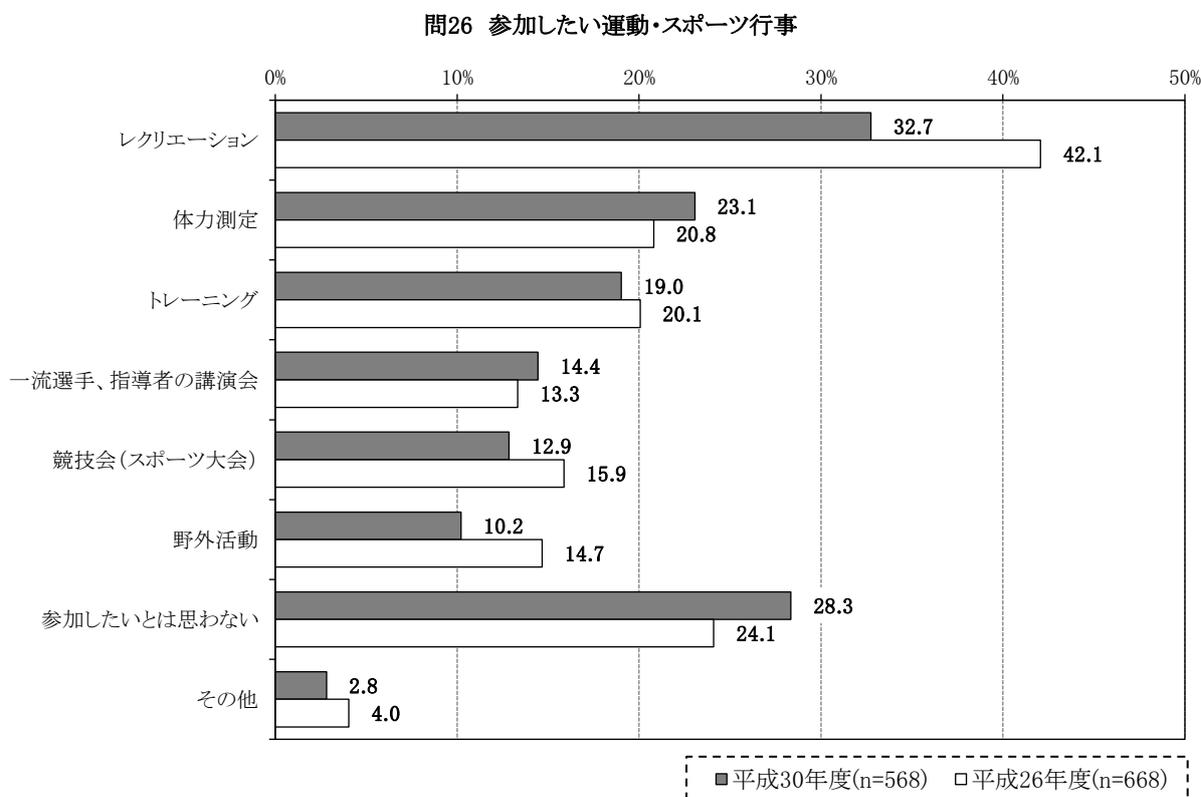
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問26. あなたは、今後運動やスポーツの行事が催される場合、どのような行事であれば参加したいと思いますか。(いくつでも〇印)

【結果概要】「レクリエーション」「体力測定」「トレーニング」等の行事に参加したい

運動やスポーツで参加してみたい行事は、「レクリエーション」が32.7%と最も多く、次いで「体力測定」が23.1%、「トレーニング」が19.0%、「一流選手、指導者の講演会」が14.4%、「競技会(スポーツ大会)」が12.9%と続いている。また「参加したいと思わない」は28.3%となっている。

前回調査と比較すると、「レクリエーション」「競技会(スポーツ大会)」「野外活動」が減少し、「体力測定」、「一流選手、指導者の講演会」が増加しているが、「参加したいと思わない」も増加している。



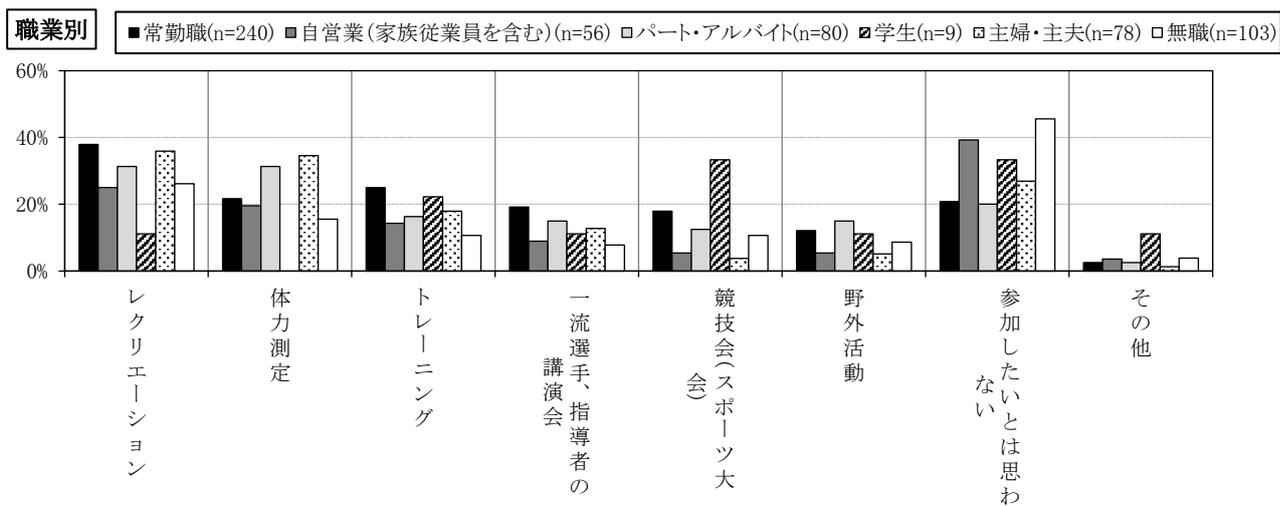
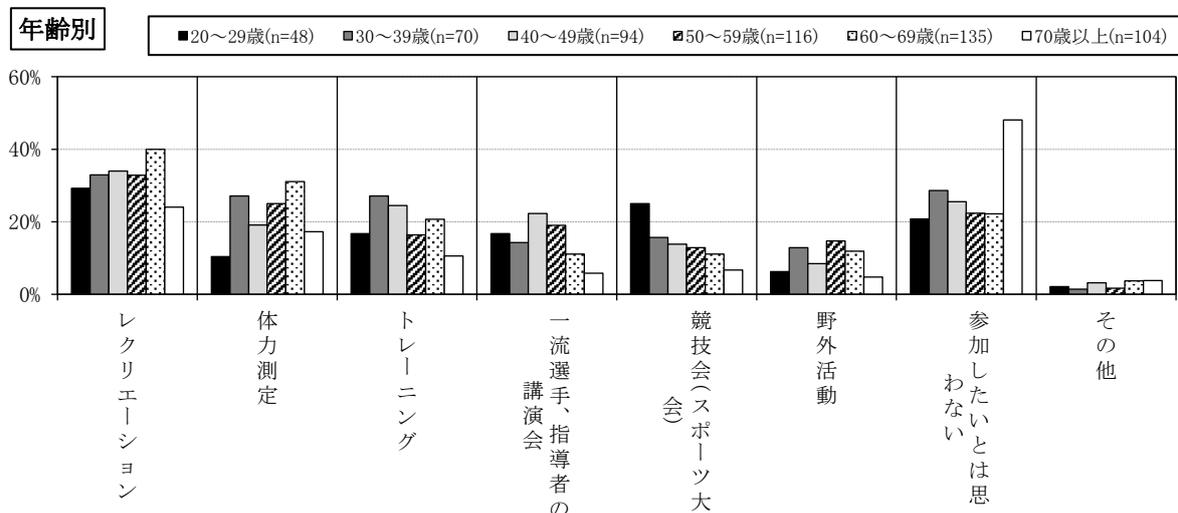
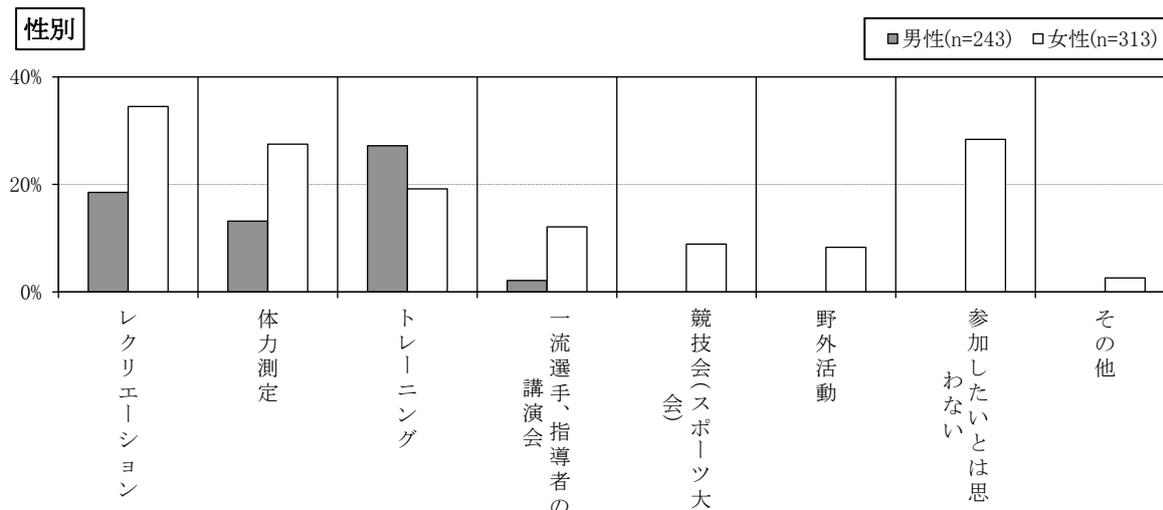
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「競技会(スポーツ大会)」、『女性』では「体力測定」「レクリエーション」が多い。

○年齢別で見ると、『20代』で「競技会(スポーツ大会)」、『30～40代』で「トレーニング」が多く、また『70歳以上』では「参加したいと思わない」が多い。

○職業別で見ると、『常勤職』『主婦・主夫』で「レクリエーション」、『学生』で「競技会(スポーツ大会)」、『自営業』『無職』では「参加したいと思わない」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



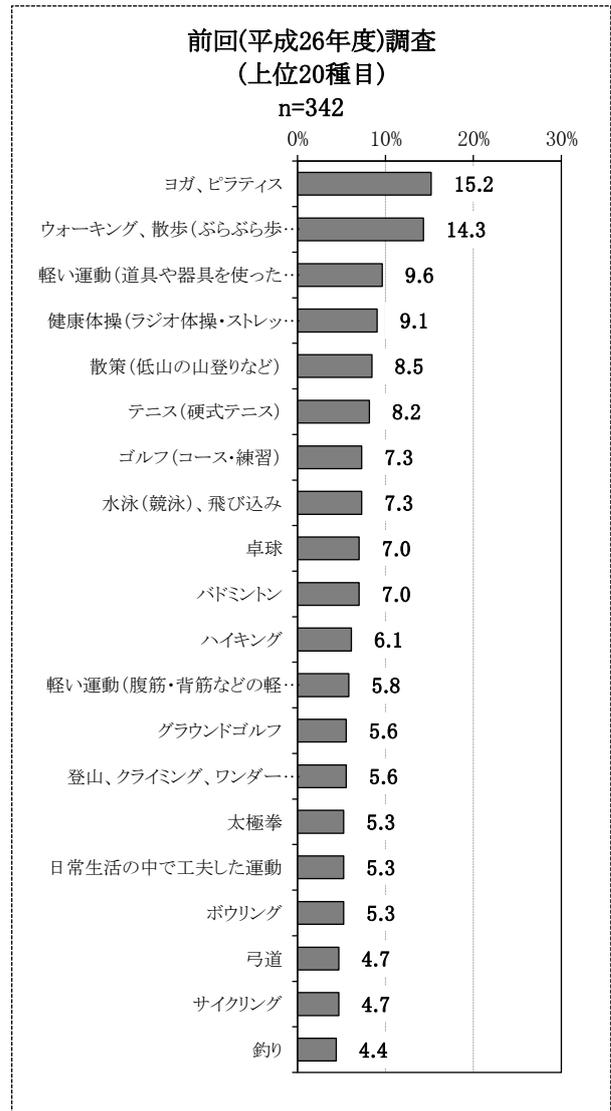
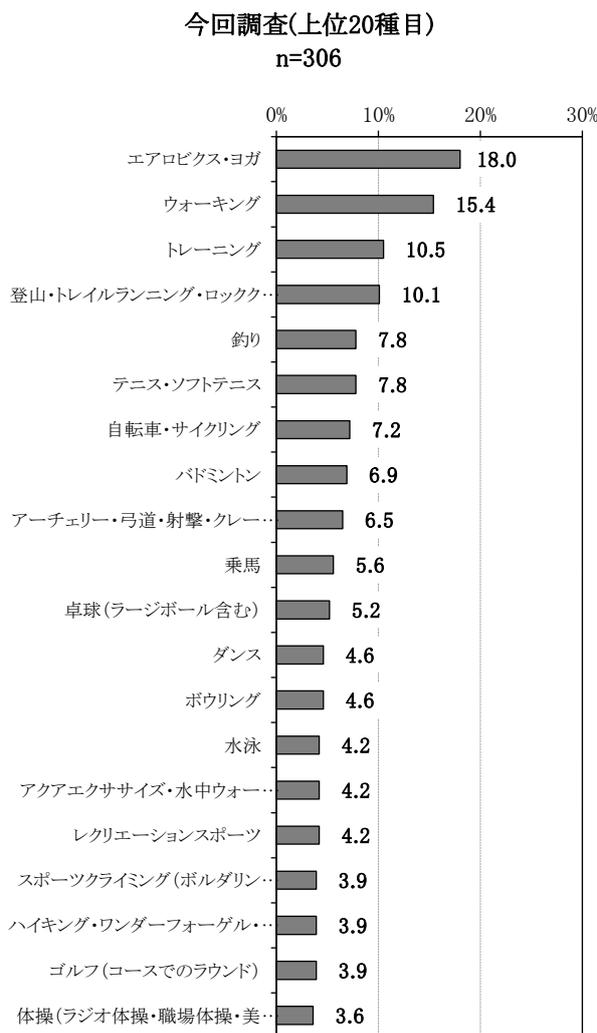
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問27. あなたが、今後新しく行ってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。

(いくつでも○印)

【結果概要】「エアロビクス・ヨガ」「ウォーキング」「トレーニング」など手軽な運動

今後、新しく行ってみたい運動やスポーツは、「エアロビクス・ヨガ」が18.0%と最も多く、次いで「ウォーキング」が15.4%、「トレーニング」が10.5%、「登山・トレイルランニング・ロッククライミング」が10.1%、「釣り」、「テニス・ソフトテニス」が7.8%、「自転車・サイクリング」が7.2%、「バドミントン」が6.9%と続いており、楽しめる運動・スポーツへの希望が多くみられる。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「釣り」、『女性』は「エアロビクス・ヨガ」が1位となっている。
- 年齢別で見ると、『20代』で「登山」、『30～50代』で「エアロビクス・ヨガ」、『60代以上』で「ウォーキング」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』は「エアロビクス・ヨガ」が1位、「ウォーキング」が2位となっているが、『郡部』は逆転している。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』で「エアロビクス・ヨガ」、『自営業』『無職』で「トレーニング」、『学生』で「テニス・ソフトテニス」、『主婦・主夫』で「ウォーキング」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】上位10位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
性別	男性(n=117)	釣り	トレーニング	アーチェリー他	テニス・ソフトテニス	ウォーキング	登山他	自転車・サイクリング	ボウリング	卓球(ラージボール含む)	キャンプ・オートキャンプ
		11.1	9.4	8.5		7.7		6.8	6.0		5.1
性別	女性(n=183)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	トレーニング	登山他	バドミントン	乗馬	テニス・ソフトテニス	自転車・サイクリング	ダンス	アクアエクササイズ
		26.8	20.2	11.5		8.7	8.2	7.7		7.1	6.6
年齢別	20~29歳(n=37)	登山他	バドミントン	トレーニング	スノーボード	ランニング	自転車・サイクリング	卓球(ラージボール含む)	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	キャンプ・オートキャンプ
		18.9	16.2	13.5		10.8			8.1		
	30~39歳(n=50)	エアロビクス・ヨガ	自転車・サイクリング	スポーツクライミング(ボルダリング等)	テニス・ソフトテニス	釣り	ウォーキング	バドミントン	トレーニング	乗馬	アイススケート他
		20.0	16.0	14.0			12.0		10.0		8.0
	40~49歳(n=70)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	アーチェリー他	登山他	テニス・ソフトテニス	乗馬	水泳	バドミントン	釣り	トレーニング
		22.9	12.9	10.0			8.6		7.1		5.7
	50~59歳(n=71)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	登山他	トレーニング	アーチェリー他	アクアエクササイズ	サーフィン他	ハイキング他	ボウリング	ヨット他
	19.7	16.9	15.5	12.7	5.6						
60~69歳(n=54)	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	トレーニング	卓球(ラージボール含む)	釣り	グラウンドゴルフ他	ボウリング	ゴルフ(コースでのラウンド)	ダンス	テニス・ソフトテニス	
		24.1	20.4	13.0	11.1		9.3		7.4		
70歳以上(n=24)	ウォーキング	グラウンドゴルフ他	アーチェリー他	トレーニング	ボウリング	レクリエーションスポーツ	体操	釣り	エアロビクス・ヨガ	ゲートボール	
		16.7			8.3				4.2		
市郡別	市(n=230)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	トレーニング	登山他	釣り	アーチェリー他	テニス・ソフトテニス	自転車・サイクリング	乗馬	バドミントン
		17.8	13.5	10.4	8.7	7.8	7.4	7.0			6.5
市郡別	郡(n=76)	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	登山他	テニス・ソフトテニス	トレーニング	バドミントン	自転車・サイクリング	釣り	ダンス	アクアエクササイズ
		21.1	18.4	14.5	10.5		7.9			6.6	5.3
職業別	常勤職(n=160)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	登山他	テニス・ソフトテニス	トレーニング	バドミントン	自転車・サイクリング	釣り	アーチェリー他	スポーツクライミング(ボルダリング等)
		18.8	13.1	10.0	8.8		8.1		7.5	6.9	
	自営業(家族従業員を含む)(n=23)	トレーニング	ウォーキング	キャンプ・オートキャンプ	ゴルフ(コースでのラウンド)	スキューバ他	テニス・ソフトテニス	ハイキング他	ヨット他	釣り	登山他
		17.4	13.0	8.7							
	パート・アルバイト(n=55)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	登山他	バドミントン	トレーニング	レクリエーションスポーツ	卓球(ラージボール含む)	ヨット他	乗馬	アーチェリー他
		30.9	23.6	12.7	10.9	9.1			7.3		5.5
	学生(n=5)	テニス・ソフトテニス	登山他	エアロビクス・ヨガ	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	サーフィン他	スキー	スキューバ他	スノーボード	器械体操・新体操・トランポリン	空手
	40.0			20.0							
主婦・主夫(n=28)	ウォーキング	アクアエクササイズ	エアロビクス・ヨガ	ボウリング	ダンス	グラウンドゴルフ他	トレーニング	レクリエーションスポーツ	乗馬	体操	
		25.0	14.3		10.7		7.1				
無職(n=34)	トレーニング	釣り	アーチェリー他	自転車・サイクリング	ウォーキング	グラウンドゴルフ他	乗馬	水泳	アクアエクササイズ	エアロビクス・ヨガ	
		20.6		11.8		8.8			5.9		

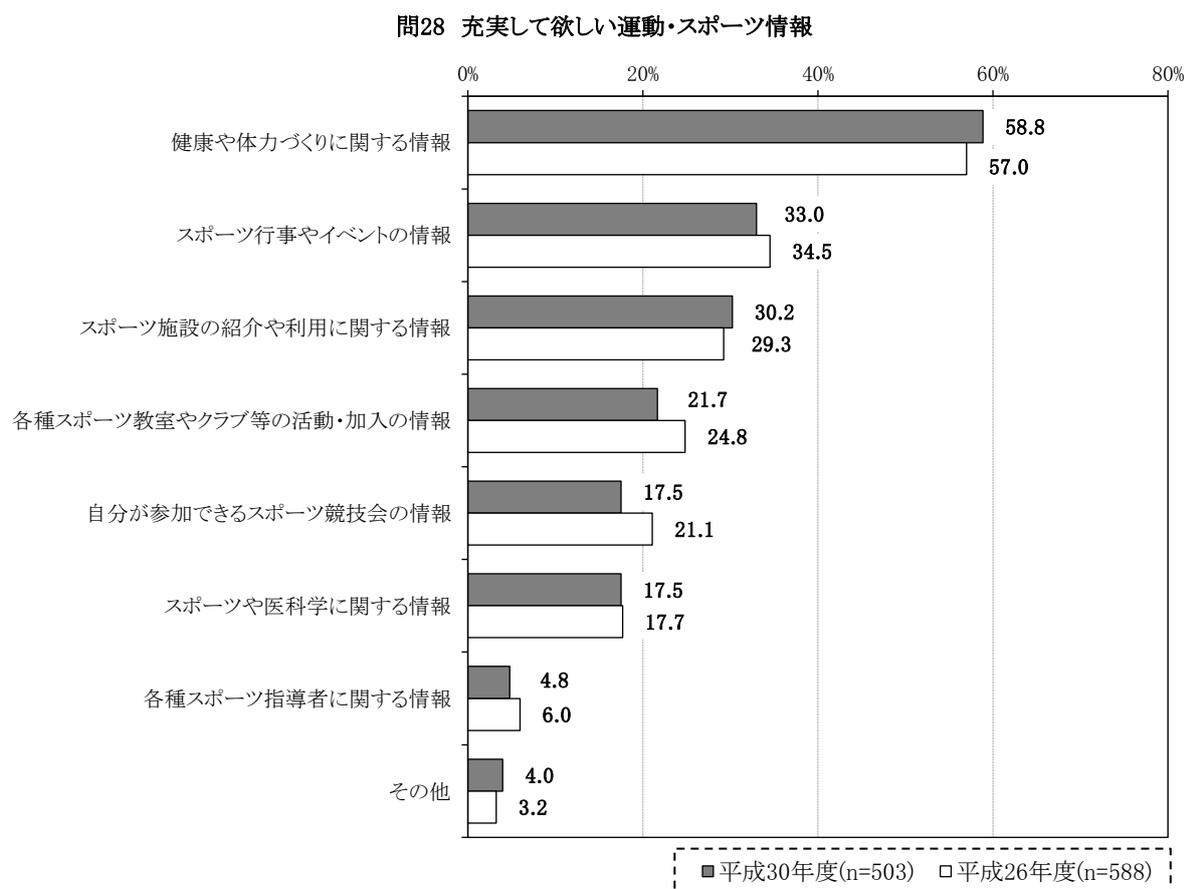
- ※アクアエクササイズ……アクアエクササイズ・水中ウォーキング
- ※ランニング……ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
- ※体操……体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
- ※グラウンド・ゴルフ他……グラウンド・ゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
- ※バレーボール他……バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール
- ※登山他……登山・トレイルランニング・ロッククライミング
- ※ハイキング他……ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング
- ※アーチェリー他……アーチェリー・弓道・射撃・クレール射撃
- ※ヨット他……ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットスキー
- ※アイススケート他……アイススケート・アイスホッケー・カーリング
- ※サーフィン他……サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウィンドサーフィン
- ※スキューバ他……スキューバダイビング・スキンドайビング・フリーダイビング

問 28. あなたは、今後どのような運動やスポーツに関する情報が充実すれば良いとお考えですか。(いくつでも○印)

【結果概要】「健康や体力づくり」、「イベント情報」や「スポーツ施設紹介」を希望

今後、充実を期待する運動やスポーツに関する情報は、「健康や体力づくりに関する情報」が 58.8%と最も多く、次いで「スポーツ行事やイベントの情報」が 33.0%、「スポーツ施設の紹介や利用に関する情報」が 30.2%、「各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の情報」が 21.7%と続き、健康や体力づくりに関する情報の充実を期待している。

前回調査と比較すると、同様の割合となっており、大きな変化は見られない。



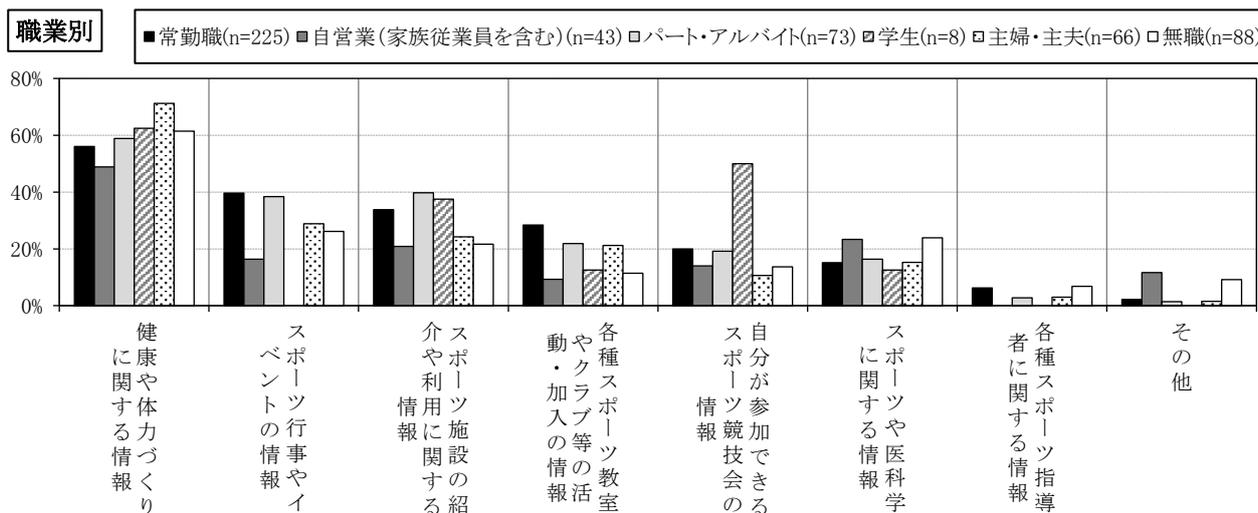
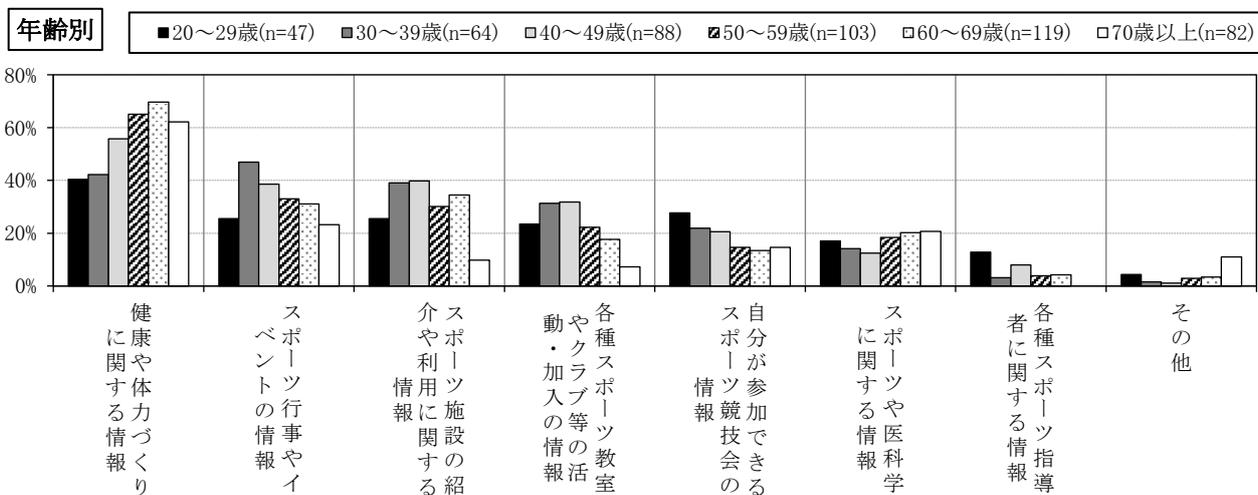
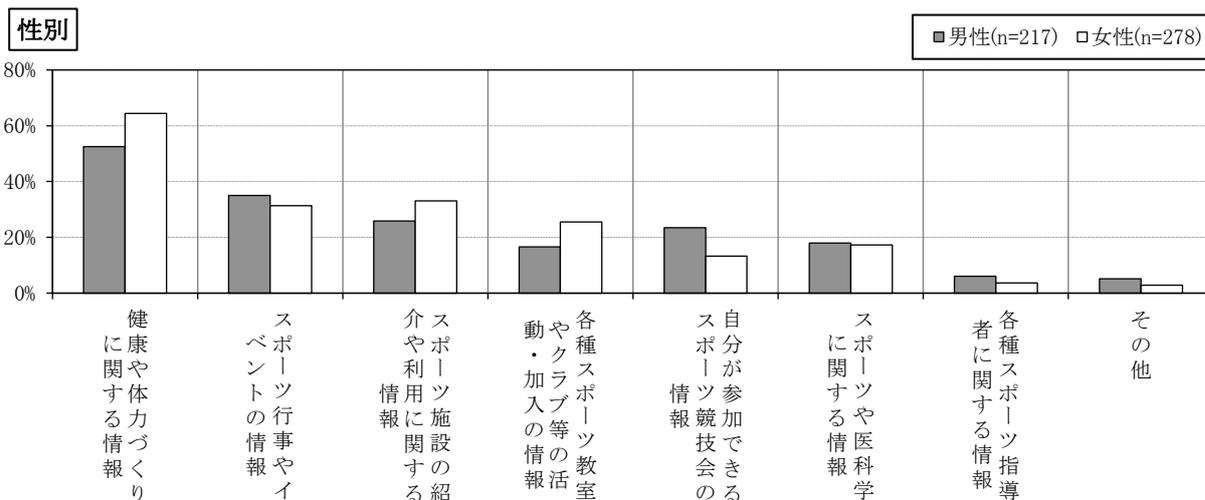
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」が多く、『女性』では「健康や体力づくりに関する情報」が多く見られる。

○年齢別で見ると、『20～29歳』は「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」「各種スポーツ指導者に関する情報」が多い一方、「スポーツ行事やイベントの情報」は少ない。また、『30～39歳』で「スポーツ行事やイベントの情報」が多く、また40歳以上で「健康や体力づくりに関する情報」が多く見られる。

○職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』では「スポーツ行事やイベントの情報」が多く、『主婦・主夫』では「健康や体力づくりに関する情報」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

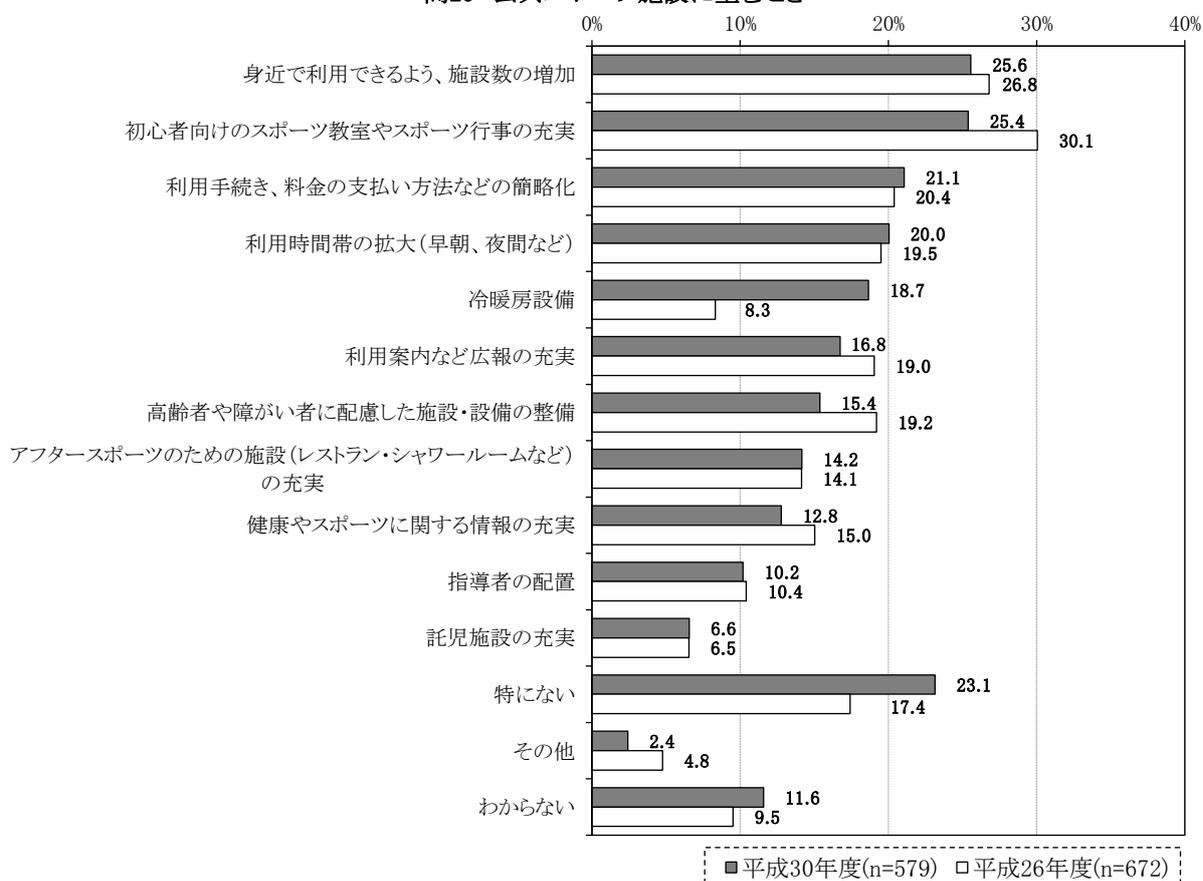
問 29. あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「施設数の増加」や「初心者向けのスポーツ行事等の充実」、「手続きなどの簡略化」を希望

公共スポーツ施設への希望は、「身近で利用できるよう、施設数の増加」が25.6%と最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が25.4%、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」が21.1%、「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」が20.0%、「冷暖房設備」が18.7%と続いており、施設数の増加を図り、初心者向けの教室や行事等の充実を期待している。

前回調査と比較すると、1位と2位が入れ替わっていることや、「冷暖房設備」を希望する意見が増加していることが挙げられる。

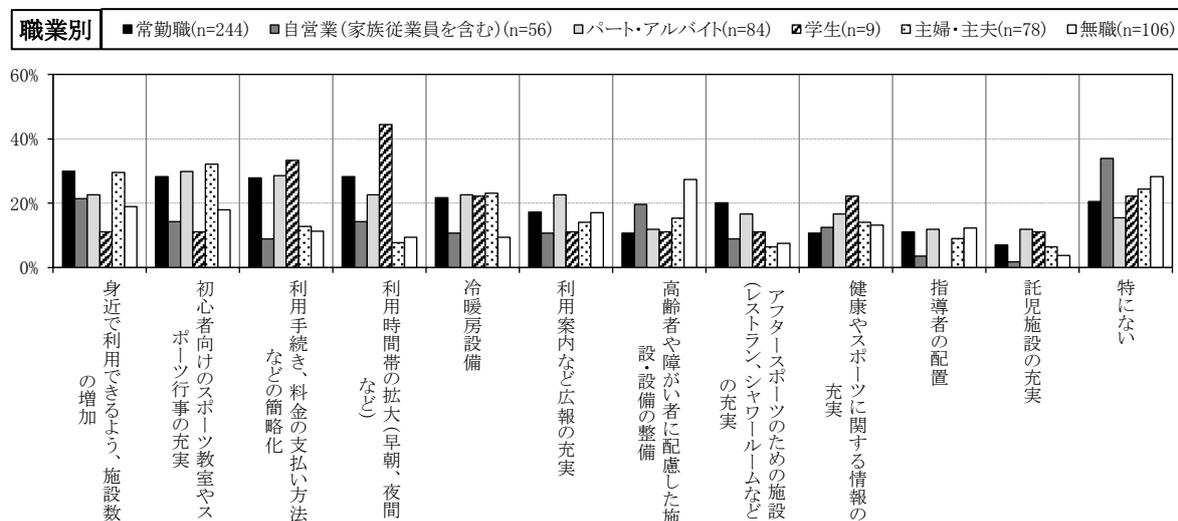
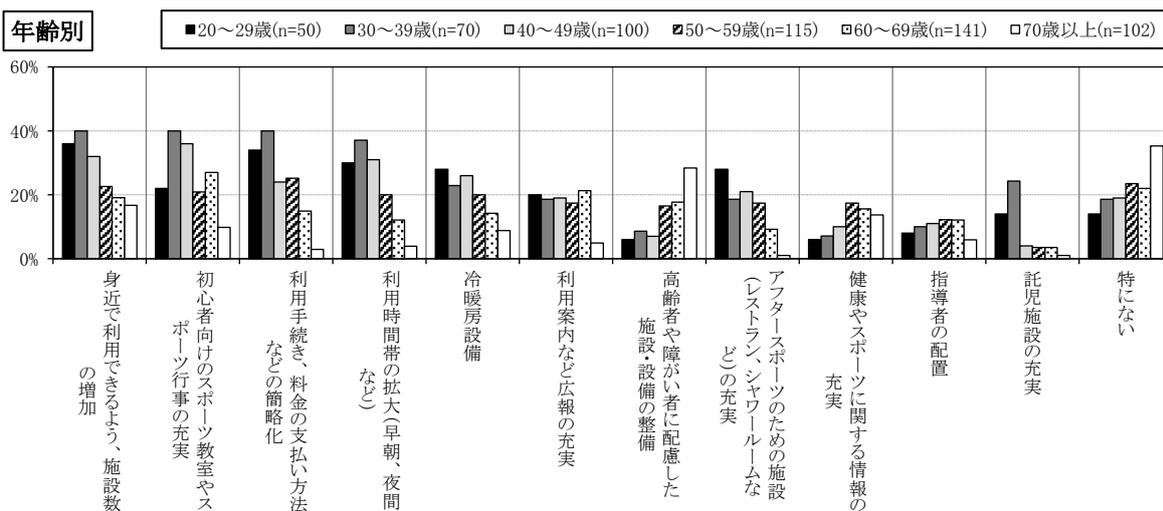
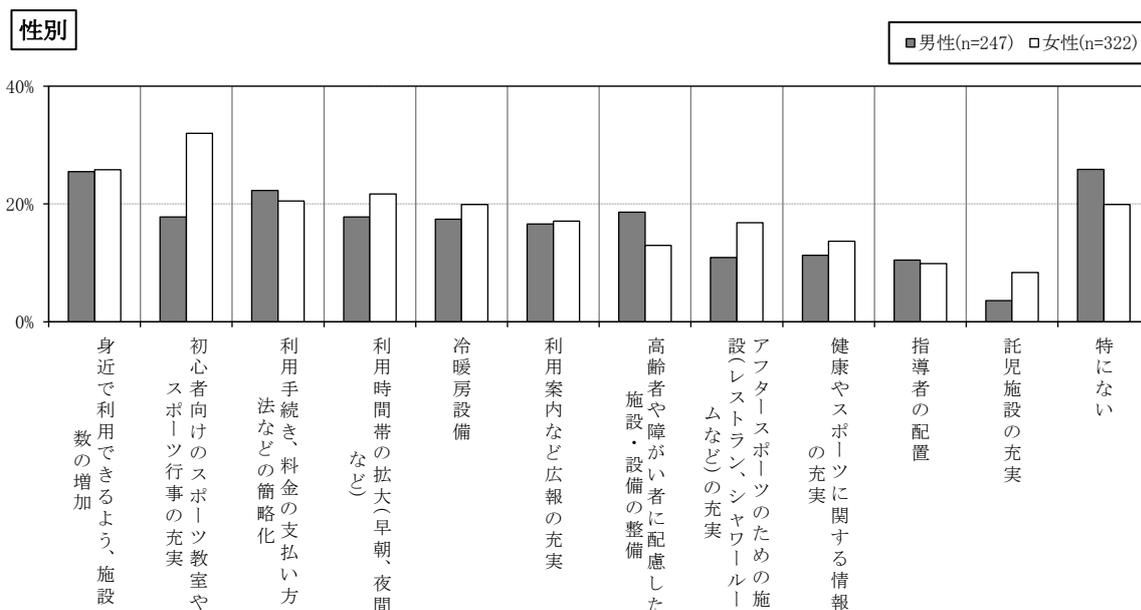
問29 公共スポーツ施設に望むこと



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が多く、『女性』では「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が多くみられる。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「アフタースポーツのための設備」、『30～39歳』で「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」、70歳代以上で「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が多くみられる。
- 職業別で見ると、『常勤職』で「身近で利用できるよう、施設数の増加」、『学生』で「利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）」、『主婦・主夫』で「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」、『無職』では「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

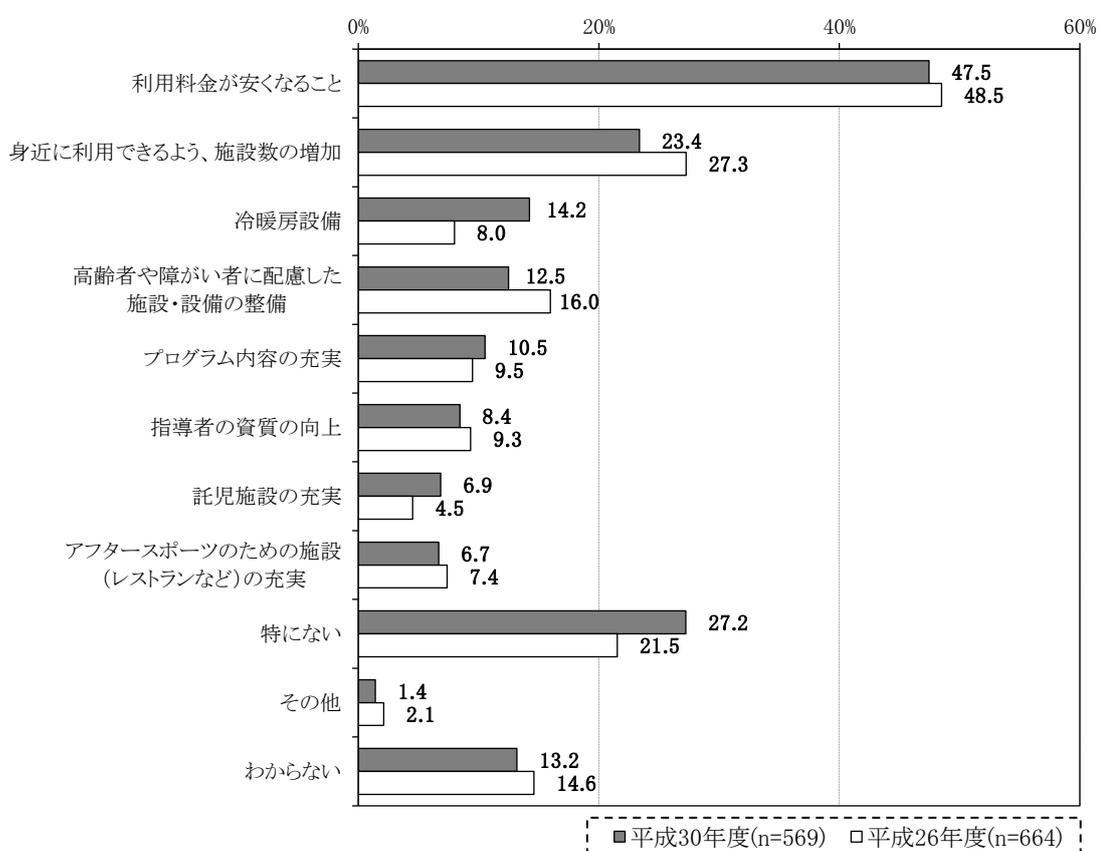
問 30. あなたは、フィットネスクラブ、スイミングクラブ、テニスクラブ、ゴルフ練習場などの民間スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「利用料金の引き下げ」を望んでいる人が47.5%

民間スポーツ施設への希望は、「利用料金が安くなること」が47.5%と最も多く、次いで「身近に利用できるよう、施設数の増加」が23.4%、「冷暖房設備」が14.2%、「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が12.5%、「プログラム内容の充実」が10.5%と続き、利用料金の引き下げや身近に利用できる施設の増加、冷暖房設備の整備にも期待している。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の割合となっているが「冷暖房設備」を希望する意見が増加している。

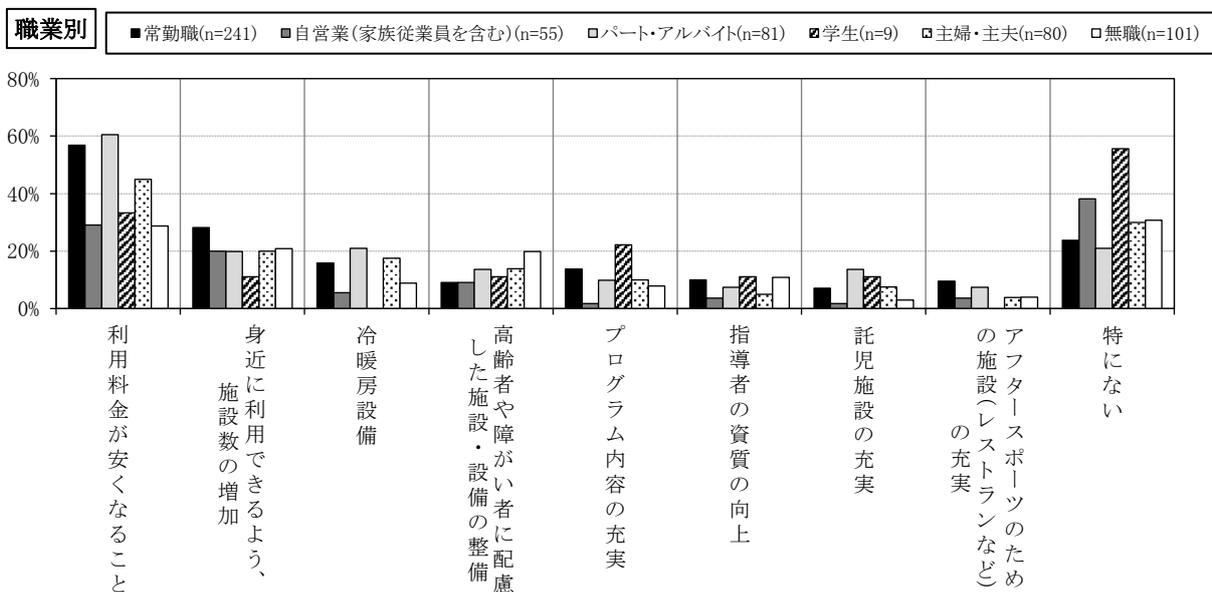
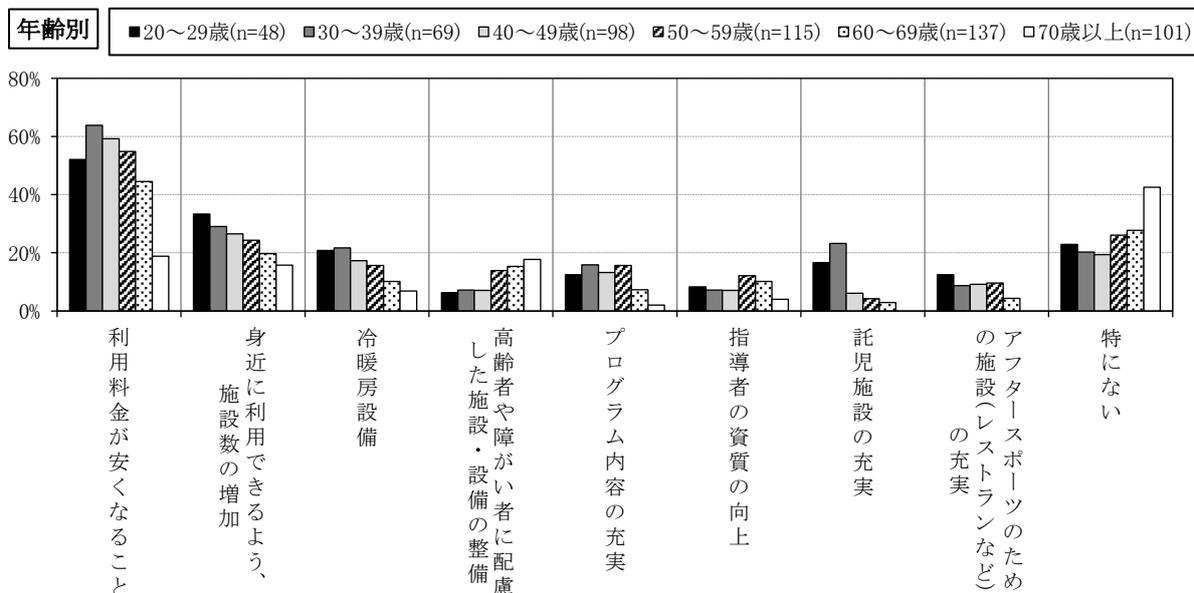
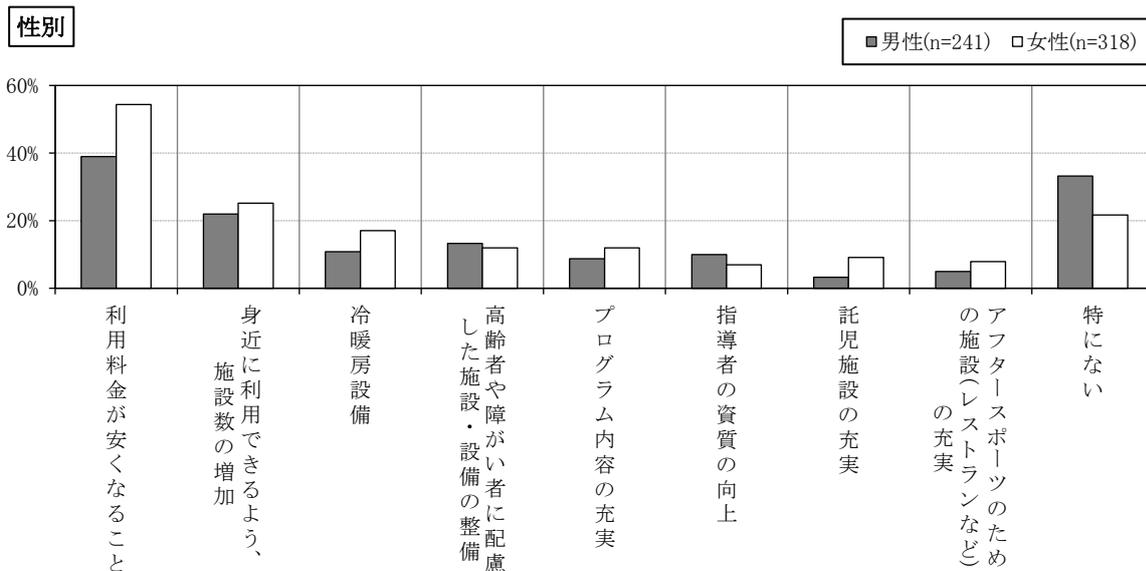
問30 民間スポーツ施設に望むこと



【結果の分析】

- 性別で見ると、『女性』は『男性』と比べて「利用料金が安くなること」が多い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「身近に利用できるよう、施設数の増加」を希望する意見が少なくなっている。また、『30～39歳』で「利用料金が安くなること」、「託児施設の充実」、『50歳以上』で「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』で「利用料金が安くなること」、また『パート・アルバイト』で「託児施設の充実」、『無職』で「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

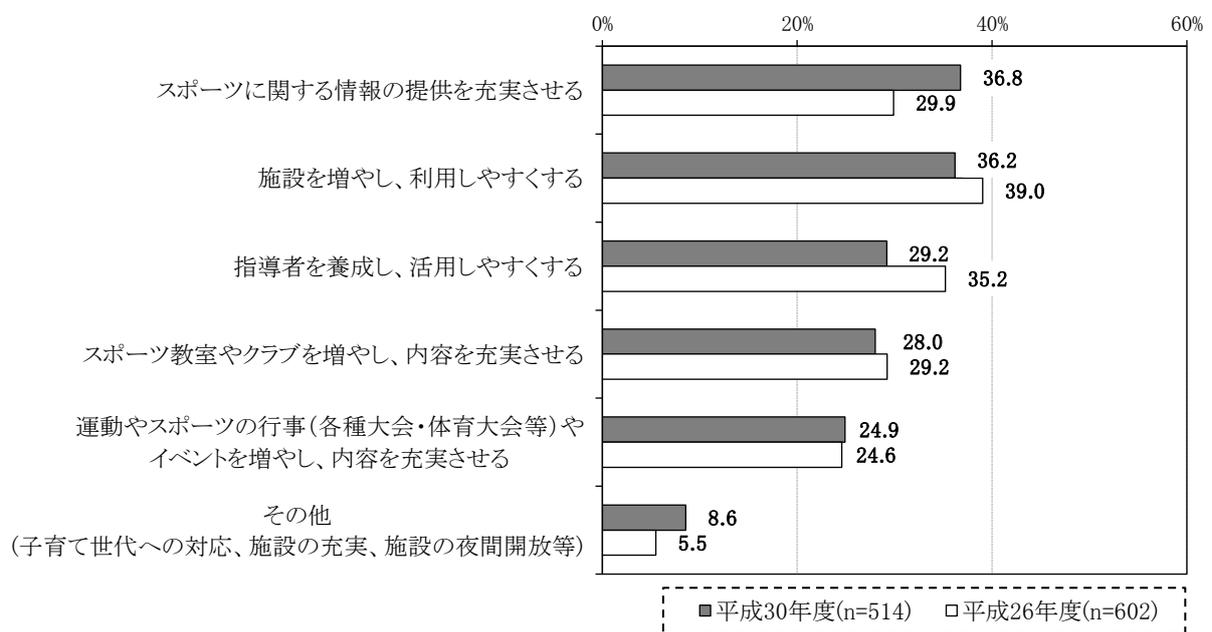
問 31. あなたは今後、運動やスポーツを普及・振興していく上で、最も力を入れるべきことは何だとお考えですか。(2つまで○印)

【結果概要】上位に「スポーツに関する情報提供」、「施設数の増加」

今後、運動・スポーツの普及・振興で力を入れるべきことは、「スポーツに関する情報の提供を充実させる」が 36.8%と最も多く、次いで「施設を増やし、利用しやすくする」が 36.2%、「指導者を養成し、利用しやすくする」が 29.2%、「スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる」が 28.0%と続いている。

前回調査と比較すると「スポーツに関する情報の提供を充実させる」が増加している。

問31 運動・スポーツの普及・振興で力を入れるべきこと

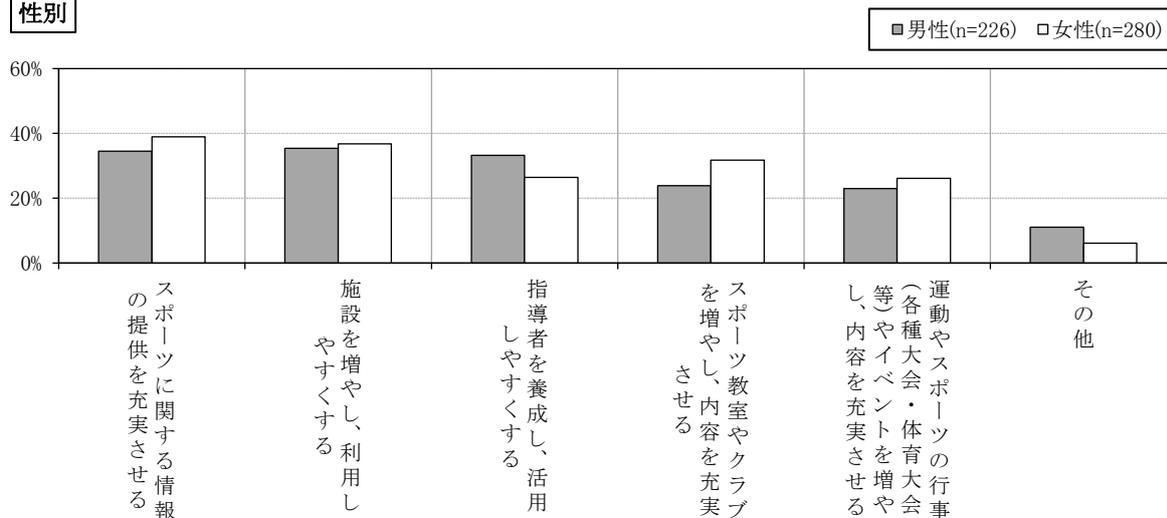


【結果の分析】

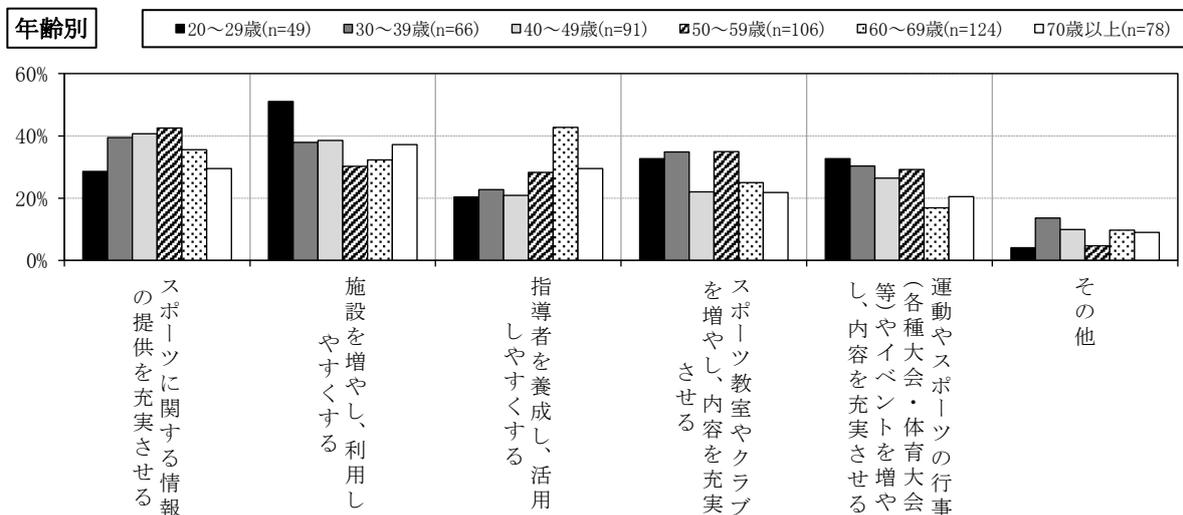
- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比べて「指導者を養成し、活用しやすくする」が多く、『女性』は『男性』と比べて「スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる」が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「施設を増やし、利用しやすくする」が多く、『60～69歳』で「指導者を養成し、活用しやすくする」が多い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』で「スポーツに関する情報の提供を充実させる」、
「学生」で「運動やスポーツの行事やイベントを増やし、内容を充実させる」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】

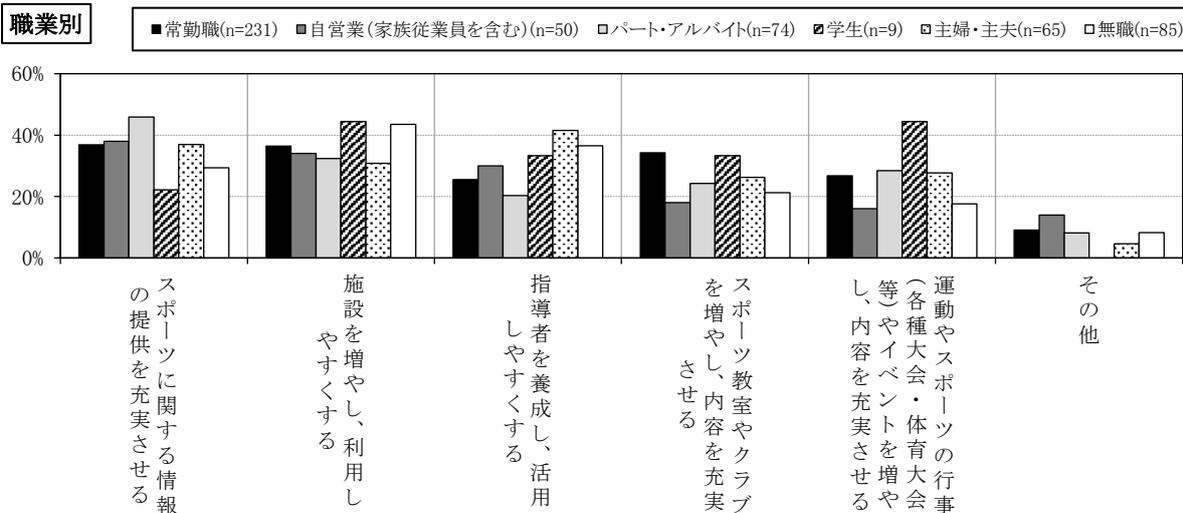
性別



年齢別



職業別



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

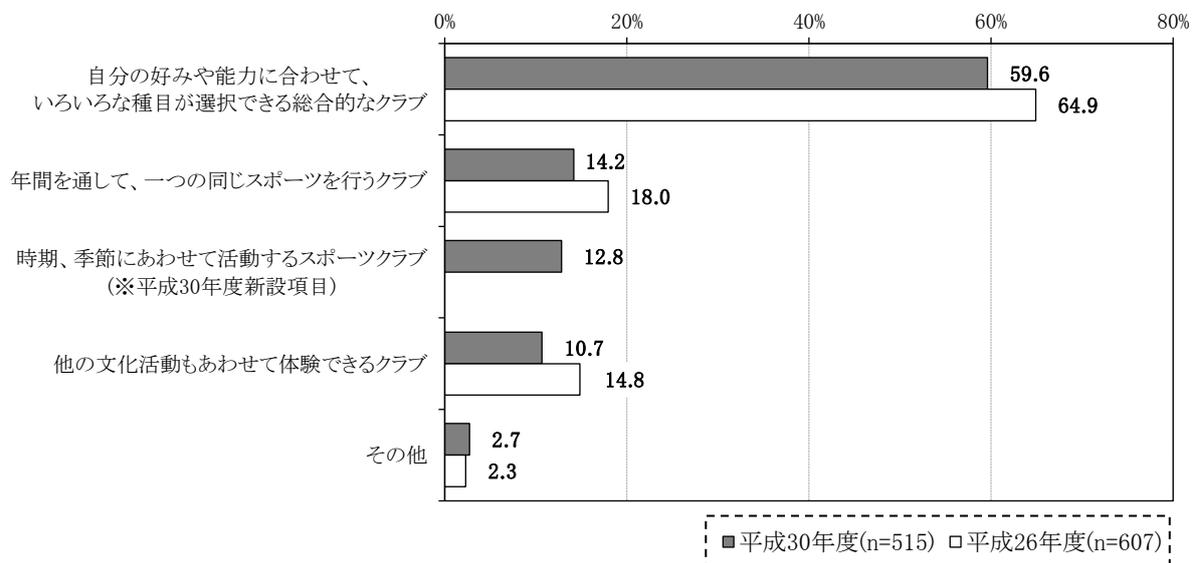
問 32. あなたは、学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについて、どのような形態が望ましいとお考えですか。(1つだけ〇印)

【結果概要】「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」を希望

学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについてどのような形態が望ましいか聞いたところ、「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が59.6%と半数以上を占め、次いで「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」が14.2%、「時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ」が12.8%と続いており、自分で種目を選ぶことができるクラブ形態を望む意見が多くみられる。

前回調査と比較すると、新規項目の「時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ」も比較的多い意見としてあがっている。

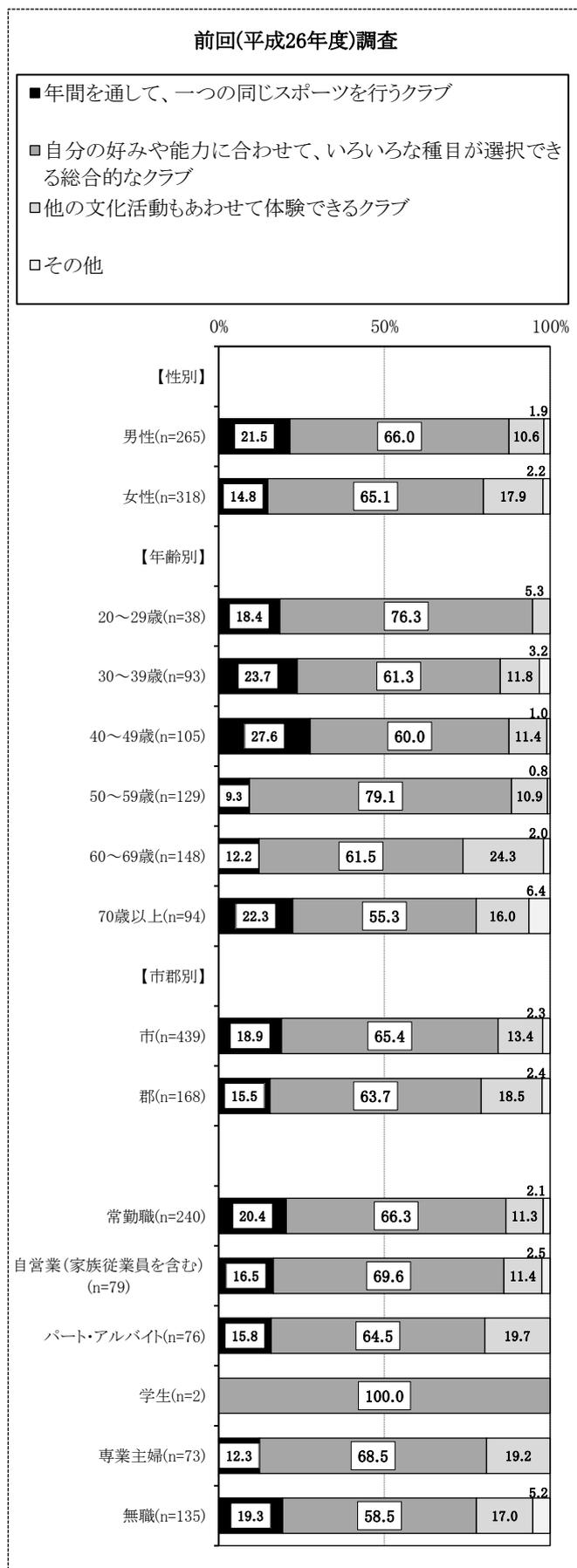
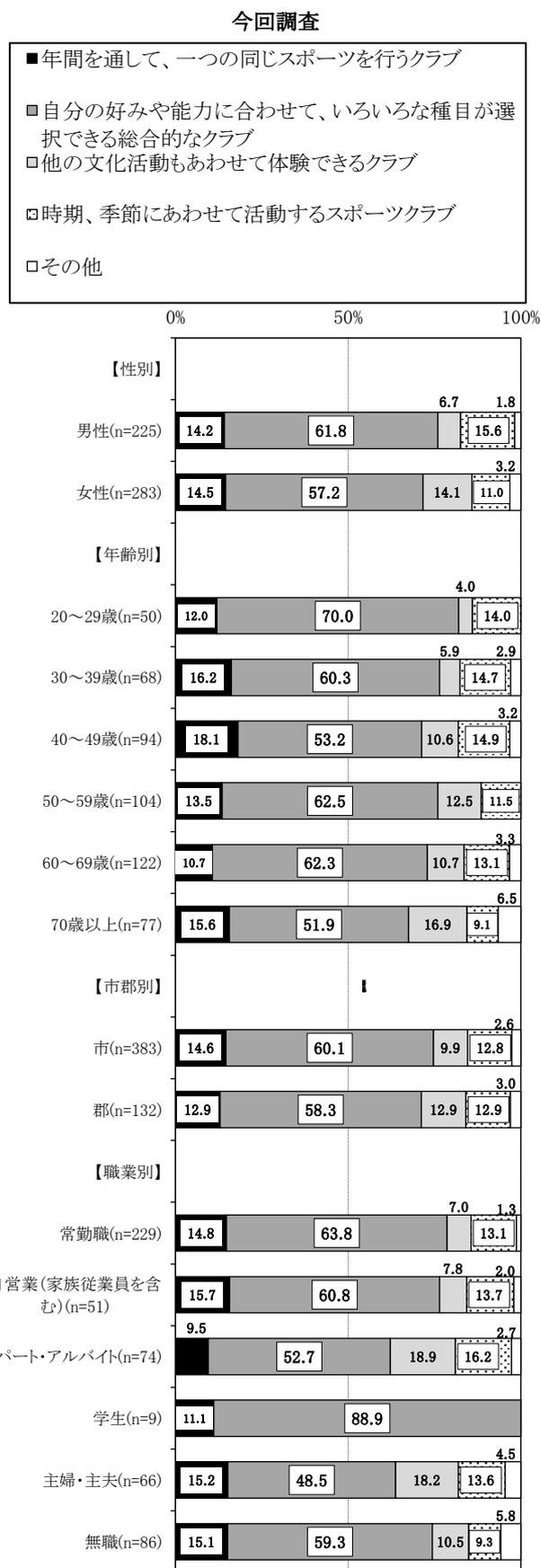
問32 スポーツクラブに望む形態



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が多く、『女性』では「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」が多い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」が多くなっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』で「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」がやや多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』で「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」が多く、『主婦・主夫』『パート・アルバイト』では「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



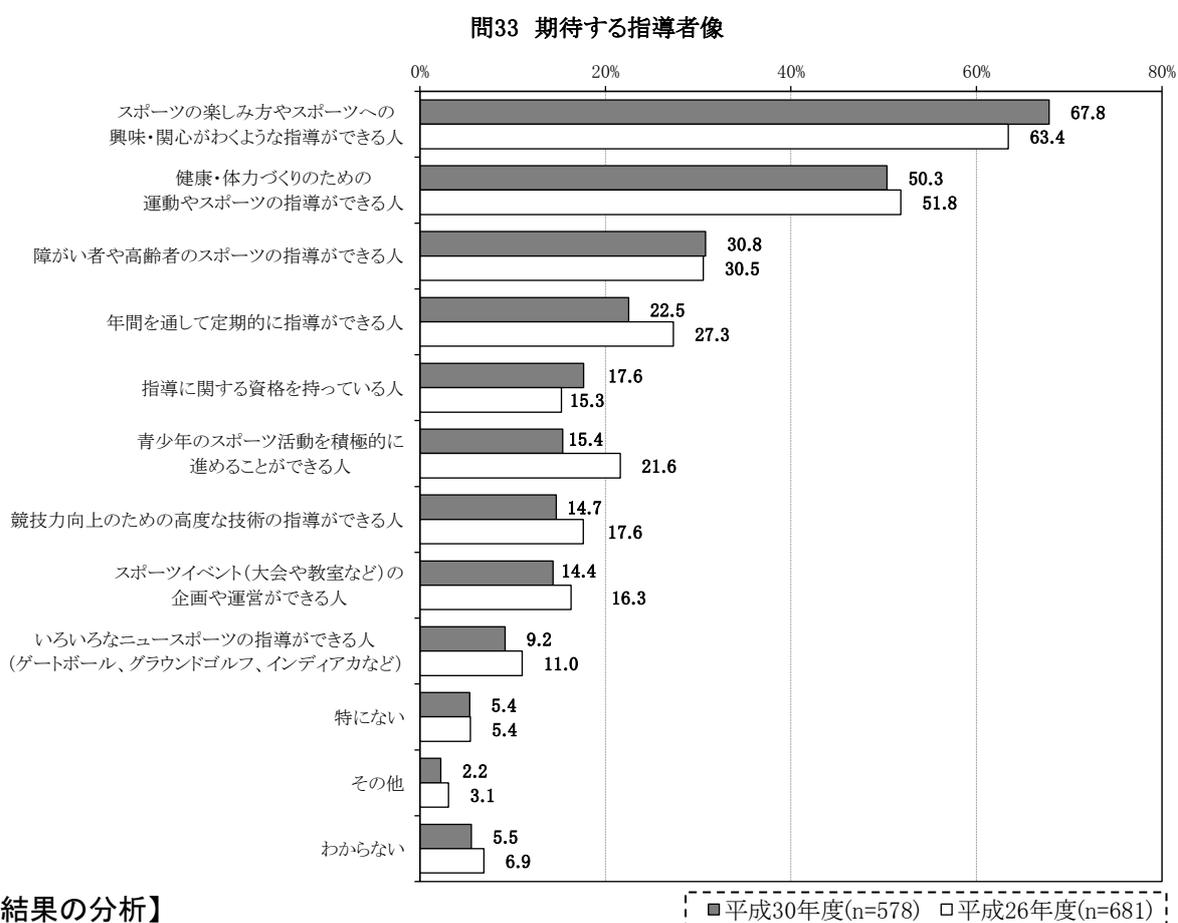
(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 33. あなたは、運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「スポーツの楽しさや興味・関心がわくような指導ができる人」が必要

運動やスポーツを行う上で必要なスポーツ指導者は、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が67.8%と最も多く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」、「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」、「年間を通して定期的に指導ができる人」と続いている。

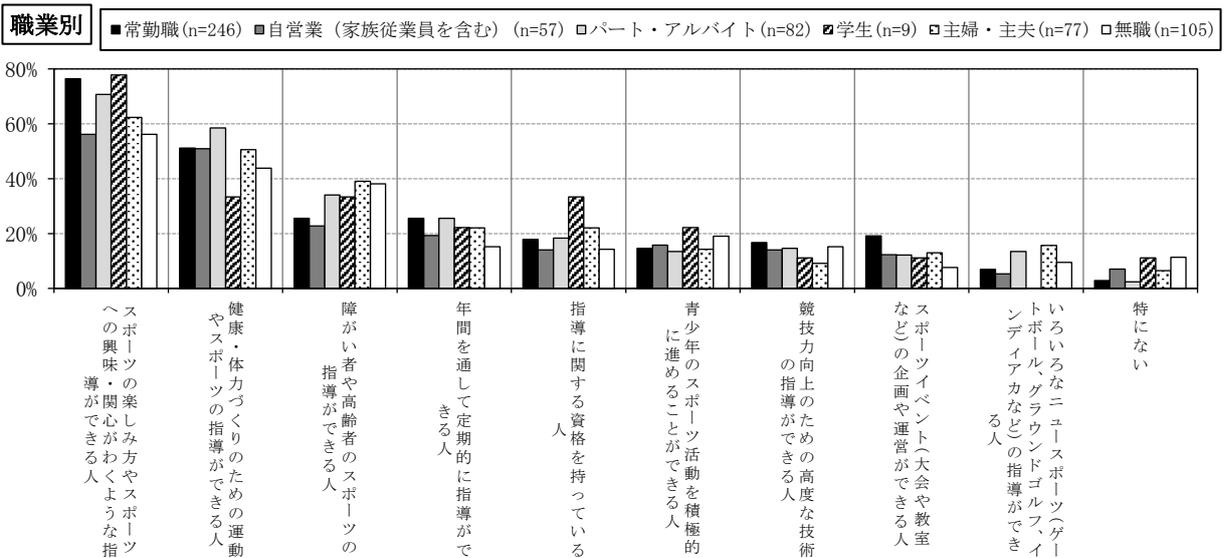
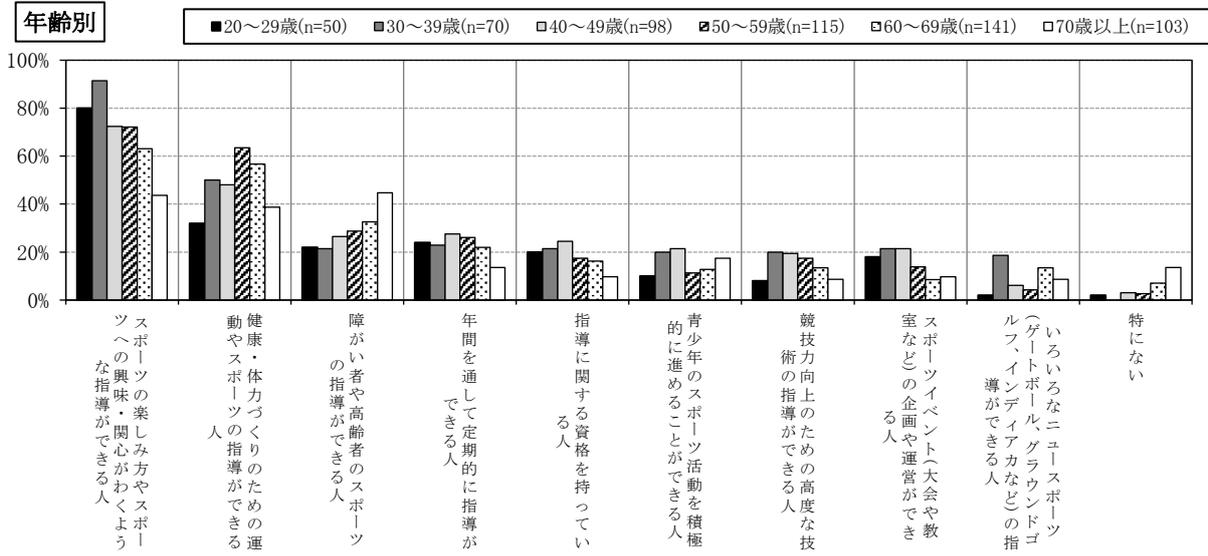
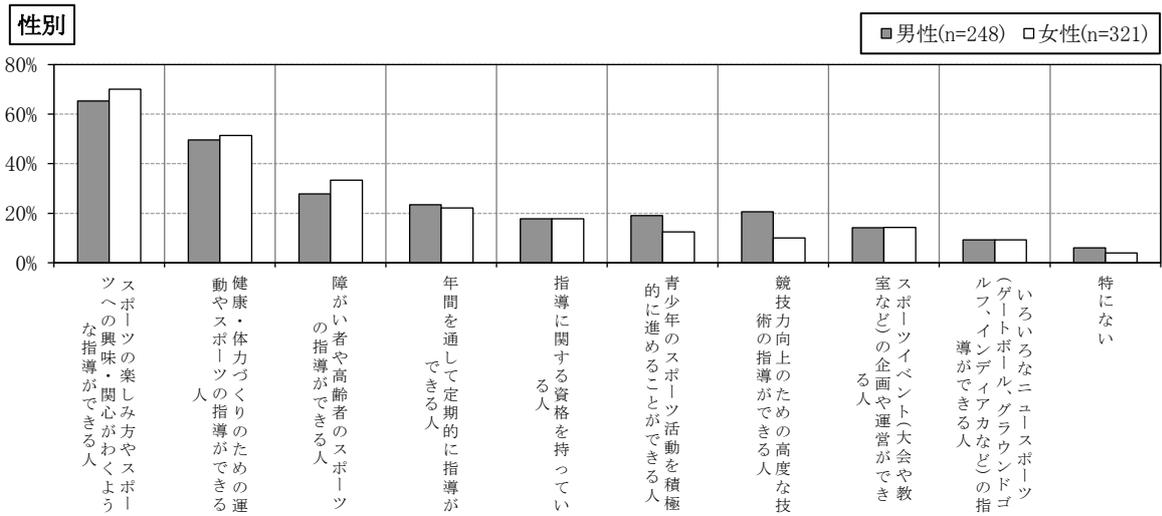
前回調査と比較すると、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」は増えている一方、「年間を通して定期的に指導ができる人」「青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」は減っている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』とも「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』、『30～39歳』で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、『50～59歳』で「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」、『70歳以上』で「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』『学生』で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、『主婦・主夫』『無職』で「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」、『パート・アルバイト』で「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 34. あなたは、地域におけるスポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。

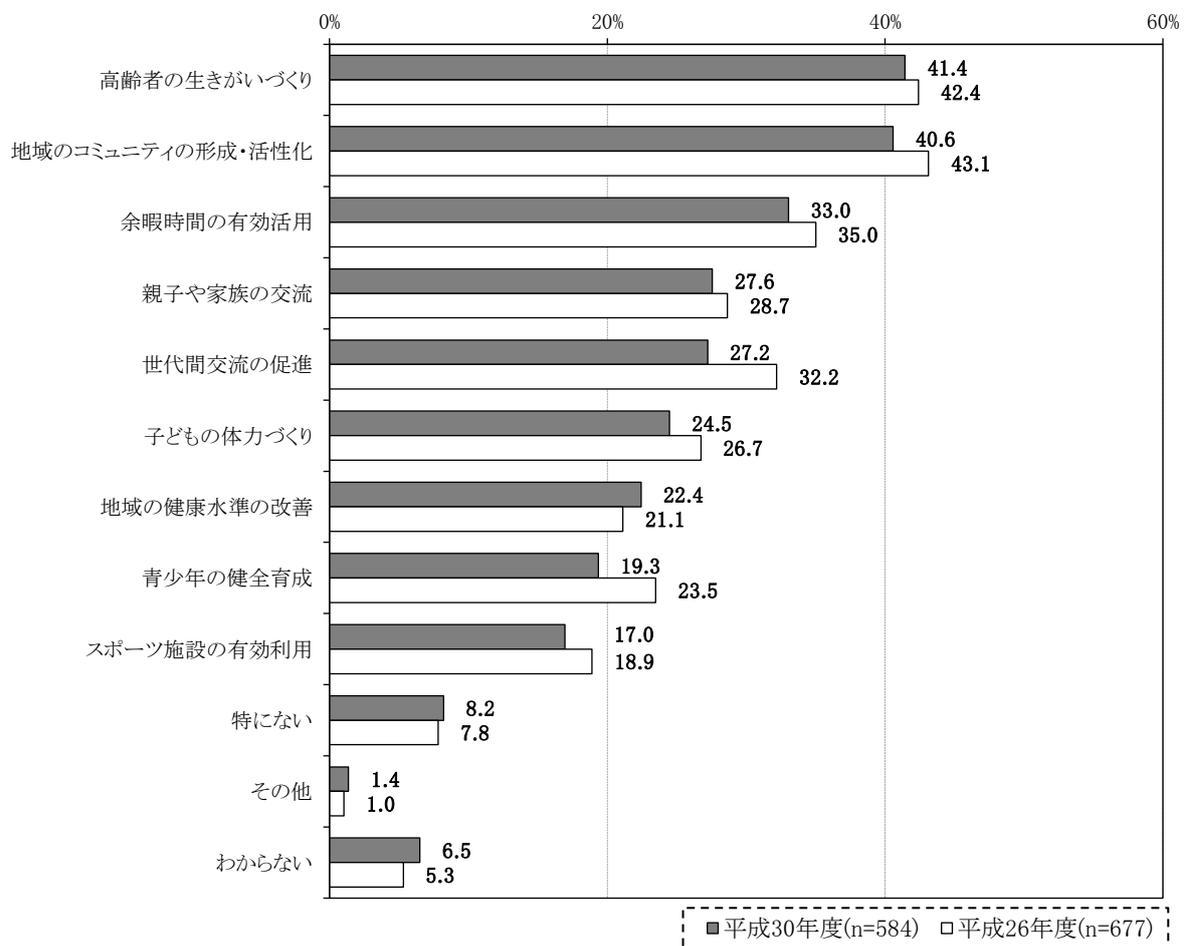
(いくつでも○印)

【結果概要】「高齢者の生きがいづくり」や「地域コミュニティの形成・活性化」等に期待

地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待するか聞いたところ、「高齢者の生きがいづくり」が41.4%と最も多く、次いで「地域のコミュニティの形成・活性化」が40.6%、「余暇時間の有効活用」が33.0%、「親子や家族の交流」が27.6%、「世代間交流の促進」が27.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「地域の健康水準の改善」が1.3ポイント増えている。

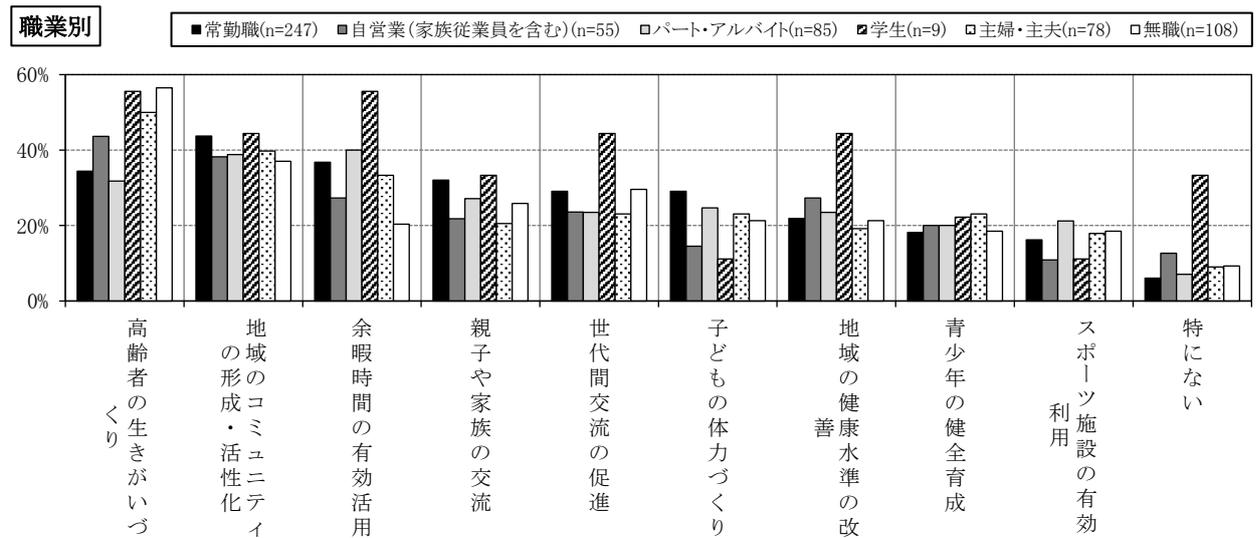
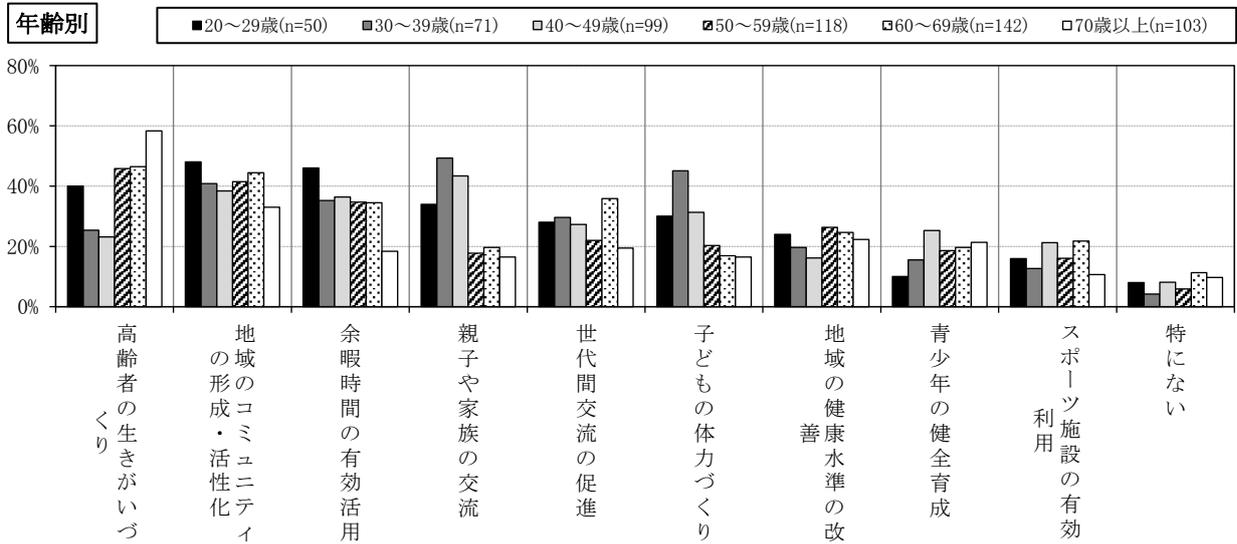
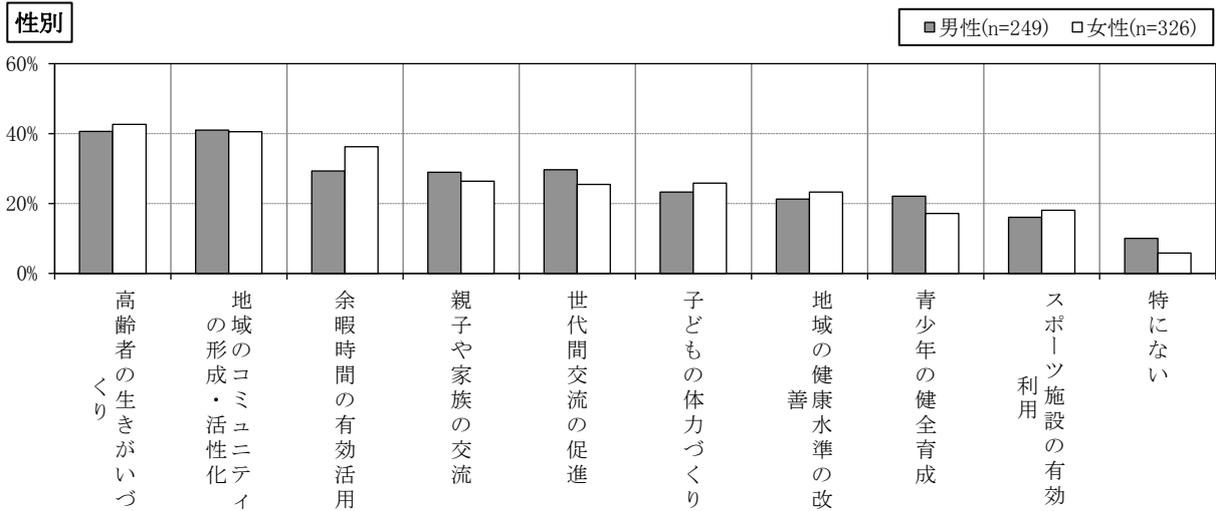
問34 地域におけるスポーツ振興への期待



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「世代間交流の促進」「青少年の健全育成」が多く、『女性』は「余暇時間の有効活用」が多い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「余暇時間の有効活用」「地域のコミュニティの形成・活性化」、『30～39歳』では「親子や家族の交流」「子どもの体力づくり」、『70歳以上』では「高齢者の生きがいづくり」が多い。
- 職業別で見ると、『常勤職』は「子どもの体力づくり」、『学生』は「余暇時間の有効活用」、『主婦・主夫』『無職』では「高齢者の生きがいづくり」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

＜その他の項目＞

問 35. ① あなたは、各地域に設置されている「総合型地域スポーツクラブ（※）」の取組を知っていますか。（1つだけ○印）

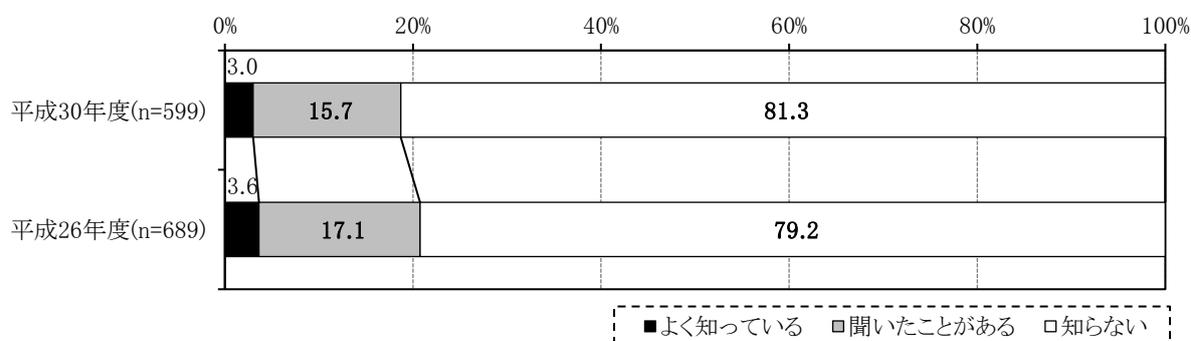
※総合型スポーツクラブとは、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことをいう。

【結果概要】総合型地域スポーツクラブを「知っている」が18.7%

「総合型地域スポーツクラブ」の取組は、「知らない」が81.3%となっている。一方、「よく知っている」は3.0%、「聞いたことがある」は15.7%と、認知度は低い。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の割合となっており、変化は見られない。

問35-① 総合型地域スポーツクラブの認知度

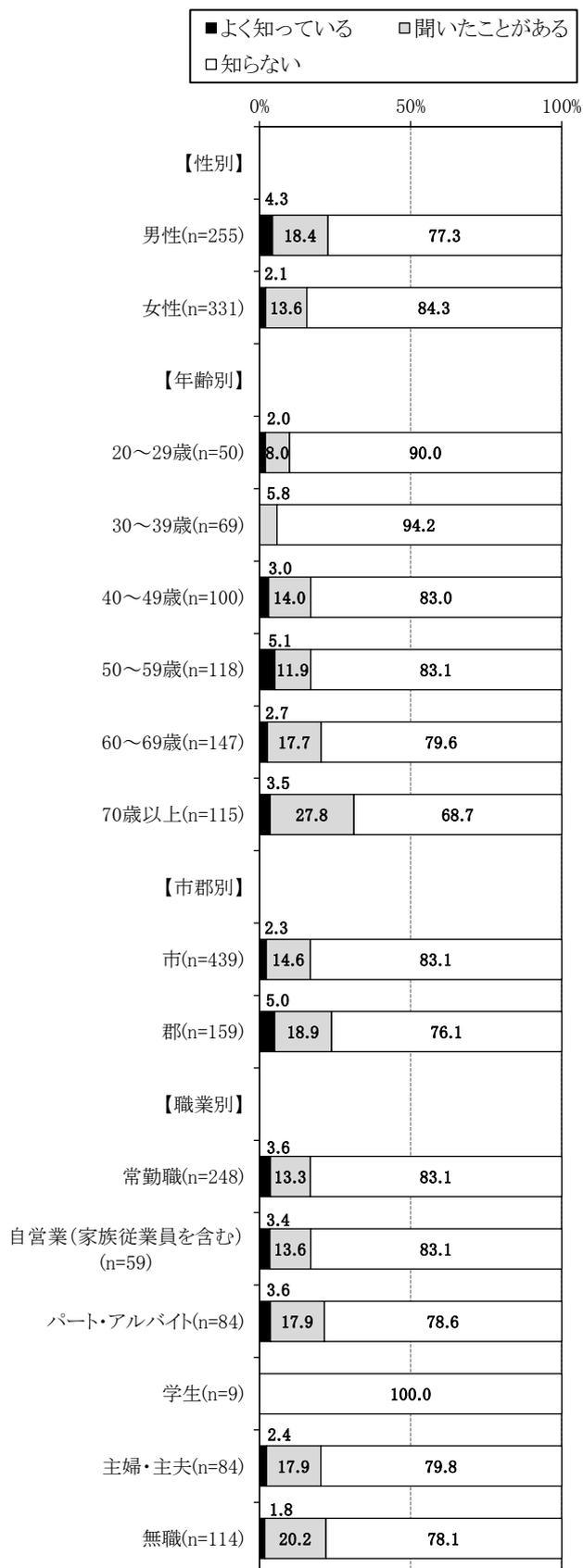


【結果の分析】

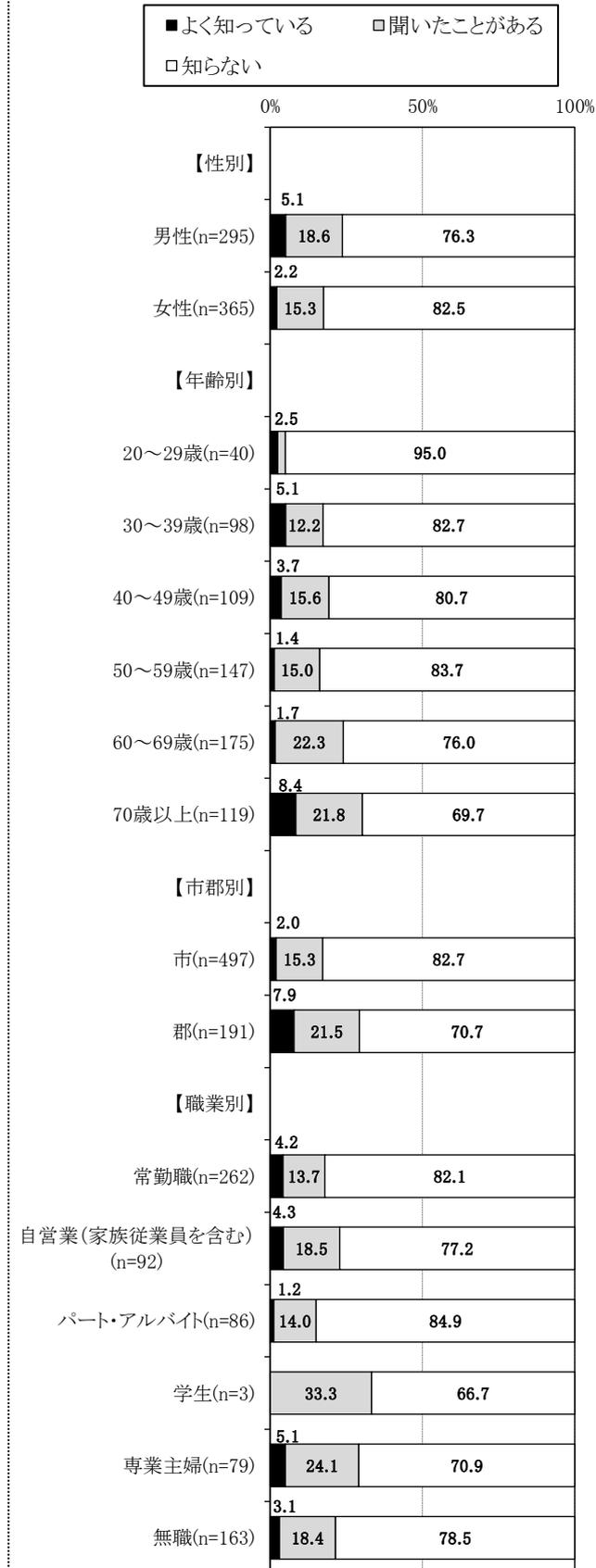
- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比べて「よく知っている」「聞いたことがある」が僅かながら多い。
- 年齢別で見ると、40歳代以上では、他の年齢層と比べて「よく知っている」「聞いたことがある」が多くみられる。『20～29歳』『30～39歳』では、ほとんどが「知らない」と答えている。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比べて「よく知っている」「聞いたことがある」が多い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』『主婦・主夫』『無職』で「よく知っている」「聞いたことがある」がやや多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回調査



前回(平成26年度)調査



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

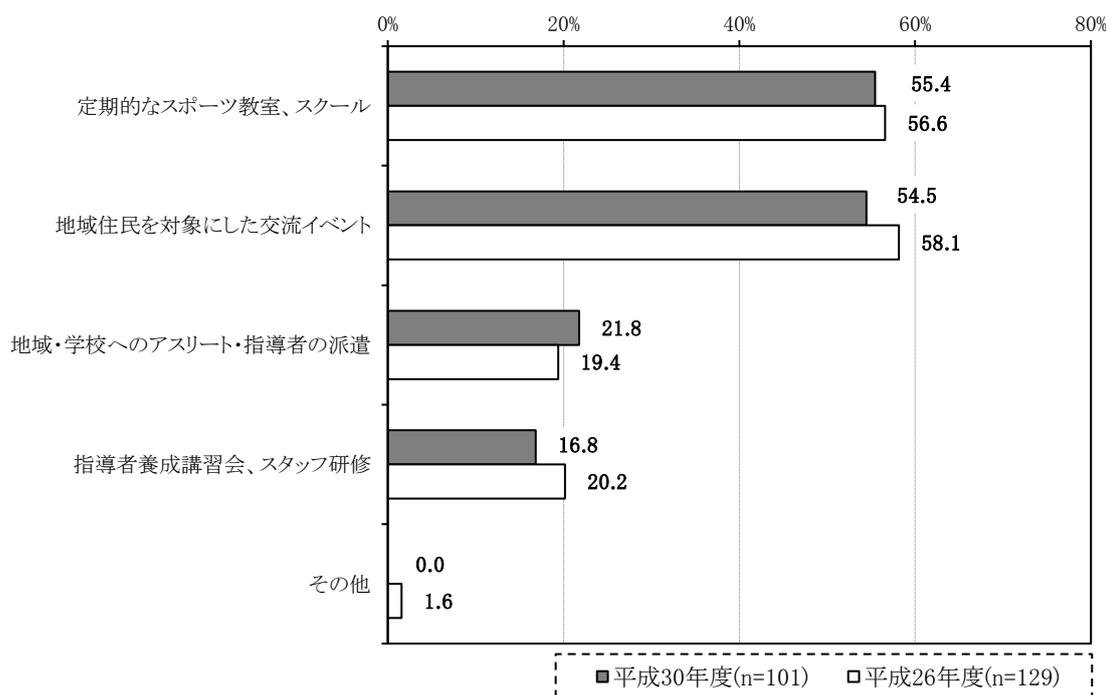
② 総合型地域スポーツクラブのどのような取組を期待しますか。(いくつでも○印)

【結果概要】上位に「定期的なスポーツ教室」、「地域住民を対象とした交流イベント」

総合型地域スポーツクラブに期待する取組は、「定期的なスポーツ教室、スクール」が55.4%、「地域住民を対象にした交流イベント」が54.5%と、地域に密着した交流イベントやスポーツ教室、スクールなどの開催を期待している。

前回調査と比較すると、「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」が増加している。

問35-② 総合型スポーツクラブに期待する取組



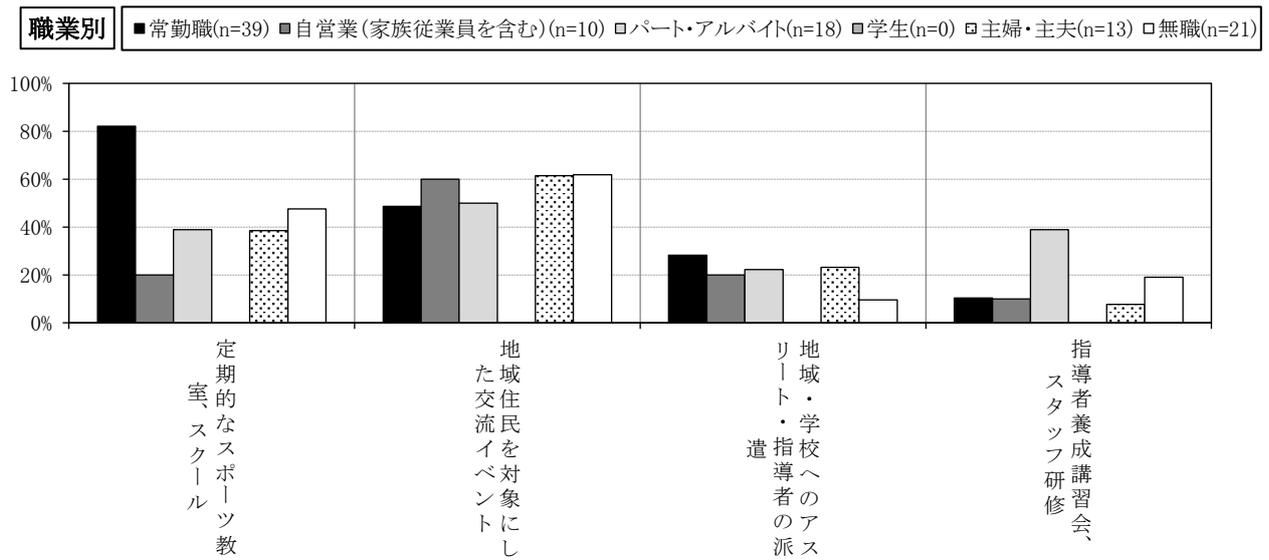
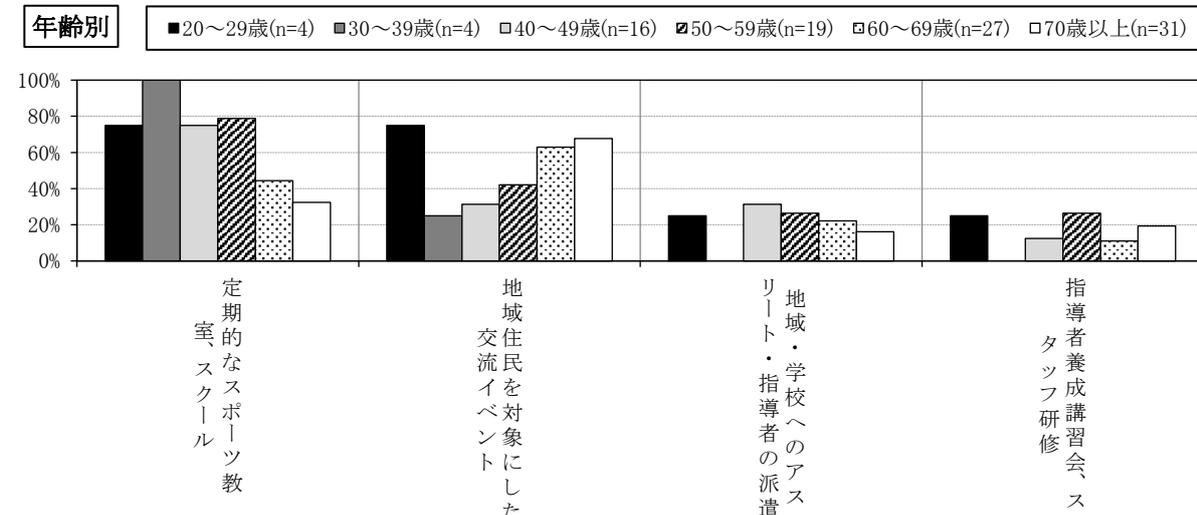
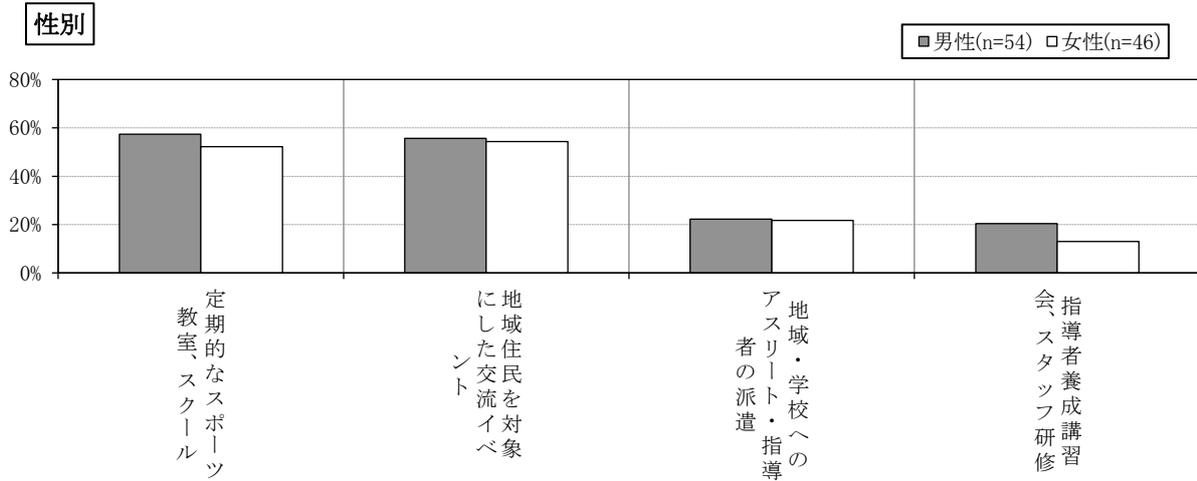
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』とも「定期的なスポーツ教室、スクール」「地域住民を対象にした交流イベント」が多い。

○年齢別で見ると、『20～29歳』『60歳以上』で「地域住民を対象にした交流イベント」、『30～39歳』で「定期的なスポーツ教室、スクール」、『40～49歳』で「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」、『50～59歳』で「指導者養成講習会、スタッフ研修」が多い。

○職業別で見ると、『常勤職』で「定期的なスポーツ教室、スクール」、『自営業』『主婦・主夫』『無職』で「地域住民を対象にした交流イベント」、『パート・アルバイト』で「指導者養成講習会、スタッフ研修」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

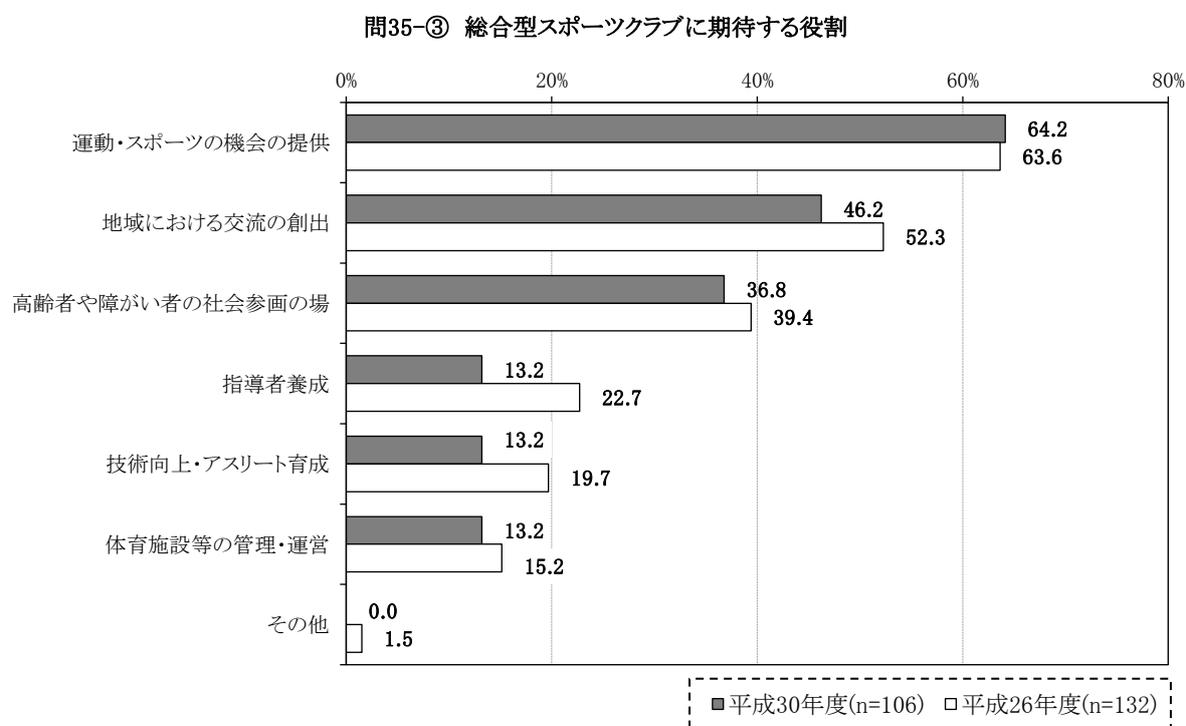
【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

③ 総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待しますか。(いくつでも○印)

【結果概要】県民、高齢者、障がい者が「運動・スポーツを行う機会の提供」や「地域交流創出」を期待

総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待するか聞いたところ、「運動・スポーツの機会の提供」が64.2%と最も多く、次いで「地域における交流の創出」が46.2%、「高齢者や障がい者の社会参画の場」が36.8%、「指導者養成」「技術向上・アスリート育成」が13.2%と続き、県民の運動や機会の提供や地域における交流の場を創出する役割を期待している。

前回調査と比較すると、「運動・スポーツの機会の提供」は微増しているが、「地域における交流の創出」「高齢者や障がい者の社会参画の場」などは減っている。



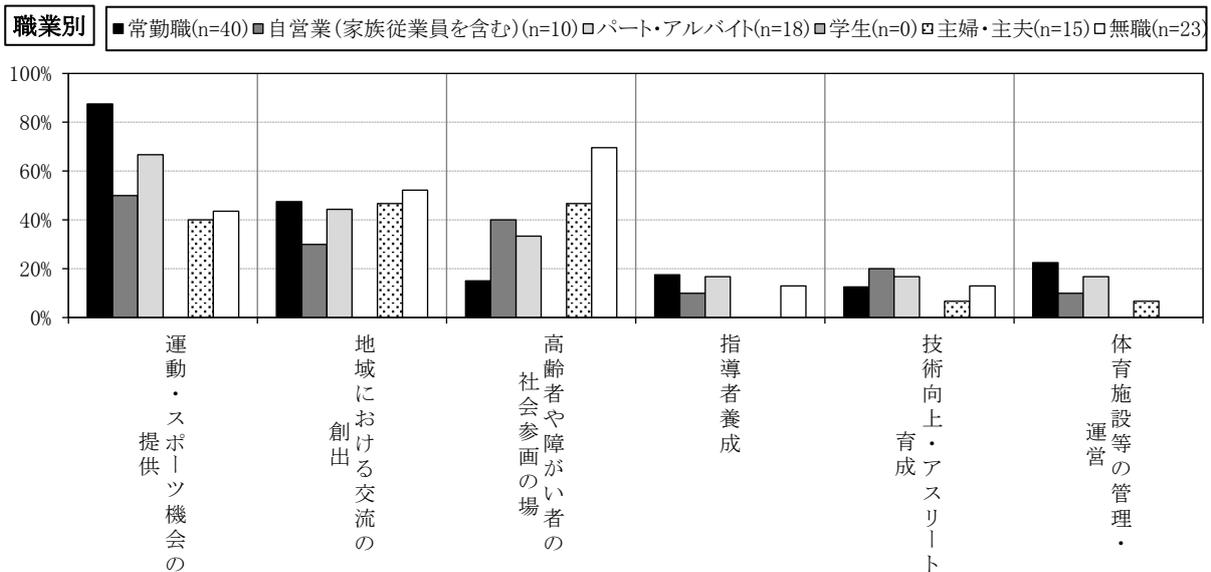
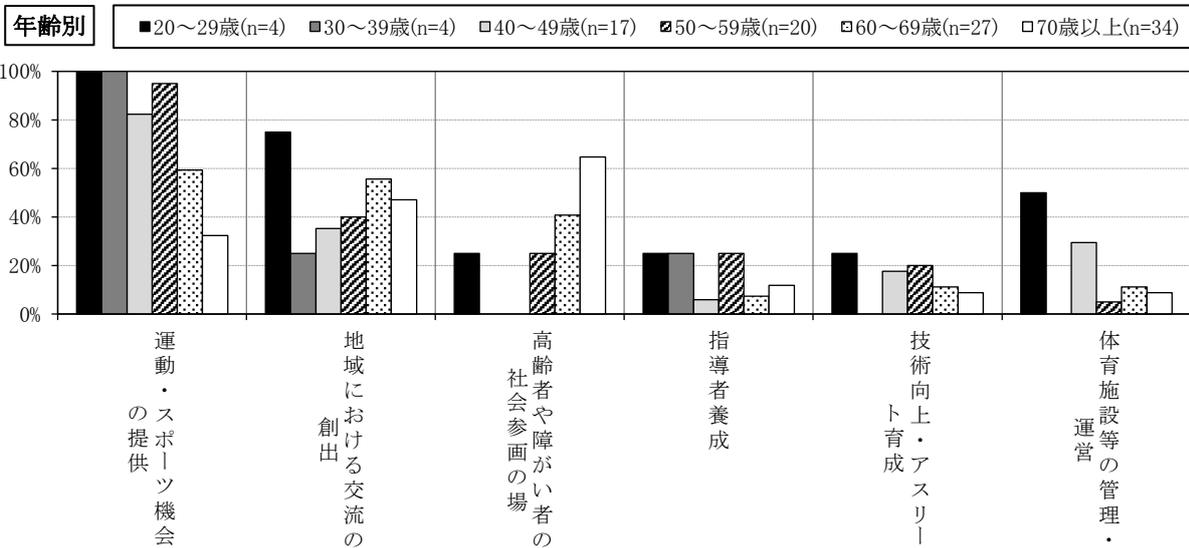
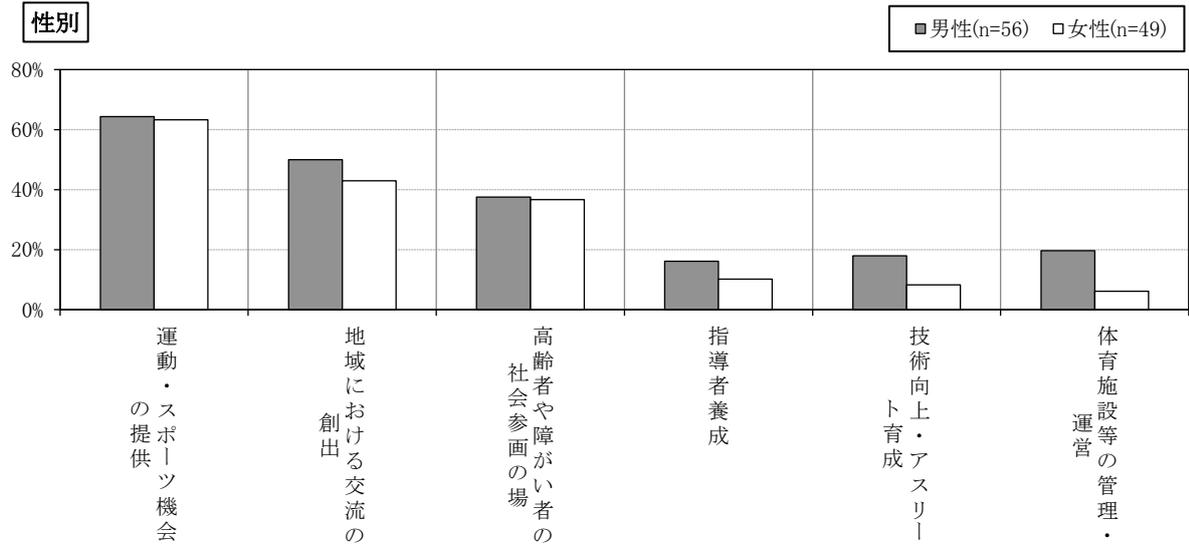
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』とも「運動・スポーツの機会の提供」が多いが、『男性』は「体育施設等の管理・運営」「技術向上」が多くみられる。

○年齢別で見ると、『20～29歳』『30～39歳』で「運動・スポーツの機会の提供」、『70歳以上』で「高齢者や障がい者の社会参画の場」が多い。

○職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』で「運動・スポーツの機会の提供」、『無職』では「高齢者や障がい者の社会参画の場」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

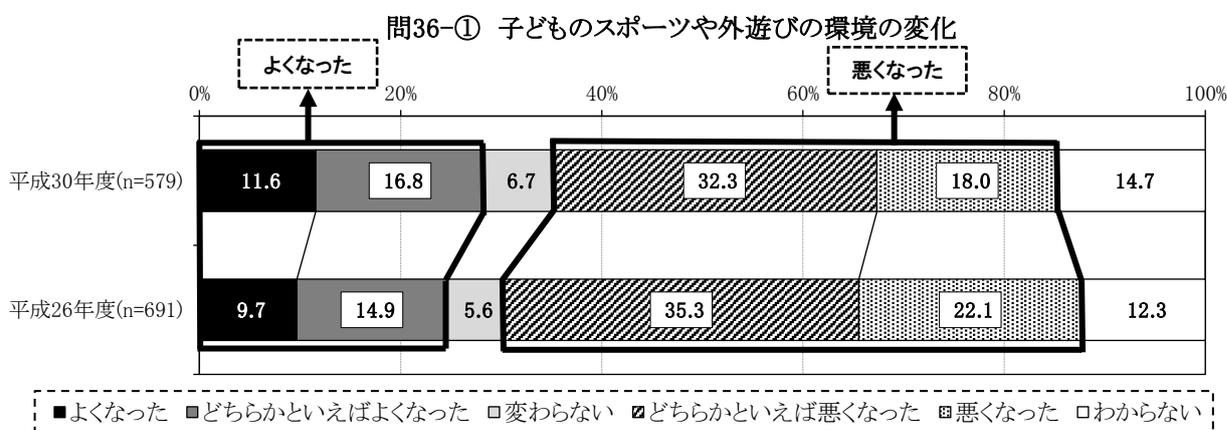
問 36. ① あなたは、ご自身の子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや外遊びの環境はどのようになったと感じますか。(1つだけ〇印)

【結果概要】自分が子どもの頃と比較して「よくなった」と感じる人は28.4%

今の子どものスポーツや外遊びの環境は、自分の子どもの頃と比較して「よくなった」が11.6%、「どちらかといえばよくなった」が16.8%と、3割弱(合計28.4%)が「よくなった」と答えている。

一方、「悪くなった」が18.0%、「どちらかといえば悪くなった」が32.3%と、約5割(合計50.3%)が「悪くなった」と答え、「悪くなった」が「よくなった」を21.9ポイント上回っている。

しかし、前回調査と比較すると、「よくなった」は24.6%から28.4%に増え、「悪くなった」は57.4%から50.3%へ減少していることから、改善したと感じる意見が増えている。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「よくなった」「どちらかといえばよくなった」が合計35.7%と『女性』と比べて12.9ポイント多い一方、『女性』は「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」が合計55.2%と『男性』と比べて10.6ポイント多く、半数以上となっている。

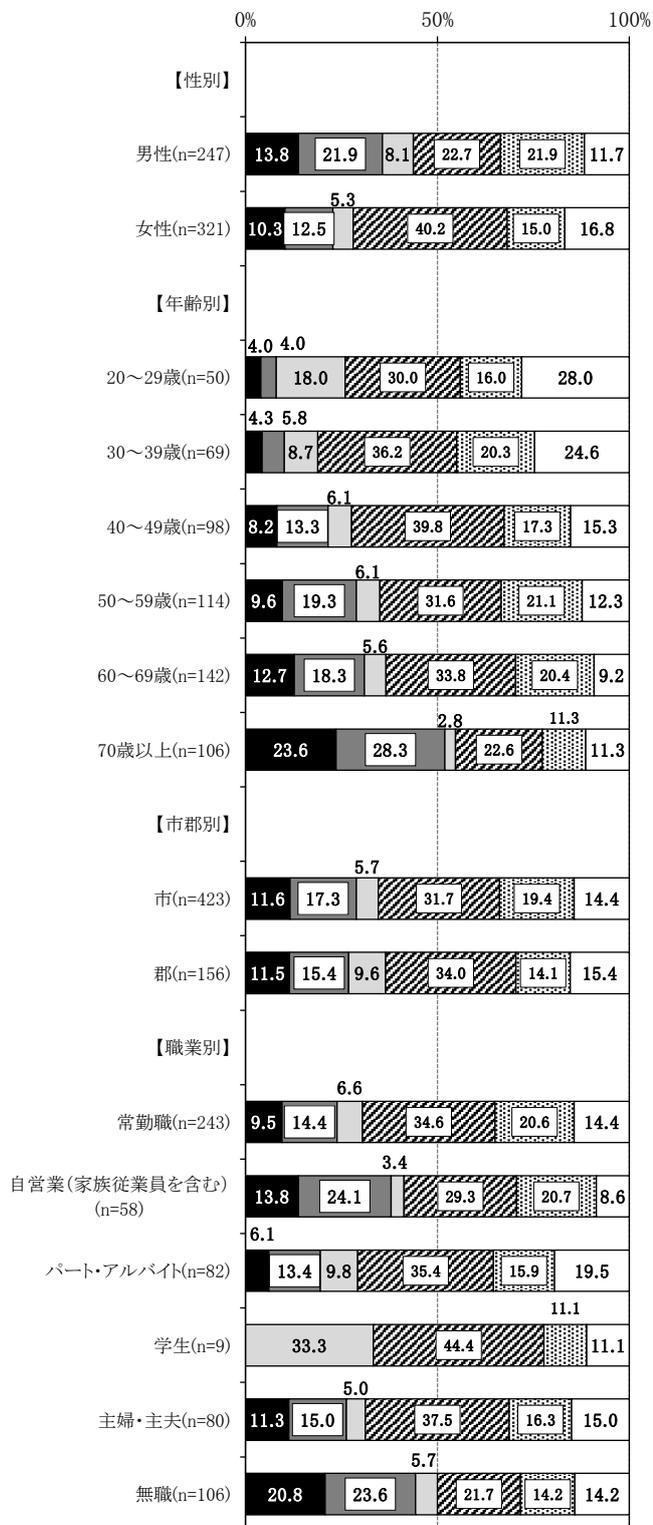
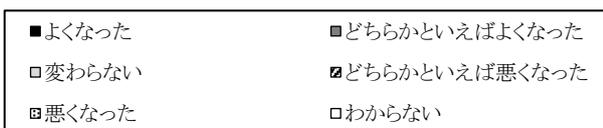
○年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにしたがって「よくなった」「どちらかといえばよくなった」の合計が多くなっている。前回調査と比較すると、「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」の合計は、どの世代においても少なくなっている。

○市郡別で見ると、『市部』は『郡部』と比べてやや「よくなった」が多いが、「悪くなった」も多い。

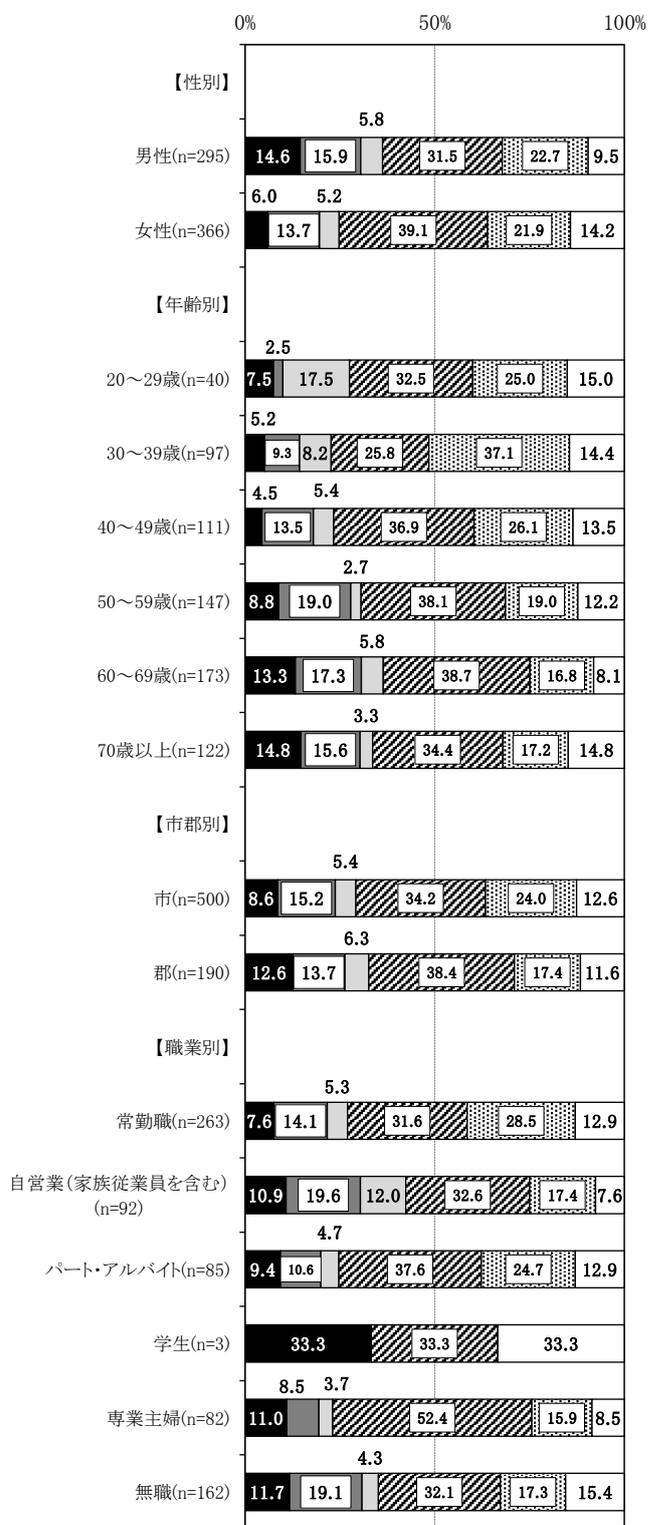
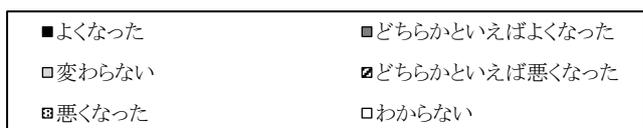
○職業別で見ると、『自営業』『無職』で他の職種と比べて「よくなった」が多く、また『常勤職』『パート・アルバイト』『主婦・主夫』は「悪くなった」が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回調査



前回(平成26年度)調査



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(①で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」と答えた方にお伺いします。)

② 今の子どもスポーツや外遊びの環境が悪くなったのは、どのようなところですか。

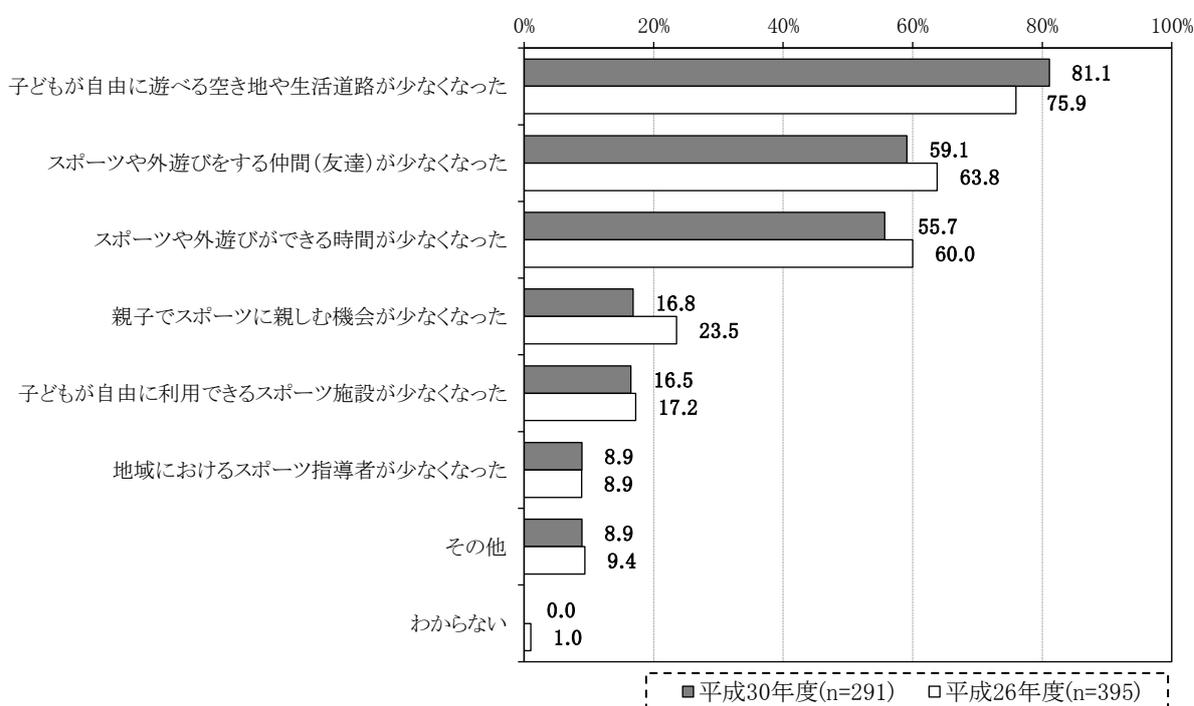
(いくつでも○印)

【結果概要】昔と比べて「場所」「仲間(友達)」「時間」が少なくなった

今の子どもスポーツや外遊びの環境が悪くなった要因は、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が81.1%と最も多く、次いで「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」、「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」と続いている。

前回調査と比較すると、「自由に遊べる場所」が少なくなったとする意見が増え、「仲間」「時間」「親子で遊ぶ機会」が少なくなったとする意見は減っている。

問36-② 子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった要因



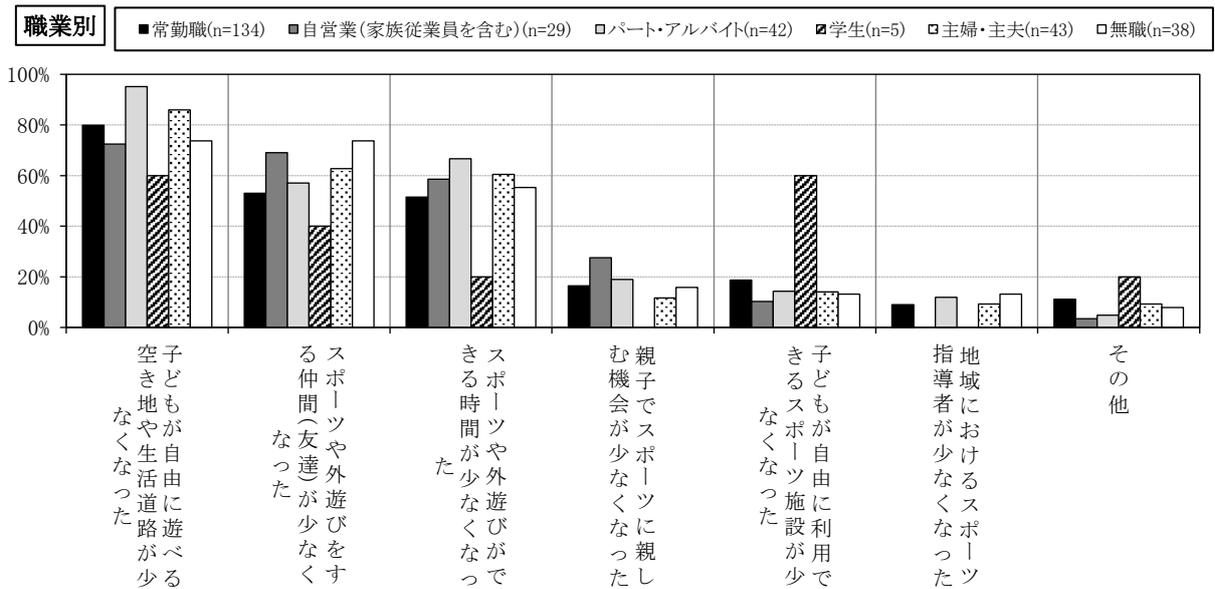
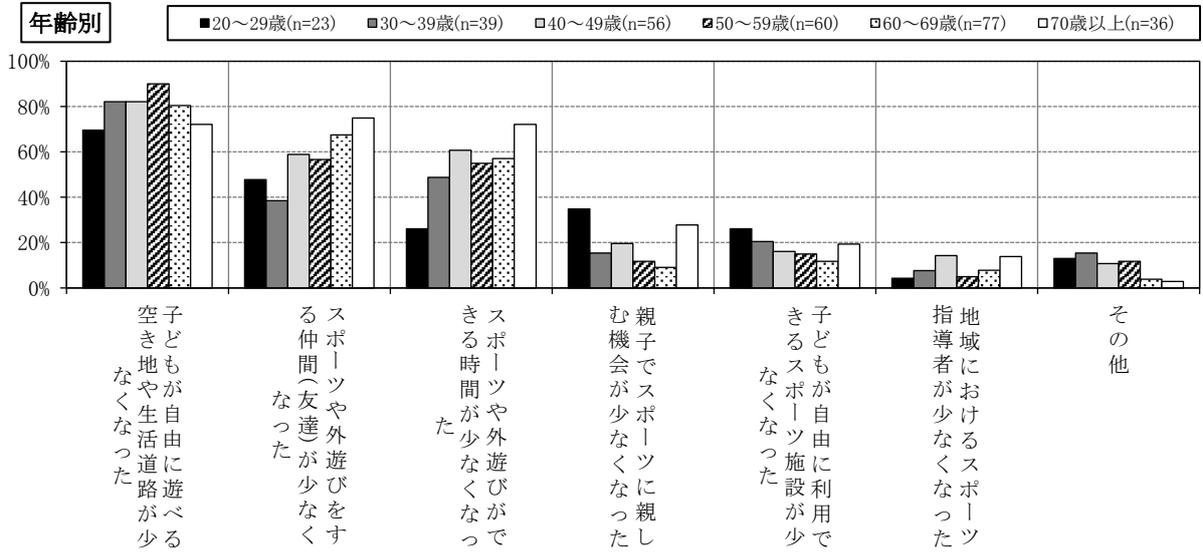
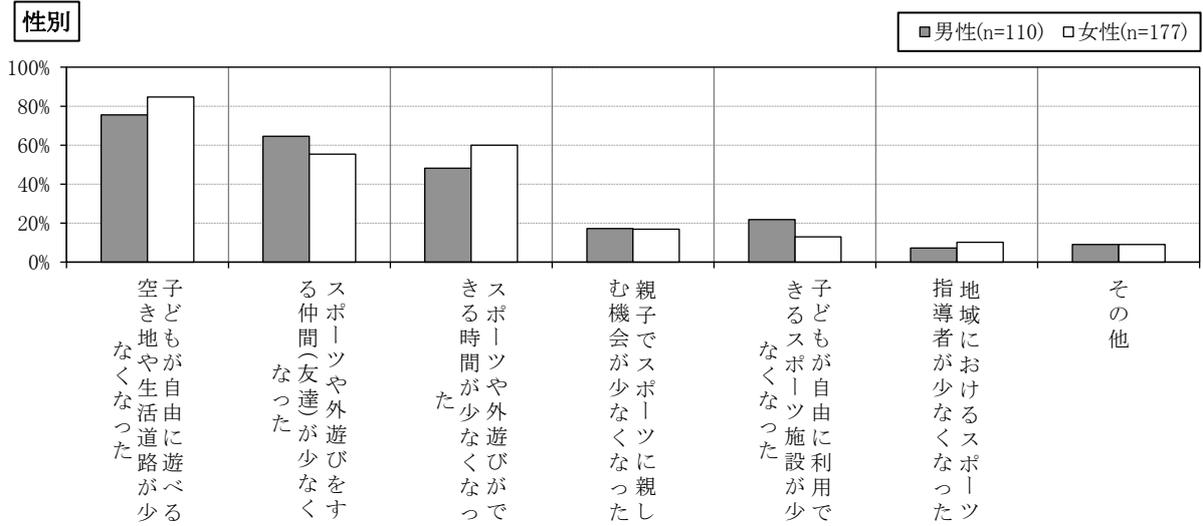
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」が多く、『女性』は「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が多い。

○年齢別で見ると、『20～29歳』は「親子でスポーツに親しむ機会が少なくなった」、『40～49歳』は「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」、『70歳以上』は「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」、「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」が多い。

○職業別で見ると、『パート・アルバイト』は「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」、『無職』は「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」が多い。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 37. あなたは 2020 年東京オリンピックにどれくらい関心を持っていますか。

問 38. あなたは 2020 年東京パラリンピックにどれくらい関心を持っていますか。

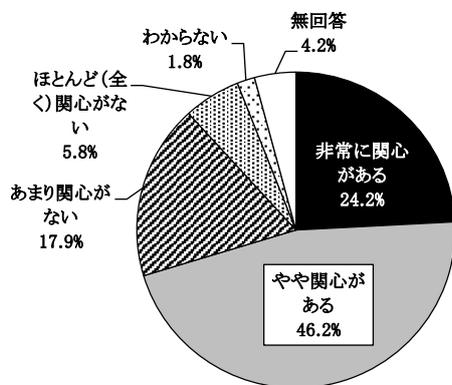
(1つだけ○印)

【結果概要】オリンピックは70.4%、パラリンピックは58.4%の人が「関心がある」

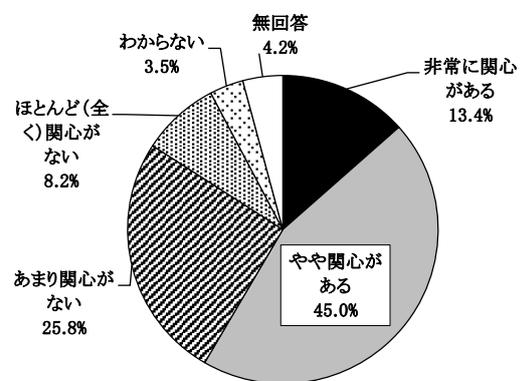
2020年に開催される東京オリンピック競技大会について、「非常に関心がある」が24.2%、「やや関心がある」が46.2%と、約7割(合計70.4%)の人が関心を持っている。

一方、同年に開催される東京パラリンピック競技大会は、「非常に関心がある」が13.4%、「やや関心がある」が45.0%と、約6割(合計58.4%)の人が関心を持っている。

問37 東京オリンピック競技大会への関心度



問38 東京パラリンピック競技大会の関心度



【結果の分析】

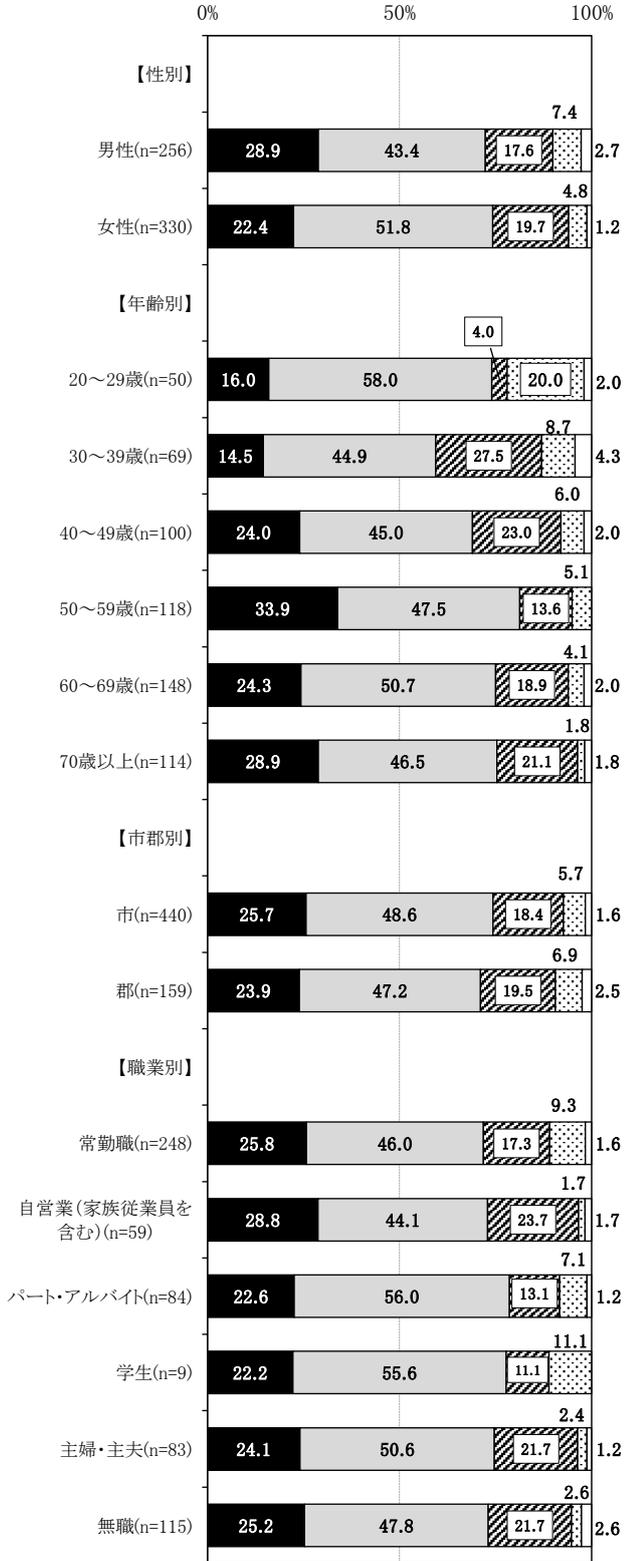
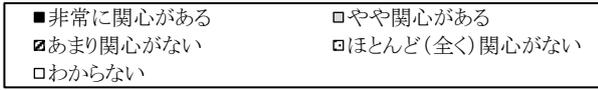
○性別で見ると、オリンピックでは『男性』『女性』とも差異なく関心が高い。パラリンピックでは『女性』がやや関心が高い。

○年齢別で見ると、オリンピック・パラリンピックとも各年齢層で関心が高いが、オリンピックでは『20～29歳』『50歳以上』の関心が高い。パラリンピックでは『30～49歳』で他の年齢と比べて「あまり関心がない」が多く、40代以上で「関心がある」が多くみられる。

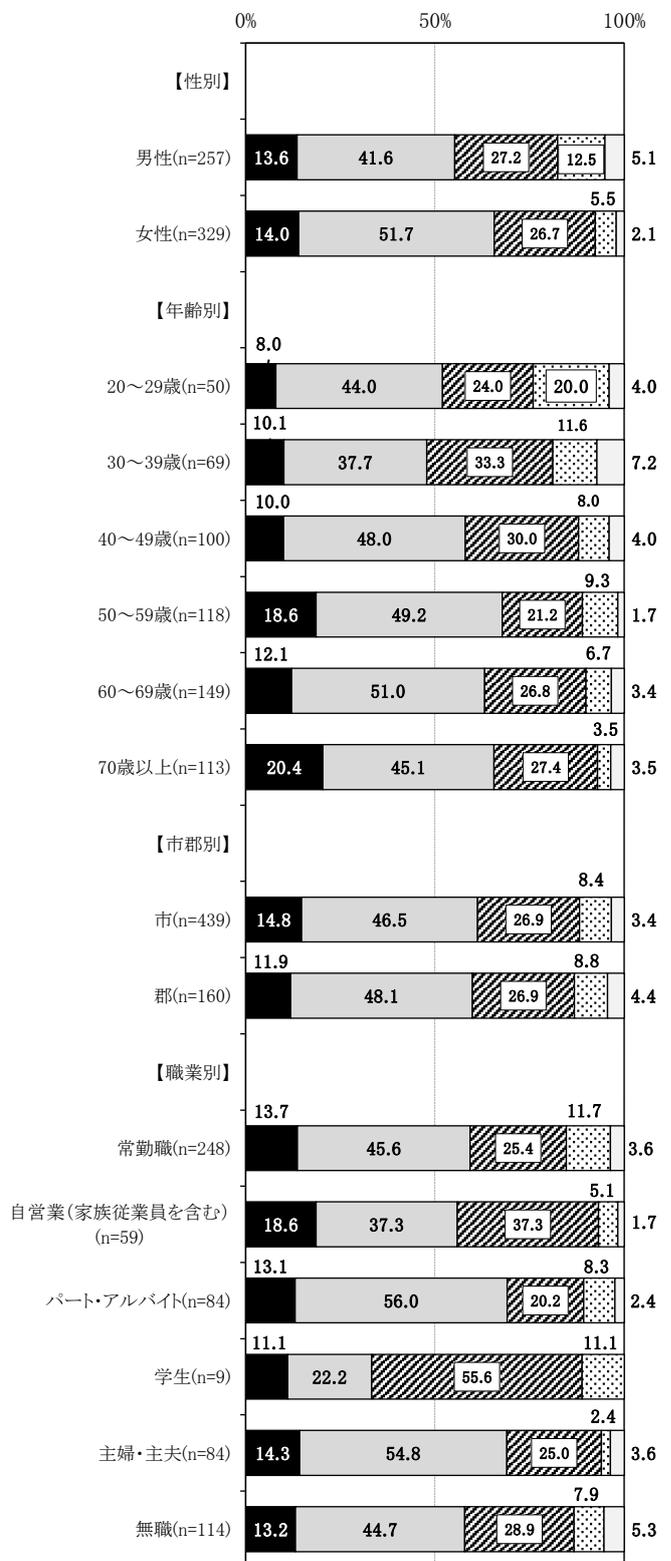
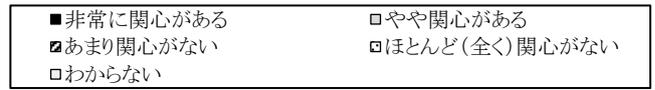
○職業別で見ると、オリンピックでは『パート・アルバイト』『学生』の関心が高い。パラリンピックでは『主婦・主夫』『パート・アルバイト』の関心が高い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

問37 2020年東京オリンピック競技大会への関心



問38 2020年東京パラリンピック競技大会への関心



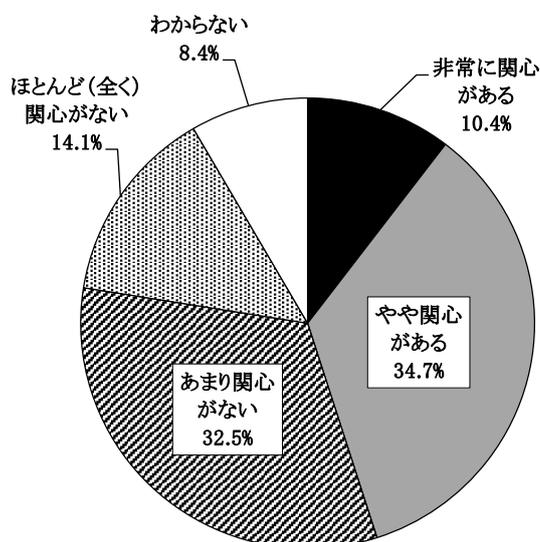
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 39. あなたは、2020 年東京オリンピック、パラリンピック競技大会以外の日本で開催される国際スポーツ大会（例：ラグビーワールドカップ、ワールドカデットチャレンジ大会等）にどのくらい関心を持っていますか。（1 つだけ〇印）

【結果概要】東京オリンピック・パラリンピック以外の大会に「関心がある」は 45.1%

東京オリンピック、パラリンピック競技大会以外の日本で開催される国際スポーツ大会の関心は、「非常に関心がある」が10.4%、「やや関心がある」が34.7%と関心がある回答が半数近く（合計45.1%）となっている。しかし、関心がないという回答も多く、「ほとんど関心がない」が14.1%、「あまり関心がない」が32.5%と、「関心がある」と同様の割合（合計46.6%）となっている。

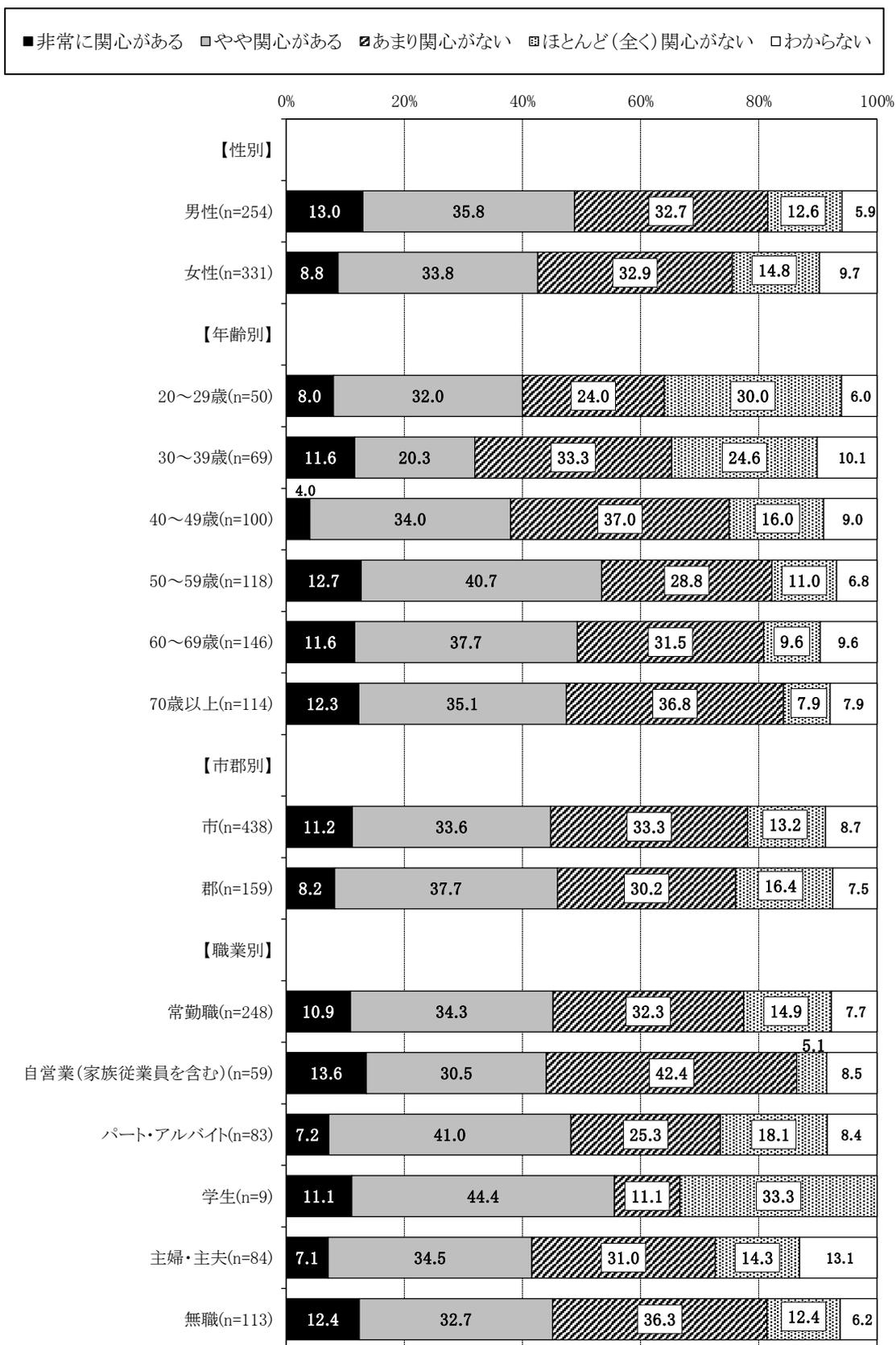
問39 東京オリンピック・パラリンピック以外の
日本で開催される国際大会への関心度
n=597



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比べて、「関心がある」が多い。
- 年齢別で見ると、50歳以上が各年齢層と比較して「関心がある」が多い。
- 市郡別で見ると、『市部』『郡部』とも同様な割合となっている。
- 職業別で見ると、『学生』が最も「関心がある」が多く、『主婦・主夫』が最も少ない。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

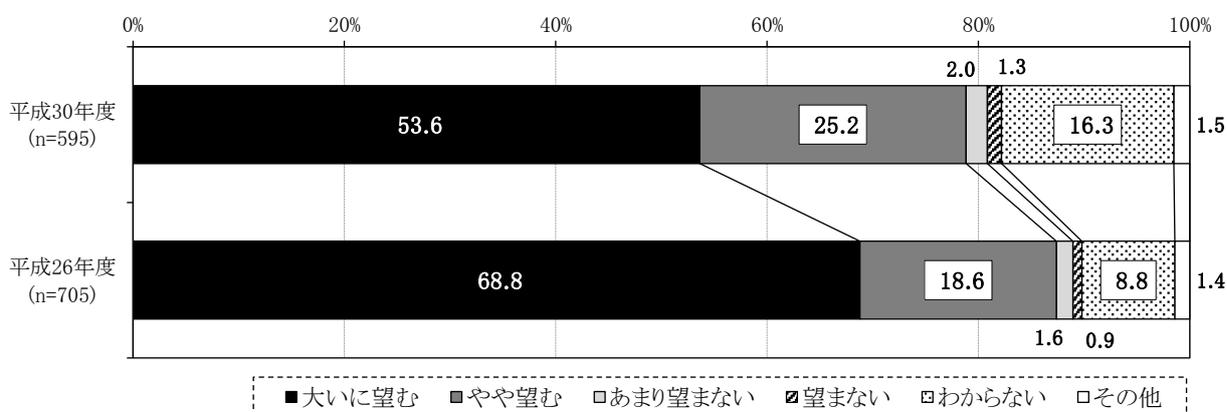
問 40. あなたは2020年東京オリンピック、パラリンピックに鳥取県から代表選手、コーチが出場することを望みますか。(1つだけ〇印)

【結果概要】78.8%の人が鳥取県の代表選手、コーチの出場を「望む」

東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県から代表選手、コーチが出場することを望むか聞いたところ、「大いに望む」が53.6%、次いで「やや望む」が25.2%と、約8割(合計78.8%)が「(出場を)望む」と答えている。

前回調査と比較すると、「望む」「やや望む」がやや減少している。

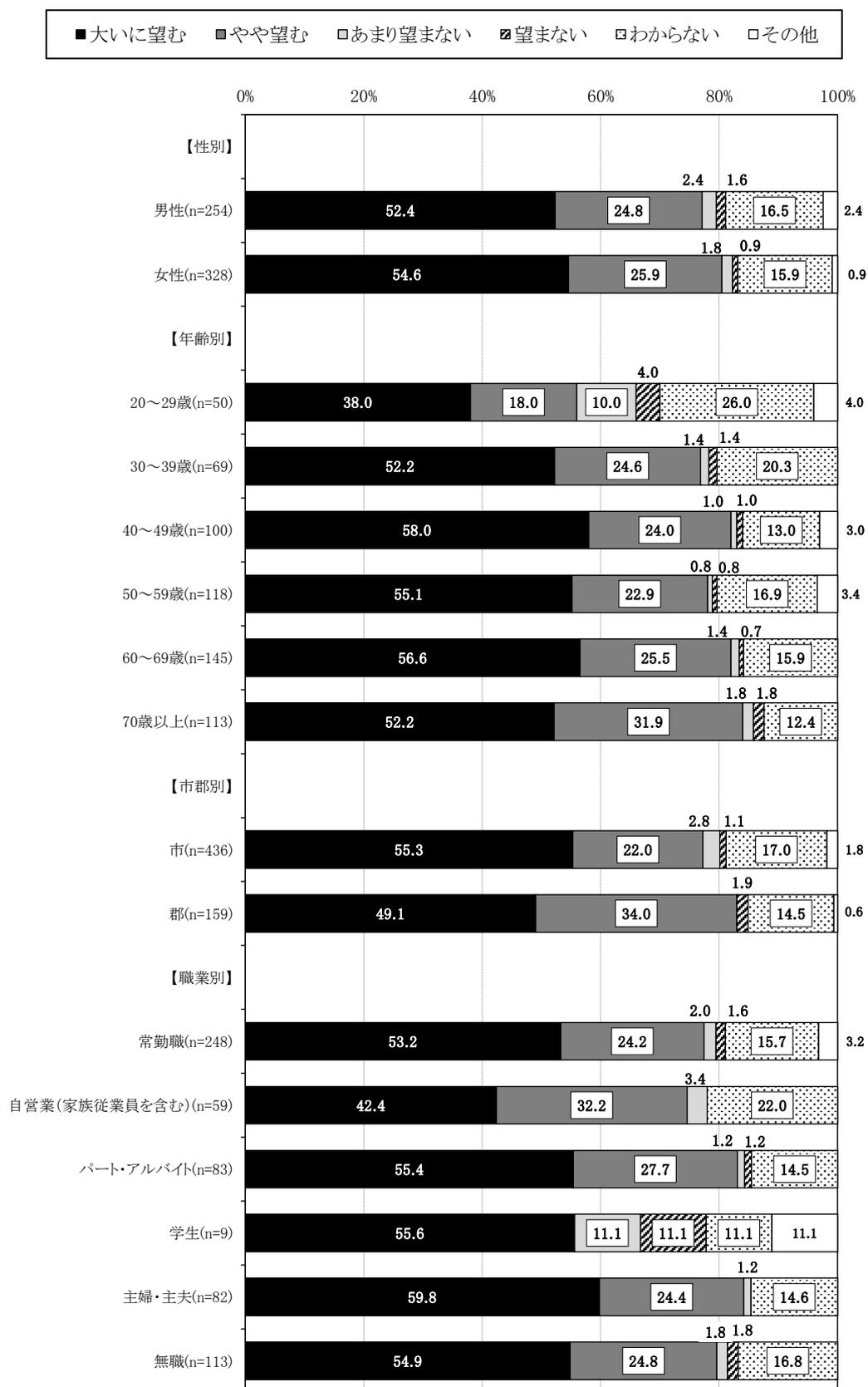
問40 東京オリンピック・パラリンピックへの鳥取県の選手・コーチの出場



【結果の分析】

- 性別で見ると、『女性』の方が「望む」が多い。
- 年齢別で見ると、30歳以上で「大いに望む」「やや望む」がほぼ8割となっているが、『20～29歳』では他の年齢層と比較して期待する意見が少ない。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比べて、「望む」が多い。
- 職業別で見ると、『主婦・主夫』『パート・アルバイト』で「望む」が他の職種に比べて多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問 41. あなたは、2021 年 5 月に日本で開催される「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西（※）」が鳥取県を含む関西一円で開催されることを知っていますか。

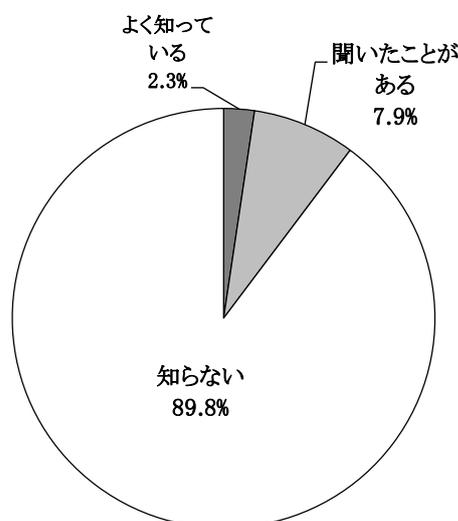
(1 つだけ○印)

※ 概ね 30 歳以上であれば誰もが参加できる 4 年に 1 度開催される世界最高峰の生涯スポーツの祭典

【結果概要】89.8%の人が開催を「知らない」

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」が鳥取県を含む関西一円で開催されることについて、「知らない」が 89.8%とほとんど知られていない。「知っている」は 2.3%、「聞いたことがある」が 7.9%とある程度知っている人は 1 割程度となっている。

問41 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の認知度
n=597



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』より「知っている」「聞いたことがある」が多い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにしたがって「知っている」「聞いたことがある」が多くなり、『70 歳以上』の認知度が最も高い。
- 市郡別で見ると、『市部』『郡部』とも、ほぼ同様の割合となっている。
- 職業別で見ると、『無職』で「知っている」「聞いたことがある」が多い。

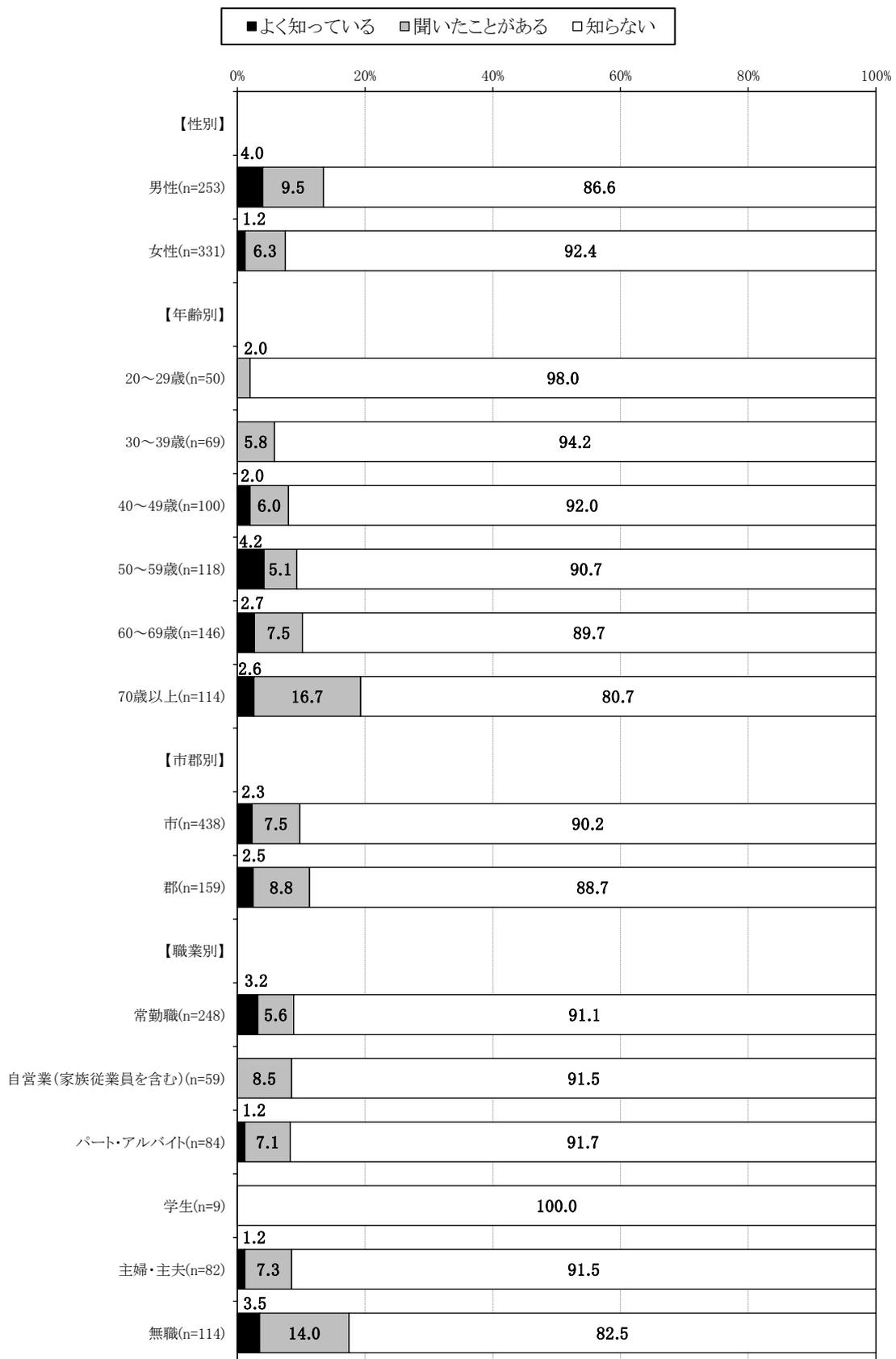
<ワールドマスターズゲームズ 2021 関西概要>

関西ワールドマスターズゲームズ2021

- 開催期間 2021年5月14日(金)～30日(日) (17日間)
開会式 …5月14日(金) 京都市
閉会式 …5月30日(日) 大阪市
- 開催競技 正式競技 35 競技 59 種目
- 開催場所 関西一円 (福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県)
- 開催目標 参加者 5 万人 (国内 3 万人、国外 2 万人)
- 主 催 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会
- 共 催 公益財団法人日本スポーツ協会
- 後 援 スポーツ庁、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会



【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

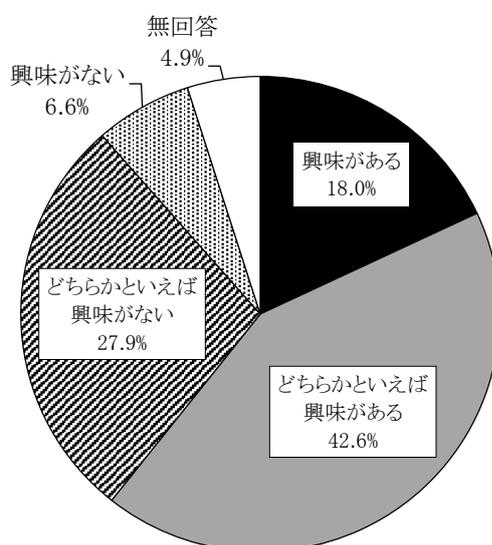
(問 41 で「1.よく知っている」、「2.聞いたことがある」と回答した人に伺います。)

問 42. 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に興味がありますか。(1つだけ○印)

【結果概要】知っている人の60.6%は「興味がある」

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」について、「興味がある」が18.0%、「どちらかといえば興味がある」が42.6%と半数以上(合計60.6%)が興味を持っている。一方、「興味がない(6.6%)」、「どちらかといえば興味がない(27.9%)」と「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に興味がないという意見は3割強(合計34.5%)となっている。

問42 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」への興味
n=61



【結果の分析】

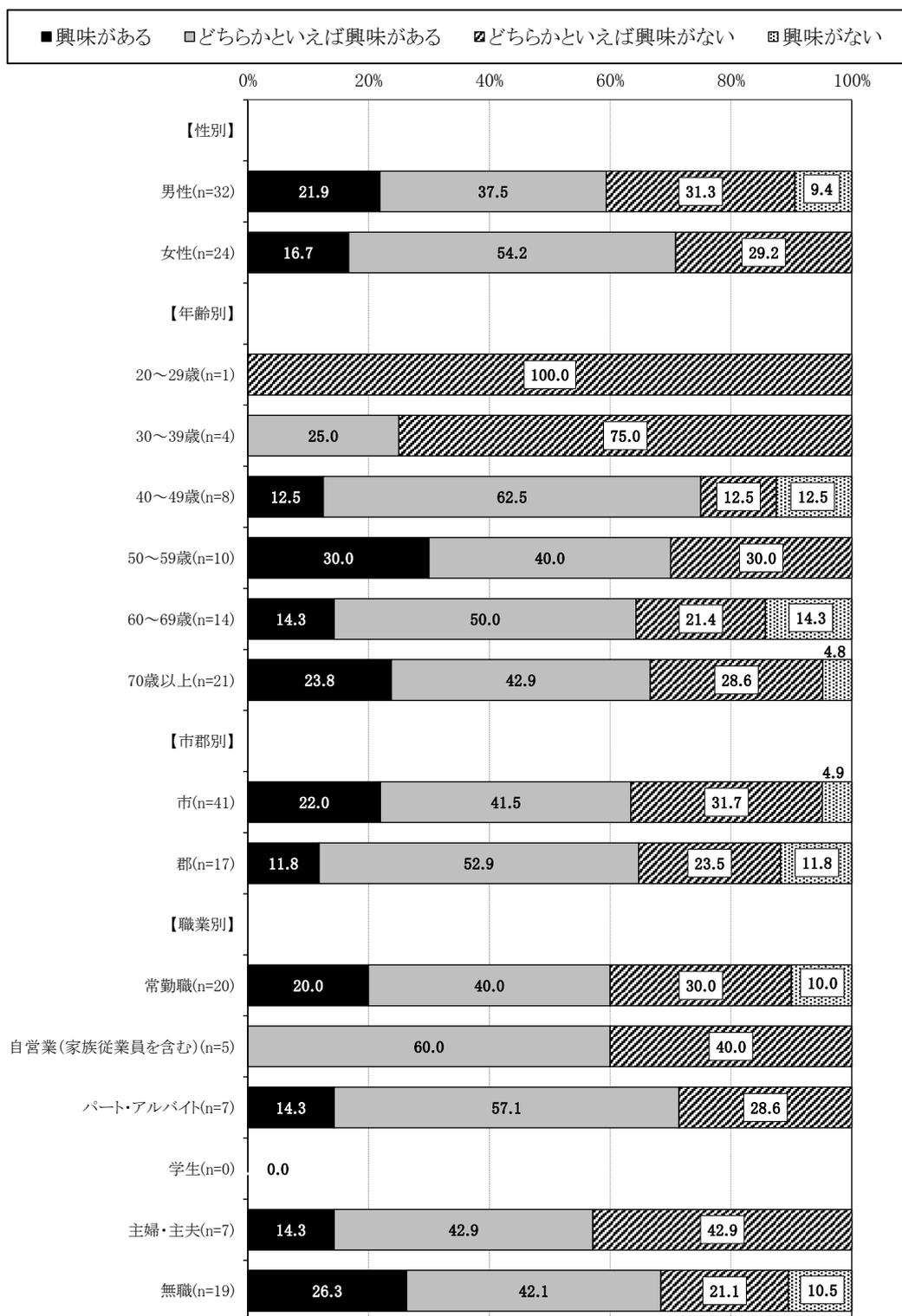
○性別で見ると、『女性』が『男性』より「興味がある」という回答が多い。

○年齢別で見ると、『20～29歳』『30～39歳』では「興味がない」が多く、『40歳以上』では「興味がある」が多くなっている。

○市郡別で見ると、『市部』『郡部』とも、ほぼ同様の割合となっている。

○職業別で見ると、『パート・アルバイト』『無職』では、「興味がある」という回答が多い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。